Mimaki

OPERATION MANUAL

カラーインクジェットプリンタ

TS5-1600AMF

取扱説明書

この取扱説明書はファームウェアバージョン 7.5 以降に対応しています。

株式会社ミマキエンジニアリング

D201883-16

はじめに

このたびは、カラーインクジェットプリンタ「TS5-1600AMF」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

「TS5-1600AMF」は、昇華転写インク（4/6 色）またはソルベントインク（4/6/7 色）で作図する、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

マニュアルの種類と使い方

本装置には、以下の説明書が付属しています。

取扱説明書 (本書)
本装置の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明しています。
本書をよくお読みになり、本装置を安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

日常のお手入れのお願い (別冊)
本装置の、日常行うお手入れ方法について説明しています。

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書が紛失 / 破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

電波障害自主規制

　この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本製品は、使用時に高周波が発生します。このため、この製品が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって、特殊なラジオ / テレビに対しては保証しておりません。
この製品がラジオ / テレビ受信の障害原因と思われましたら、本製品の電源を切り、ご確認ください。電源を切ることにより受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- ■テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- ■この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- ■この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

メディアについて

ご不要になりましたロール紙やメディアは、地域の条例に従って処分してください。

本書の構成

本書は、本装置の取り扱いを、6 つの章に分けて説明しています。

目次

ご注意

第 1 章　安全にお使いいただくために

第 2 章　ご使用の前に

第 3 章　作図のしかた

第 4 章　日常のメンテナンスについて

目次
1
2
3
4
5
6
索引

第 5 章　困ったときは

第 6 章　各機能の操作方法

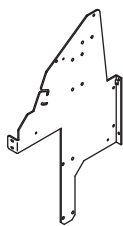
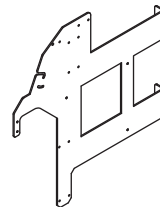
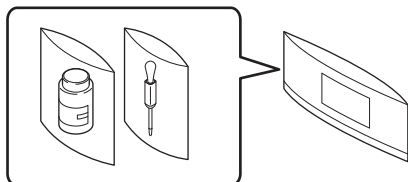
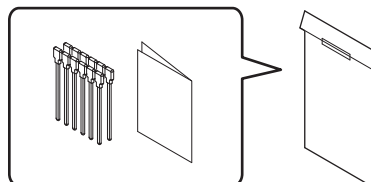
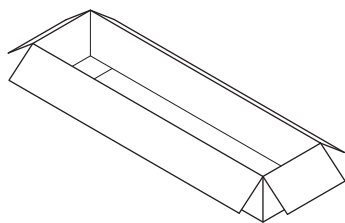
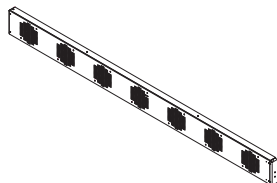
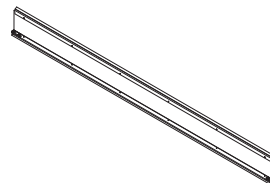
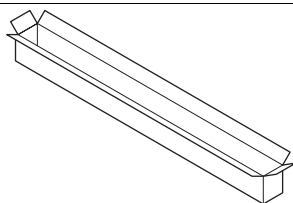
第 1 章
安全にお使いいただくために

この章では ...

本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことを説明しています。

付属品の確認

本装置には、以下の付属品を同梱しています。
不足しているものや外観に異常がないかご確認ください。異常があった場合は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

Software CD-ROM TS5 用：1 枚	TS5-1600AMF 取扱説明書：1 冊
保護メガネ：1 個	日常のお手入れの お願い：1 冊
電源ケーブル (6m) ：1 本	プラスドライバ ：1 本
モンキーレンチ 200 MM：1 本	L 型六角レンチ ：1 本
ウェルナット：3 個	ミニノブ：2 個
ネジ：11 個 P4x12SMW (黒) (廃インクタンク BKT 用 , 4 本) (乾燥ファンステー R 用 , 2 本) (乾燥ファンステー L 用 , 2 本) (ウェルナット用 , 3 本)	ベルトロックネジ : 2 個 昇華転写用 F-BOX セット：1 セット (SPA-0142)
廃インクタンク 4L Assy：1 個	廃インク排出チュー ブ：1 本
廃インクタンクセン サ ASSY ：1 個	排出チューブ 固定 ASSY：1 個
クランプ固定スペーサ ：4 個	クランプ固定スペーサ セットアップ手順書 ：1 枚

乾燥ファンステー R ：1 個	乾燥ファンステー L： 1 個
洗浄液ボトルキット A29：1 セット (SPC-0137)	クリーンスティック：12 本 （ご案内付き）
付属品箱：1 個	

乾燥 FAN 箱

乾燥 FAN Assy 160 ：1 個	開閉カバー Assy 160：1 個
乾燥 FAN 箱 ：1 個	

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。
本書で説明する操作方法と併せて作図のご理解にお役立てください。

新世代のプリントヘッドと 4 スタガ のヘッド配列で、高画質な超高速プリント

1 ヘッドに 1,440 ノズル (180 ノズル x 8 列) を搭載した新開発のプリントヘッドを採用し、1 インチヘッドを 4 列のスタガ (互い違い) に配列することにより、4 インチのプリントヘッド幅を実現。バリアブルドットテクノロジーを採用することにより、高画質の高速プリントを可能にしました。

ダブルカートリッジ自動切換え機能と、1760 cc / 色の大容量インクによりインク切れの心配を解消

2 カートリッジ / 1 セットのインク自動切換え機能と 4 色モードで最大 1760 cc / 色 (440 cc x 4) のインクを搭載可能とし、インク切れの心配がない長時間連続プリントを実現します。

屋外サインに最適な SS21 インク / 環境に優しい Eco-HS1 インクが使用可能 (ソルベントインクをお使いの場合)

SS21 インクは屋外サインに最適で、耐水性・耐候性に優れたインクです。有機則非該当のため、特別な取り扱いや免許は不要です。

Eco-HS1 インクは、環境有害物質を含まない、安全性の高いインクです。
塩ビフィルムへの影響を低減し、高い発色性と光沢感を実現しました。
また、ライトブラックの採用で、印刷階調の表現力が向上しました。

高画質・高速印字が可能な昇華転写インクが使用可能

昇華転写インクは、作図した画像を違うメディアに転写したいときに使用します。

インク残量を表示

使用中のインクの残量を表示して確認できます。インクやメディアを無駄なく使えます。

高速プリントを可能にする大型アフターヒーターの搭載

大型アフターヒーターを搭載し、高速でプリントされたメディアの乾燥を促進し、巻き取りを可能にします。
スタンバイモード、自動オフのインテリジェント機能を搭載。
使用するメディアに最適な加熱温度を設定できます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。
インク詰まりは、クリーニング機能を実行すると復旧できます。
本装置を使用しないで放置すると、一定時間毎にインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。

使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および作図開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

見やすいディスプレイ

プリンタの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が 2 画面になり、更に見やすくなりました。
バックライトも付いて、暗い場所でも表示を認識できます。
英語･スペイン語など 7 ヶ国の表示が可能です。

便利なダイレクトキー

ダイレクトキーを使用することで、多彩な内蔵機能にすばやくアクセスできます。

作図情報を確認

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェイス

高速インターフェイス「USB 2.0」を使用して、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻取装置による長尺作図

本装置と連動した「巻取装置」が作図終了したメディアを巻き取るので、長尺作図が可能です。

メディア置き用のサポートバーが付属

本装置の後ろ側に、メディアセット時のサポートバーを設置しました。幅広のロールメディアなど重量のあるメディアのセット時に、サポートとしてご使用ください。

メディア送り量一定制御機能によるメディア搬送で安定した高画質を実現

メディアエンコーダーを搭載し、ロール重量に影響されることなく、設定したメディア送り量でメディアを一定して搬送し、安定した高品質のプリントを実現します。

メディアの左右端の浮きを防止

メディア押さえを使用して、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止します。また、ヘッドとの接触を防ぎます。

ノズル抜け自動検出機能を搭載し、プリント不良によるロスを低減

クリーニング後およびプリント中のノズル抜けを監視、必要に応じて再クリーニングまたはプリントの中断を選択することで、メディアとインクの無駄を防止します。

メディア厚自動検出と自動ヘッド高さ調整機構により最適なプリントを実現

メディアの厚みを自動検出し、指定されたヘッドギャップへ自動で高さ調整をします。使用するメディアの厚みが変わっても、一定のヘッドギャップでプリント可能なため、常に最適なプリントを実現します。

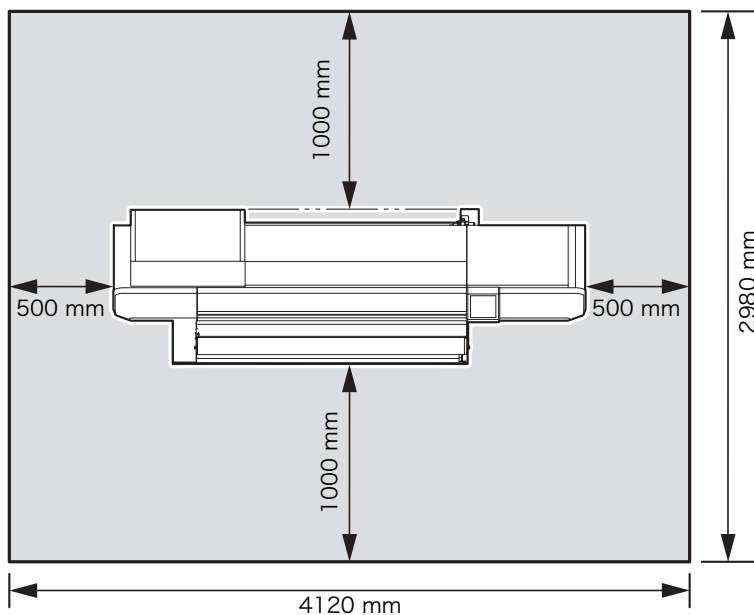
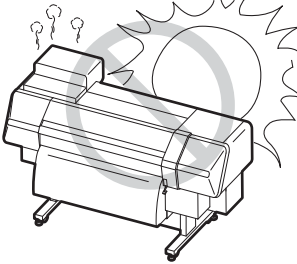
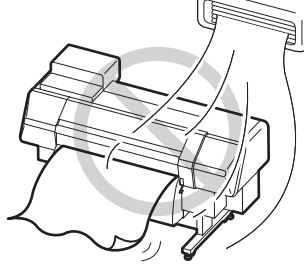
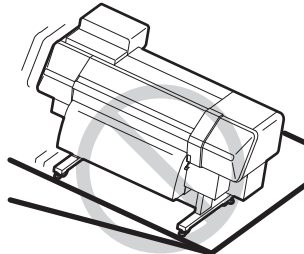
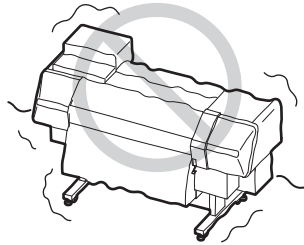
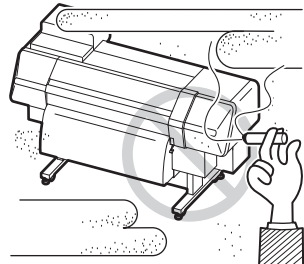
マーク表示について

本書では、マーク表示により、操作上の注意内容を説明しています。
各マーク表示の持つ意味をよくご理解の上で、本装置を安全に正しくお使いください。

アイコン	内容
	「危険」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険な状況を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
(1-8 参照)	関連した内容の参照ページを示しています。
	△ マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

設置時の注意

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

横幅	奥行	高さ	全体重量
3120 mm	980 mm	1540 mm	398 kg 以下

使用環境温度

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 35 ℃ の環境でご使用ください。周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

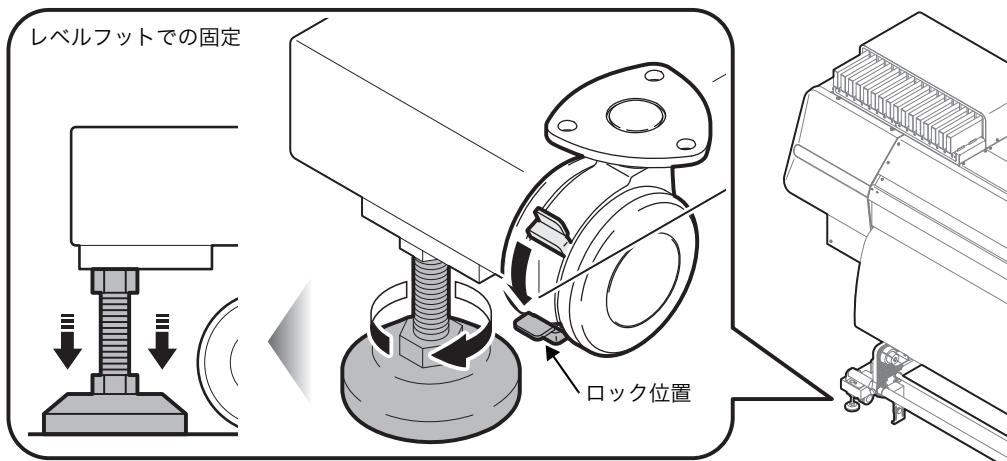
設置場所の注意

以下の場所には設置しないでください。

直射日光が当たる場所	温度や湿度の変化が激しい場所	エアコンなどの風が直接当たる場所
	■次の環境下でお使いください。 ▪ 使用環境：20 ～ 35 ℃ ：35 ～ 65 % (Rh)	
水平でない場所	**振動が発生する場所**	**火を使う場所**

キャスタのロックとレベルフットでの固定

脚のキャスタには、ストッパとレベルフットが付いています。電源を投入する前に、必ずキャスタをロックし、レベルフットで本装置が固定されていることを確認してください。レベルフットで本装置を固定しないで作図すると、装置が動きだす場合があります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

本装置の移動

本装置を、やむを得ず段差のない同一フロアー内で移動する場合は、次のことを必ず守ってください。

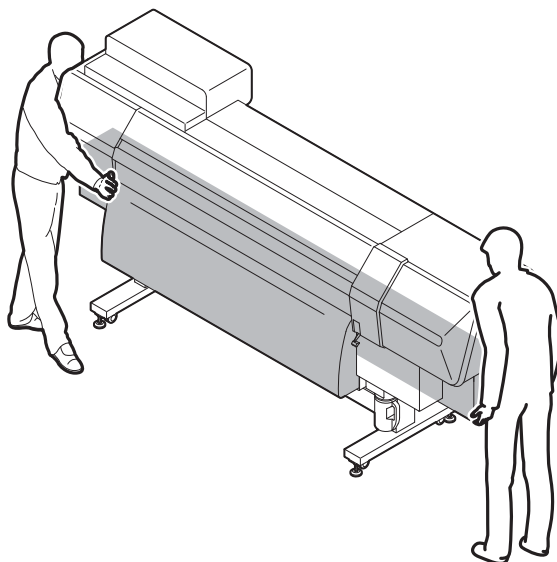
■移動する前に、キャスタのロックを解除してください。

■移動するときは、大きな振動を与えないでください。

■移動後は、必ずキャスタを再ロックしてください。

重 要! **■本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。**
お客様が本装置の移設を行いますと、故障や破損の原因になります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

移動方法

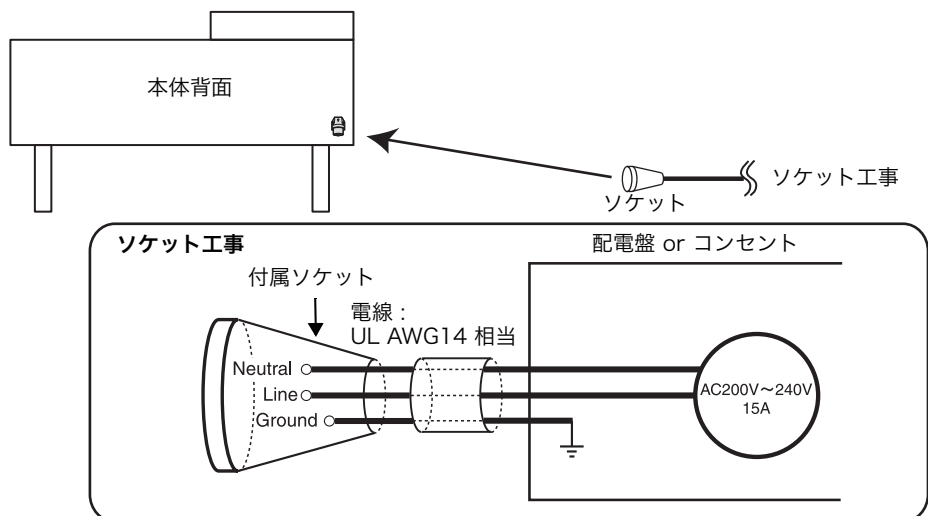
本装置を移動するときは、複数人で図のように運んでください。
カバー (図の灰色の部分) を押すと割れる可能性がありますのでご注意ください。

電源の接続について

本装置仕様

単相 AC200 ～ 240V、15A 以下 (100V 系では使用できません)

- ■本装置の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。
- ■本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。
- ■コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- ■本装置の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- ■誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。

■付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。
- ・VCT-2m ㎡ x3 芯 (600V)
- ・UL-AWG14x3C (600V)

本装置の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。
本装置の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤またはコンセントとソケットの間の工事を行ってください。

使用上の警告と注意

⚠ 警 告
換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。
表示された電源仕様で使用してください。本装置の電源電圧は、単相 AC200 〜 240V 15A 以下です。(100V 系では、使用できません。)
電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずソケットを本体から抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。 感電や故障の原因になります。
プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。 発火、火災の原因になります。
本装置で使用する専用インクは、危険物第 4 種第 2 石油類、または危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンタを使用する場所は、火気厳禁としてください。(ソルベントインクをお使いの場合のみ)

使用上のご注意

⚠ 注 意
電源供給について
■ブレーカーは常時 ON にしておいてください。 ■背面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。
ヒーターについて
■プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。 ■プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。 ■本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。 目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。 なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。
インクの取り扱い
■万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 ■誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。 ■蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。 ■インクが皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
メンテナンス上の注意
■インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
レーザセンサー
■本装置には、レーザセンサーが取り付けてあります。レーザセンサーは JIS 規格クラス 1 のレーザ製品に相当します。レーザ光をレンズなどの観察光学系を通して見ることは危険ですので、避けてください。目の痛みや視力障害の原因になります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

ご注意とお願い

⚠ ご注意とお願い
インクカートリッジの取り扱い
■本機専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。 ■本機専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。 ■本機専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れる場合があります。 ■カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。 ■インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。 ■インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。 ■インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。 ■インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 ■インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。 ■インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。 ■インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。 ■空になったインクカートリッジは、リサイクルセンターに発送するか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
フロントカバーとレバーについて
■作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。
メディアの取り扱い
■推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 ■メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。 メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびアフターヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。 ■メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。 室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。 包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。 ■カールしたメディアは使用しないでください。 紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。 また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。 コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

⚠ ご注意とお願い

メディアとホコリについて
■メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。 ■夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。
メンテナンス上の注意
■できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを 2 または 3 に設定してください。**(リフレッシュ (6-10 ページ) 参照)** ■作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。 ■作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。**(オートクリーニング (3-37 ページ) 参照)** ■キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。
定期交換部品
■本装置には定期的に交換する部品があります。 機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

使用可能メディア

使用可能メディアは、ロールとリーフです。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

推奨メディアの種類

昇華転写インクをご使用の場合	ソルベントインクをご使用の場合
昇華転写紙	ターポリン FF (Flexible Face) 耐候塩ビシート

使用可能メディアサイズ

ロール	最大幅	1630 mm (64.17 inch)
	最小幅	297 mm
	最大作図範囲	1620 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール重量 *1	38 kg 以下
	ロール外形	ϕ 250 mm 以下
	紙管内径	3 インチ（ϕ 76 mm）
	作図面	ロール外側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフ	最大幅	1630 mm (64.17 inch)
	最小幅	297 mm
	最大作図範囲	1620 mm

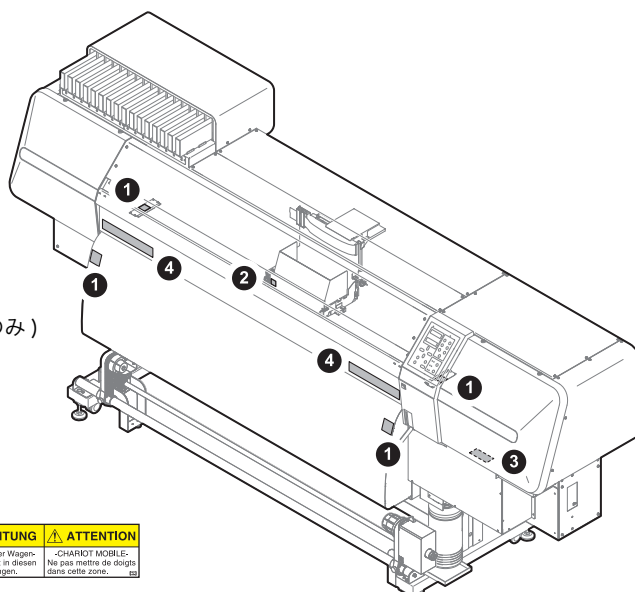
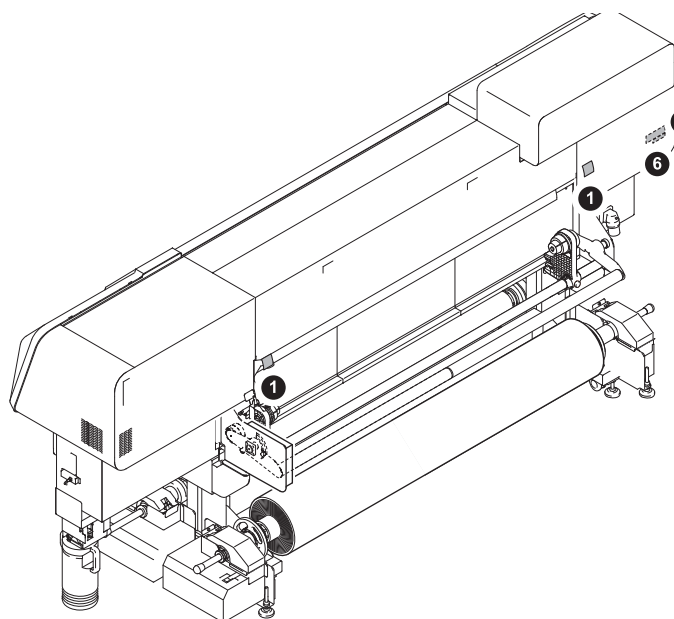
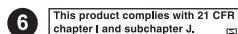
*1 ただしロールの左右を保持した際、ロールにタワミがないこと。

警告ラベルについて

本装置には警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店
または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

前面

背面

本体仕様

項 目		仕様
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4 ヘッドモデル : 4 ヘッドスタガ配列
作図モード (スキャン x フィード)		720 x 540dpi / 540or720 x 720dpi / 540 x 900dpi / 540or720 x 1080dpi / 720 x 1440dpi / 1440 x 1440dpi
使用可能インク	専用昇華転写インク	昇華転写インク : 4 色 (Y,M,Bl,K) / 6 色 (Y,M,Bl,K,LBl,Lm)
	専用ソルベントインク	SS21 インク、エコ HS1 インクの いずれか 1 種 SS21 インク　 : 4 色（Y,M,C,K）/ 6 色（Y,M,C,K,Lc,Lm） エコ HS1 インク : 4 色（Y,M,C,K）/ 6 色（Y,M,C,K,Lc,Lm）/ 7 色 (Y,M,C,K,Lk,Lc,Lm)
インク供給		2 カートリッジセットによる、トグル切り替え供給
インク容量	専用昇華転写インク	6 色搭載時 : 440 cc カートリッジ各色 2 本 , 880 cc / 1 色 (M、Bl のみ 4 本 1760 cc) 4 色搭載時 : 440 cc カートリッジ各色 4 本 , 1760 cc / 1 色
	専用ソルベントインク	6 色搭載時 : 440 cc カートリッジ各色 2 本 , 880 cc / 1 色 (M、C のみ 4 本 1760 cc) 4 色搭載時 : 440 cc カートリッジ各色 4 本 , 1760 cc / 1 色 7 色搭載時 : 440cc カートリッジ各色 2 本　880cc/1 色 (Lk のみ 4 本、1760cc or 880cc)
使用可能メディア	専用昇華転写インク	昇華転写紙
	専用ソルベントインク	ターポリン、FF、塩ビフィルム
最大作図範囲		1620 mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1630 mm
	最小幅	297 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外径	φ 250 mm 以下
	ロール重量 *1	38 kg 以下
	紙管内径	3 インチ
	作図面	ロール外側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディアサイズ	最大幅	1630 mm
	最小幅	297 mm
作図マージン	リーフメディア	左右 : 15 ㎜ (デフォルト値) 前 : 150 ㎜ 後 : 200 ㎜
	ロールメディア	左右 : 15 ㎜ (デフォルト値) 前 : 150 ㎜ 後 : 0 ㎜
距離精度	絶対精度	± 0.3 ㎜ または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m
ヘッド高さ調整		1.5 mm 〜 7 mm 無段階ユーザー設定 (メディア厚み自動認識)
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下
排紙		ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能) 3 インチ専用
廃インクタンク		ボトル式 (4000 cc), センサによる FULL 検出を行う
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- III
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A , 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
ノズルチェックユニット		レーザー方式 (クラス 1 以下)

項　目		仕様
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令), CB レポート , RoHS 対応 , クラス 1 レーザー
電源仕様		AC200V - 240V ±10% , 50/60 Hz ±1 Hz 15A 以下
消費電力　*2		3600 VA 以下
設置環境	使用可能温度	20 ℃～ 35 ℃
	相対湿度	35 ～ 65%Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 ℃～ 25 ℃
	温度勾配	± 10 ℃ / h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量	本体	398 kg 以下
外形寸法	幅	3120 mm
	奥行き	980 mm
	高さ	1540 mm

*1. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと
*2. 本体とヒーター含む

インク仕様

項　目		昇華転写インクをご使用の場合	ソルベントインクをご使用の場合
形態		昇華転写インクカートリッジ	専用ソルベントインクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ	ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ (ライトブラックインクカートリッジ*1)
インク容量		440cc カートリッジ	220cc / 440cc カートリッジ
有効期間		製造日より 1 年間 (常温)	▪ SS21 インク ブラック、シアン、ライトシアン 製造日より 12ヶ月 (常温) イエロー、マゼンタ、ライトマゼンタ 製造日より 18ヶ月 (常温) ▪ エコ HS1 インク 製造日より 14ヶ月間 (常温) 開封から 3 カ月以内
保存温度	保存時	1 ℃～ 40 ℃ (40 ℃の場合 1 カ月以内)	
	輸送時	1 ℃～ 60 ℃ (60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1 カ月以内)	

*1. エコ HS1 インクカートリッジ使用時

重 要!
■インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
■昇華転写インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。
■インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。万一インクが凍結したときは、室温 (25 ℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

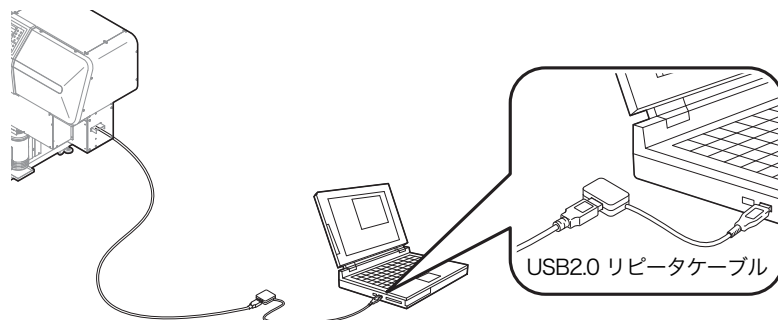
Eco-HS1 インクをより高い印刷品質でお使いいただくために

■ヘッドギャップ（メディアからヘッドノズル面までの高さ）は、1.5mm 以下を推奨いたします。
ヘッドギャップを 2.5mm を超えての設定でご使用になると、インク滴が飛び散ることがあり画質の保証はできません。
■塩ビシートメディアでご使用になる場合のヒーター温度は、PRE/PRINT40 ℃以下、AFTER50 ℃以下を推奨します。
■PRINT ヒーターと環境温度の温度差を 30 ℃未満に設定してください。
温度差が 30 ℃以上でご使用になられた場合、ヘッド表面にインク溶剤成分の結露が発生し画質の保証はできません。
■インクカートリッジを本体に装着後は、インク漏れの原因となりますのでインクが終わるまでは抜き差しを行わないでください。
また、本体からカートリッジを取り外す場合は、針の差込口からインクが垂れる場合がありますので下に向けないようにしてください。

USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重 要! ■ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

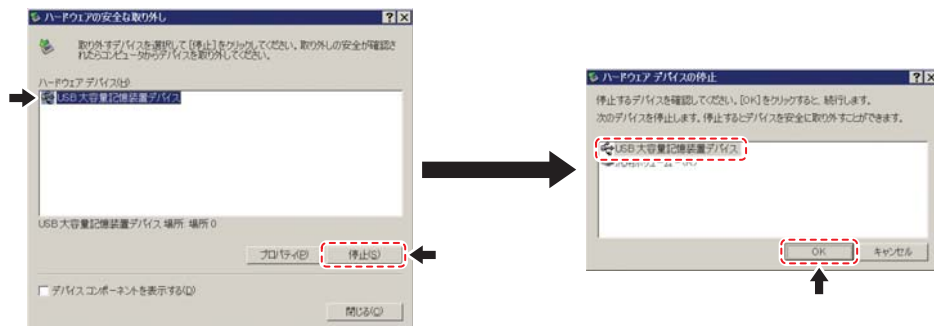
1 台のパソコンに本機を複数接続する場合

1 台のパソコンに本機を複数台接続する場合、本機を正常に認識できない場合があります。
複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して本機を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても本機を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。

USB ハイスピードモードの周辺機器について

本機と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに本機を接続した場合、本機へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

USB メモリの抜きかた

本機を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、作図出力してください。

USB メモリからのデータ出力について

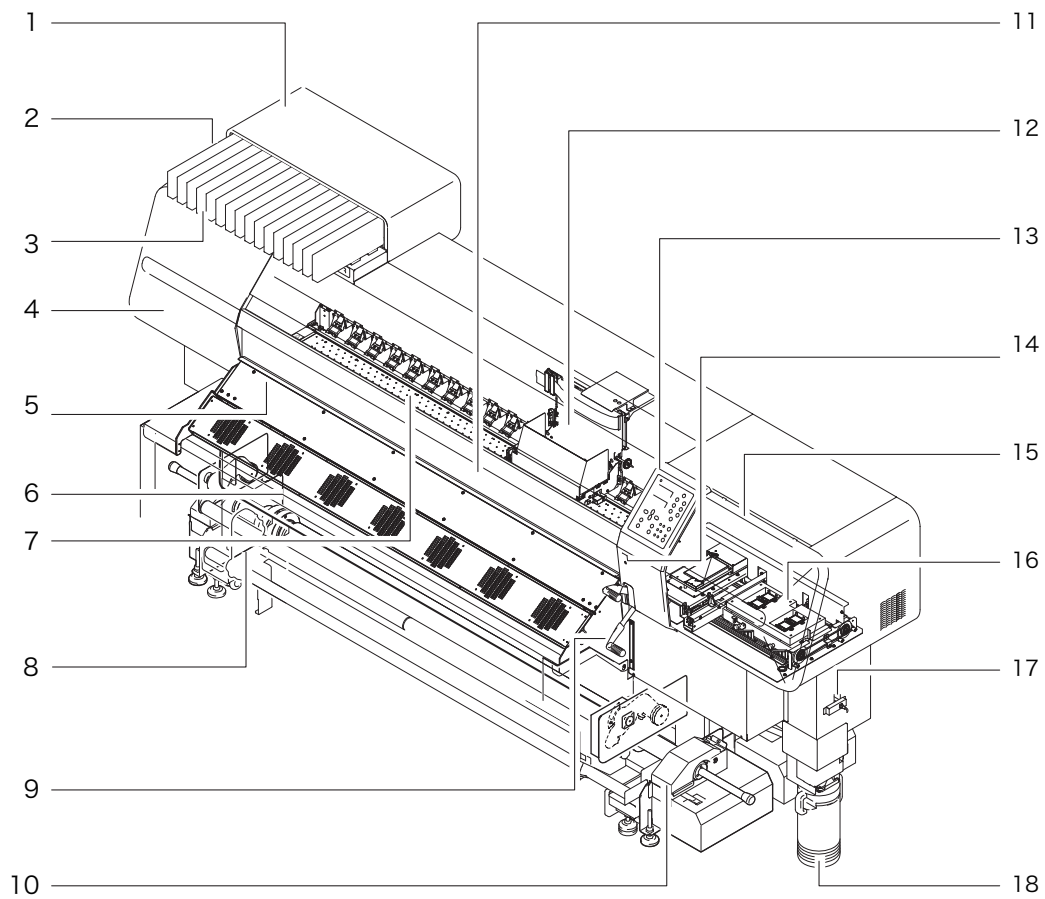
USB メモリに保存してあるスプールデータを出力する場合、本機へのデータ転送速度が遅くなります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

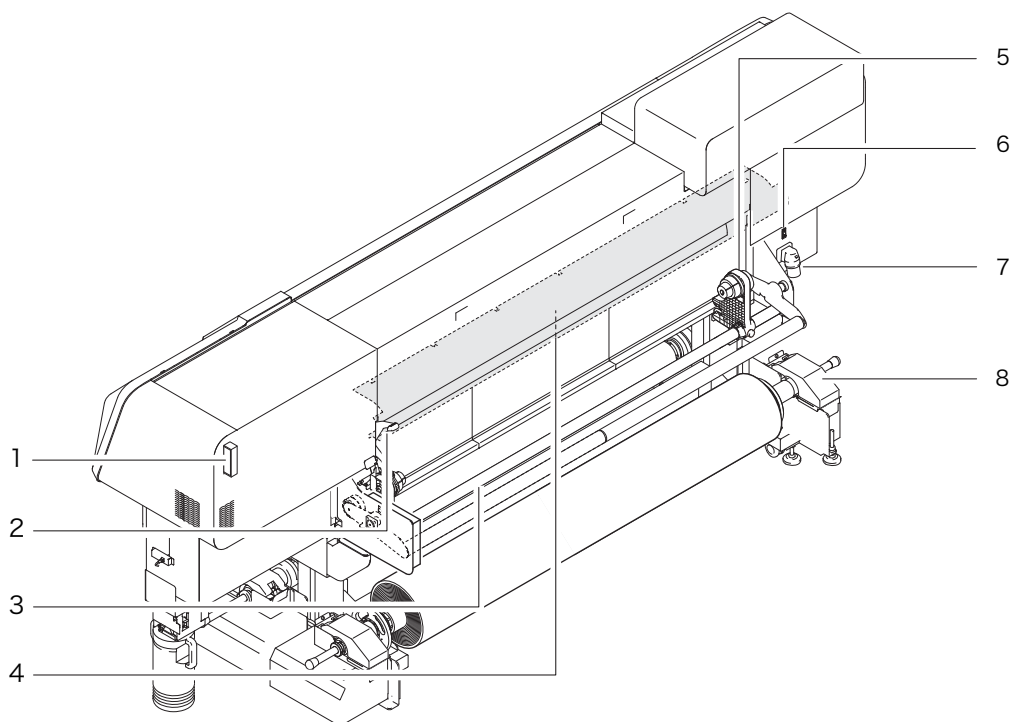
第 2 章
ご使用の前に

この章では ...

本装置の各部の名称、操作パネルの使いかたについて説明します。

各部の名称とはたらき

装置前面

	名 称	はたらき
1	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。
2	インクカートリッジ	各色のインクが入っています。
3	カートリッジ LED	各スロットの LED (緑、赤) により、カートリッジ状態を表します。
4	メンテナンスカバー L	メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
5	プラテン	プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の 3 カ所にヒーターが内蔵されています。
6	アフターヒーター	作図後のインクを乾燥します。
7	プリントヒーター	作図中のインクの定着と乾燥を行います。(プラテンの内側にあります)
8	脚	本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。
9	クランプレバー (前)	ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。
10	AMF メディア巻取装置	作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。
11	フロントカバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
12	キャリッジ	作図を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。
13	操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。 また、ヒーターの操作スイッチと、コンディションを示す LED ランプがあります。
14	電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。主電源スイッチをオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(フラッシング機能)
15	メンテナンスカバー R	ステーション内部のメンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
16	キャッピングステーション	ヘッドにキャッピングするキャップやワイパー等があります。
17	USB 2.0 コネクタ	USB 2.0 インターフェイスです。
18	廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。

装置背面

	名 称	はたらき
1	洗浄用インクカートリッジ	メンテナンス時に使用する、洗浄用カートリッジです。 ソルベントインク使用時は MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ (SPC-0294) を、昇華転写インク使用時は水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259) をお使いください。
2	クランプレバー (後)	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
3	メディア置きバー	ロールメディアのセット時に、メディアをのせてセットしやすくします。
4	プリヒーター	プリント前のメディアに予熱をかけます。 (プラテンの内側にあります)
5	ロールホルダー	ロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。 2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。
6	主電源スイッチ	本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。 主電源をオフする前に、必ず前面の電源スイッチをオフにしてください。
7	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
8	AMF メディア操出装置	ロールメディアを自動で繰り出します。

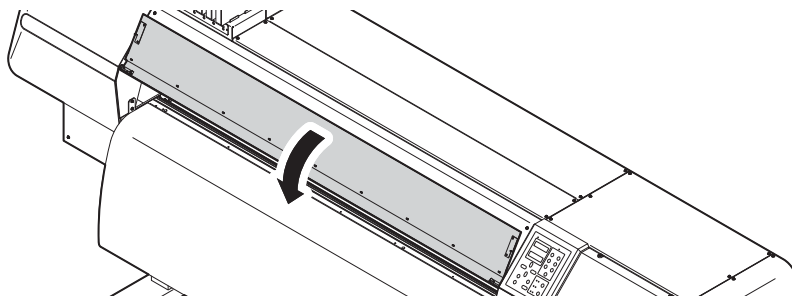
フロントカバーとメンテナンスカバー

フロントカバー / メンテナンスカバーの開閉について

重要! ■作図中にフロントカバーまたはメンテナンスカバーを開けないでください。
作図中にカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、画像の作図が中断され、継続できなくなります。この場合、下の画面が表示されますので、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

カバーヲ シメテクダサイ.

操作手順

1 フロントカバーまたはメンテナンスカバーを閉めます。

2【ENTER】キーを 1 回押します。

(カバー オープン)
<ENT> ヲ オシテクダサイ

3 キャリッジが動き始め、初期動作を行います。

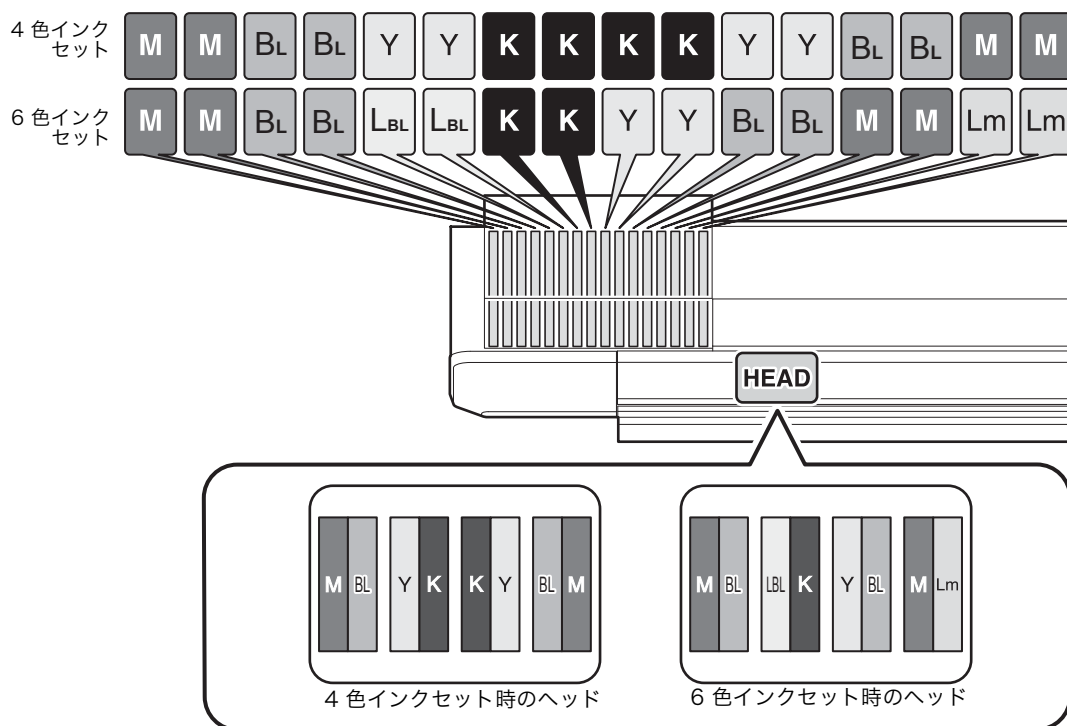
＊ ショキカ チュウ ＊
シバラク オマチクダサイ

目次 1 2 3 4 5 6 索引

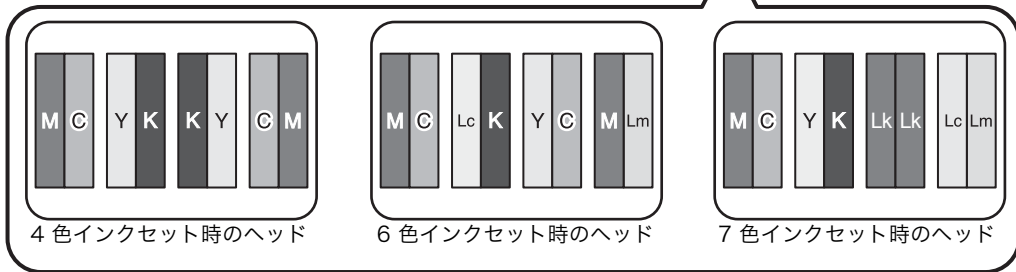
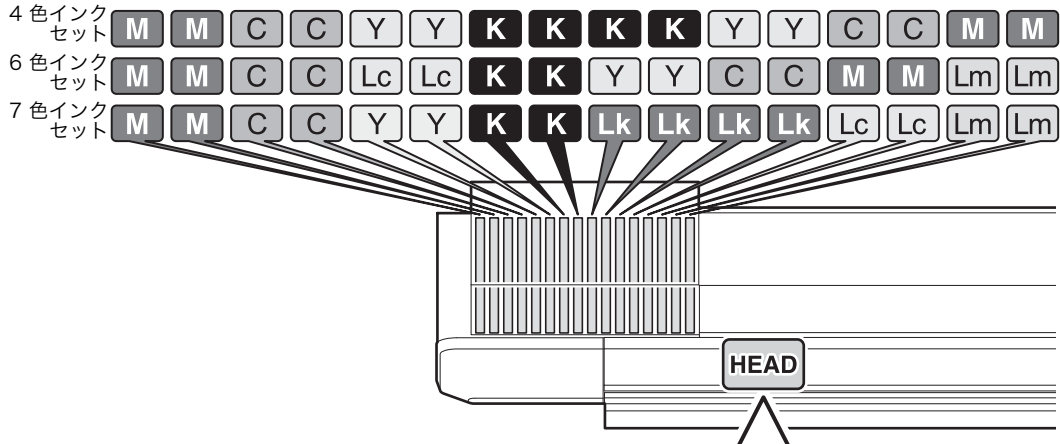
インクステーションとヘッドの関係

キャリッジには、4 つのヘッドを搭載しています。1 つのヘッドには、8 列のノズルを配置しています。1 列のノズルに対して 1 色のインクが対応しています。
ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。
インクステーションのカートリッジは、初期充填の際に選択したインクセット (4 色 /6 色 /7 色) により異なります。

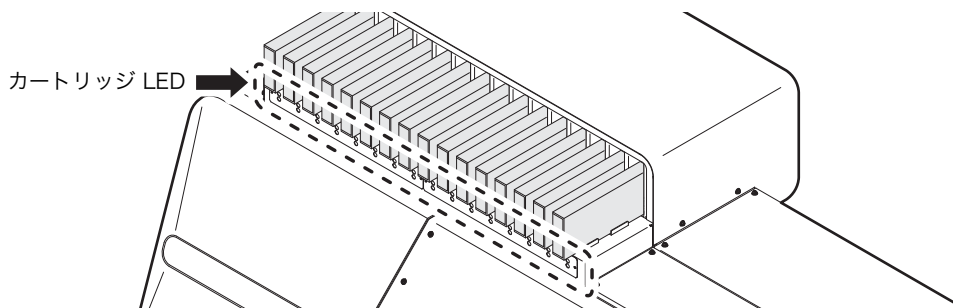
昇華転写インクをご使用の場合

K	ブラック
M	マゼンタ
BL	ブルー
Y	イエロー
LBL	ライトブルー
Lm	ライトマゼンタ

4 色インクセット	インクカートリッジを各色 4 本ずつ搭載します
6 色インクセット	K、Y、LBL、Lm は各 2 本ずつ、 M、BL は 4 本ずつ搭載します

ソルベントインクをご使用の場合

K	ブラック
M	マゼンタ
C	シアン
Y	イエロー
Lc	ライトシアン
Lm	ライトマゼンタ
Lk	ライトブラック

4 色インクセット	インクカートリッジを各色 4 本ずつ搭載します
6 色インクセット	K、Y、Lc、Lm は各 2 本ずつ、M、C は 4 本ずつ搭載します
7 色インクセット	M、C、K、Y、Lc、Lm は各 2 本ずつ、Lk は 4 本搭載します

カートリッジ管理

インクカートリッジは 1 供給系 (1 ノズル列) あたり、2 本のカートリッジを使用し、合計 16 本搭載されます。供給カートリッジは 1 供給系につき常に 1 本のみです。トグル切り替えにより交互にカートリッジを使用します。

カートリッジ LED

各スロットの LED (緑、赤) により、カートリッジ状態を表します。

緑 LED 点灯	供給カートリッジであることを示します
赤 LED 点滅	[インク エンド]、[インク ニアエンド]、[インク キゲン (1 カゲツ)]、[インク キゲン ギレ] が発生しているカートリッジであることを示します
赤 LED 点灯	インク IC ワーニングが発生しているカートリッジ、または残量 0 カートリッジ、カートリッジ無し状態を示します

使用できないカートリッジ

インク IC ワーニング	[ヒ ジュンセイ インク]、[インク IC イジョウ]、[インク シュルイ]、[インク カラー]、[カートリッジ イジョウ]、[インク キゲン (2 カゲツ)] の インク IC に関するエラー
残量 0 カートリッジ	インク使いきりクリーニング ([インクニアエンド]、[インクエンド] が発生したカートリッジを優先使用してクリーニングを行う機能) により、残量 0 となったカートリッジ

カートリッジの切り替え条件

供給カートリッジの切り替えは、以下の条件で発生します。

作図中の [インク エンド]
充填中の [インク ニアエンド]
インク IC ワーニング
カートリッジが抜かれた場合
インク使いきりクリーニング

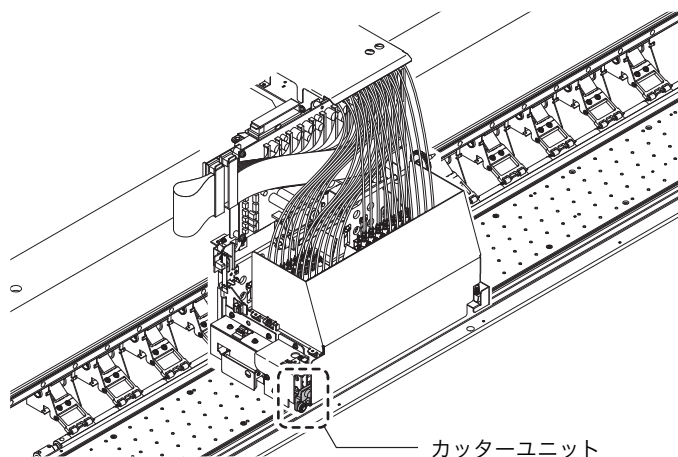
ワーニングと動作の関係

1 供給系内での切り替えが不可能な場合は、現在の供給カートリッジについて発生しているワーニングを表示します。

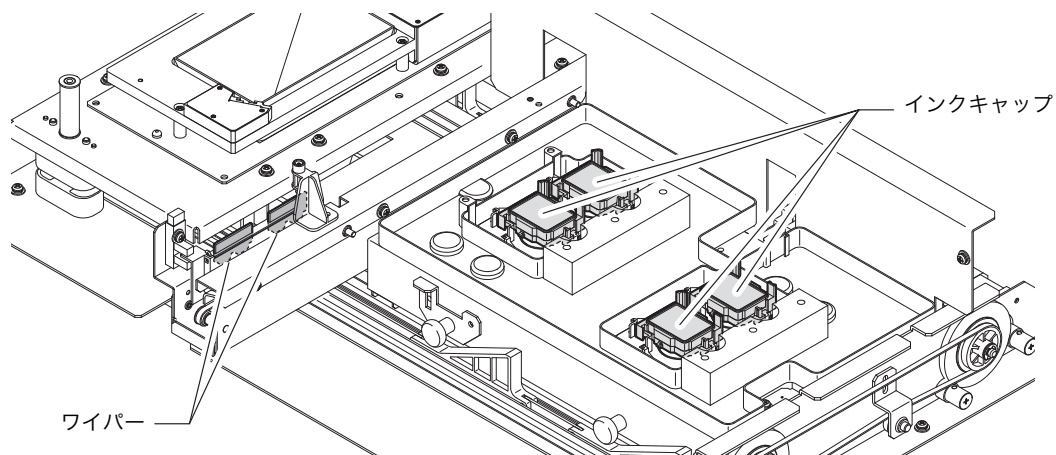
<table>
<tr><th colspan="2">ローカル / リモートアイドル
ワーニング表示
(供給系単位の状態)</th><th>ガイダンス機能
ワーニング詳細表示
(カートリッジ単位の状態)</th><th>クリーニング</th><th>充填</th><th>作図</th></tr>
<tr><td>ニアエンド</td><td></td><td>インク ニアエンド</td><td>×</td><td>×</td><td>*1</td></tr>
<tr><td>インクエンド</td><td></td><td>インク エンド</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="8">カートリッジ</td><td rowspan="8">!CAR</td><td>カート リッジ ナシ</td><td rowspan="8">×</td><td rowspan="8">×</td><td rowspan="8">×</td></tr>
<tr><td>ヒ ジュンセイ インク</td></tr>
<tr><td>インク IC イジョウ</td></tr>
<tr><td>インク シュルイ</td></tr>
<tr><td>インク カラー</td></tr>
<tr><td>カートリッジ イジョウ</td></tr>
<tr><td>インク キゲン (2 カゲツ)</td></tr>
<tr><td>ザンリョウ 0</td></tr>
<tr><td>インクキゲン
(1M)</td><td></td><td>インク キゲン (1 カゲツ)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>インクキゲン</td><td></td><td>インク キゲン ギレ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

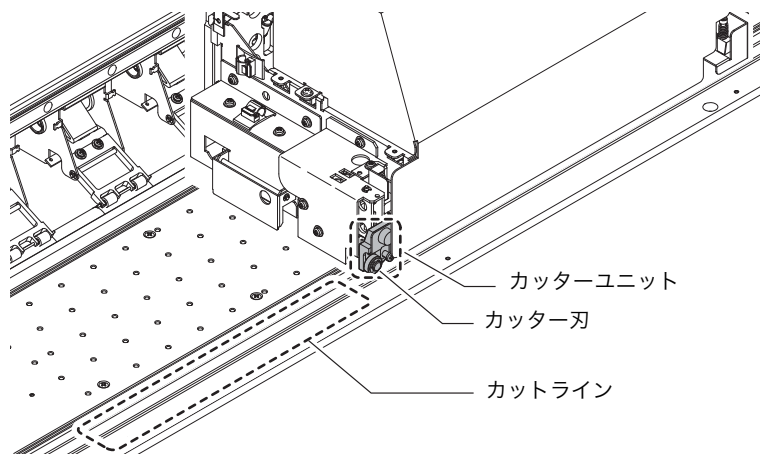
× : 不可
○ : 可能
*1 作図終了毎にローカルモードへ移行します。

キャリッジ

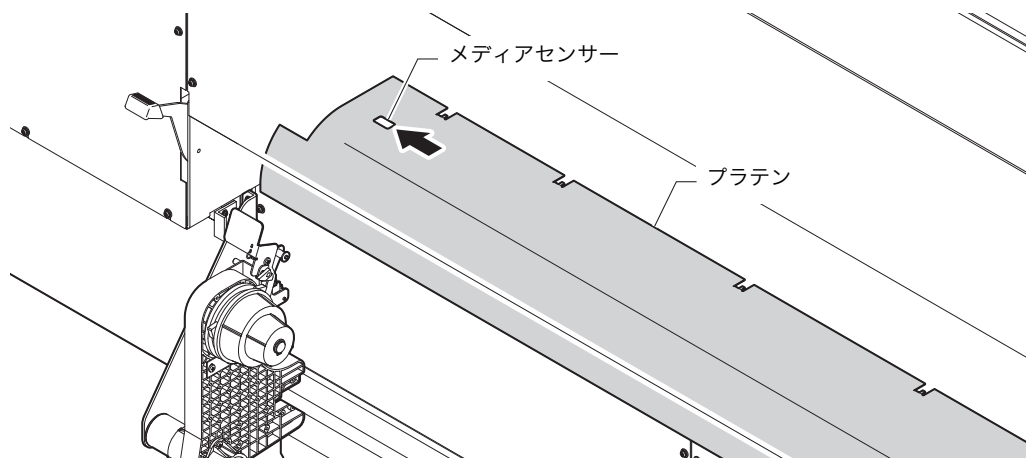
キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。

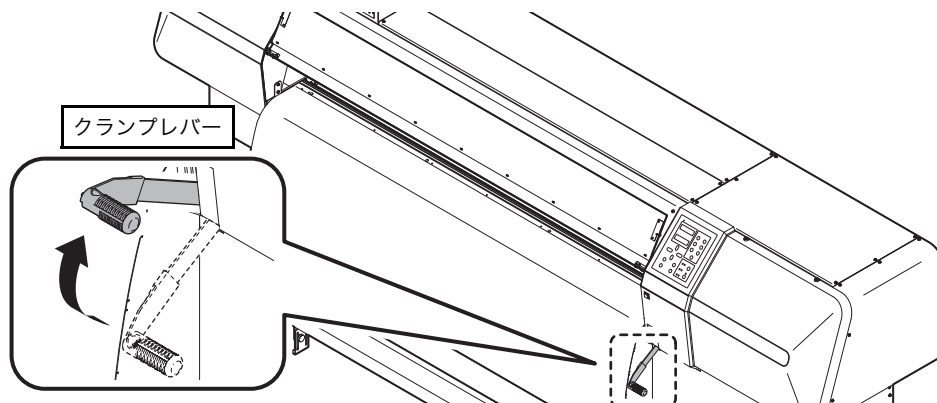
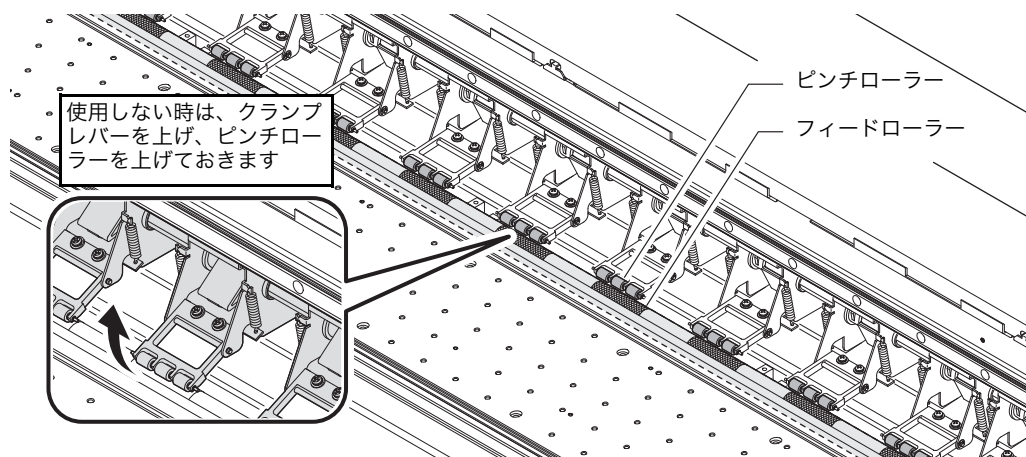
■キャッピングステーション内をクリーニングするときは、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

カッター刃とカットライン

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。
(作図終了後のメディアカット (3-35 ページ) 参照)、(オートカット (6-9 ページ) 参照)

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上 (背面側) にメディアセンサーが 1 箇所あります。

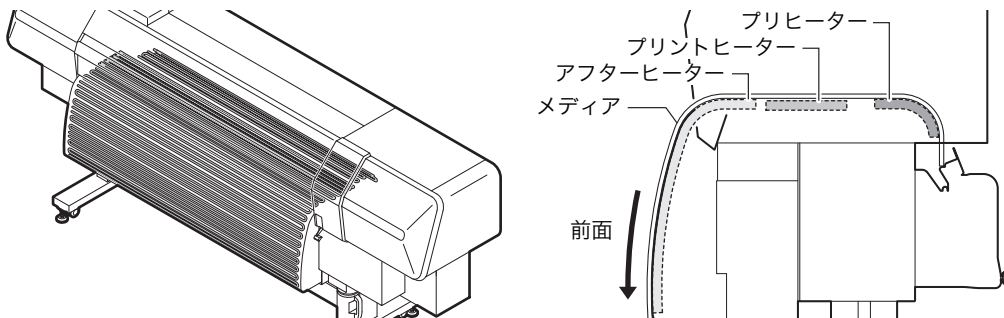
重要!　**■メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。**

ピンチローラーとフィードローラー

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。

重要! **■本装置を使用しない時は、クランプレバーを上げ、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。**
ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

ヒーター

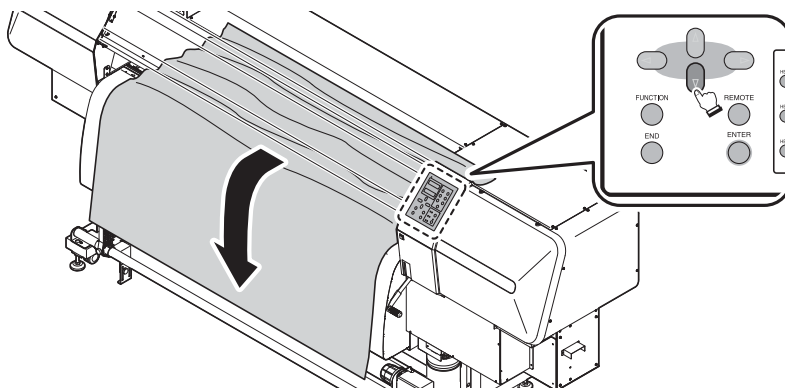
プラテンには、次の 3 つのヒーターが内蔵されています。

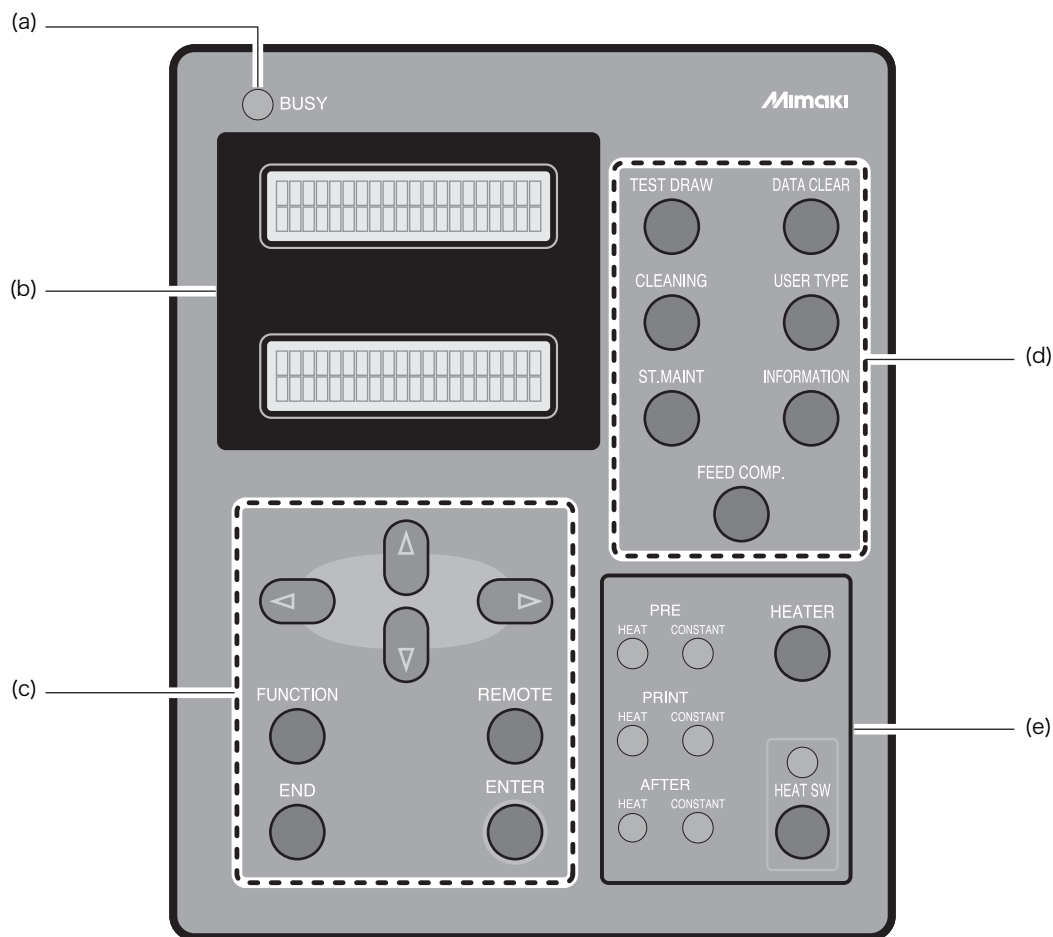
	昇華転写インクをご使用の場合	ソルベントインクをご使用の場合
プリヒーター	使用しない	作図中のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑える
プリントヒーター	使用しない	作図時の画像品質を上げる
アフターヒーター	作図後、インクを乾燥させる	

ヒーターの電源オン / オフ、および各ヒーターの状態を LED ランプで表示します。本装置の電源スイッチをオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。

■ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分に下がってから行ってください。火傷の原因になります。

■薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。

■長時間メディアを作図せずにヒーターで加熱し続けないでください。メディアの表面が波のように浮き上がり、ヘッドがメディアを擦る原因になります。メディアが波のように浮き上がっている場合は、浮き上がりのない場所まで【▼】キーでメディアを送ってから作図してください。

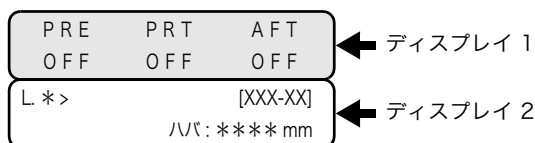
目次
1
2
3
4
5
6
索引

操作パネル

操作パネルは、作図方法の設定・各種操作に使用します。
操作パネルには、本装置の状態を知らせる 1 つのランプ (a) 、2 つのディスプレイ (b) 、各種操作に使用する 8 個のキー (c) 、多彩な機能が簡単に呼び出せる 7 個のダイレクトキー (d) 、そして 3 ヵ所のヒーターを管理する 2 つのキーと 7 つのランプ (e) があります。

ディスプレイ

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、本文中では [タイプ 1] や [シバラク オマチクダサイ] の様に [　] を使用して説明しています。
また、操作キーは【太いカッコ】を使用して説明しています。
説明記号【▼】は、ジョグキーの下キーを押すことを意味しています。
その他の操作キーは、【FUNCTION】の様に操作キーの名称を【　】の中に表記しています。

ディスプレイの見かた

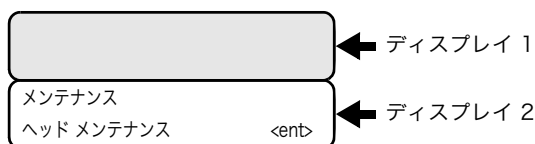
ディスプレイには状態によって、次のような内容が表示されます。

作図待機状態

ディスプレイ 1 :

本装置の、各ヒーター温度が表示されます。

ディスプレイ 2 :

上段左側には、モード状態が表示されます。この場合はローカルモードです。
(ローカルモード (2-20 ページ) 参照)
上段右側には、現在本装置に割り当てられている [マシン名称] が表示されます。
下段右側には、本装置が検出したメディアの幅が表示されます。

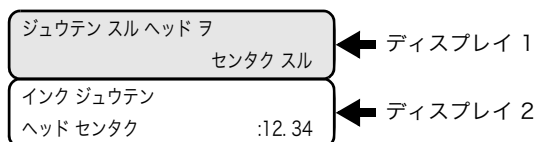
機能メニュー表示状態

ディスプレイ 1 :

メニュー階層の最上位、または [セッテイ] 機能選択時まで、各ヒーター温度が表示されます。選択項目によっては、何も表示しない場合もありますが、これは故障ではありません。

ディスプレイ 2 :

上段には、選択項目が表示されます。
下段左側には、ジョブ名などが表示されます。
下段右側に、<ent> などの表示がある場合は、ジョブの選択 / 非選択、または下の階層があることを示しています。
機能メニューの操作については、「メニュー階層の概要」をご覧ください。**(2-24 参照)**

項目 / 設定値表示状態

選択されたジョブに対する、作業内容などが表示されます。

ディスプレイ 1 :

選択項目によっては、何も表示しない場合もありますが、これは故障ではありません。

ディスプレイ 2 :

上段には、ジョブ名などが表示されます。
下段左側には、ジョブの選択項目などが表示されます。
下段右側には、項目 / 設定値などが表示されます。ジョグキーで設定値を入力します。この場合は [ヘッド メンテナンス] での [ヘッド選択] です。
機能メニューの操作については、「メニュー階層の概要」**(2-24 参照)** をご覧ください。

ジョブ処理状態

ディスプレイ 1 :

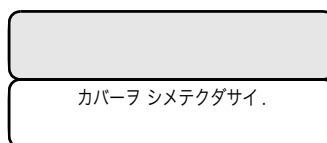
本装置の動作状態が表示されます。

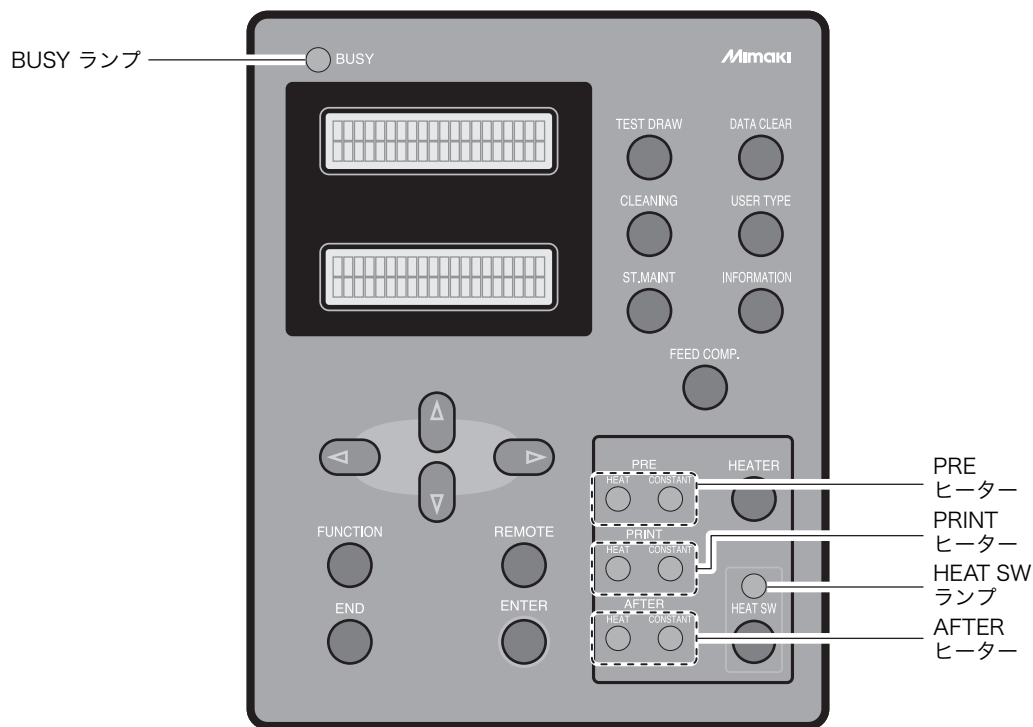
ディスプレイ 2 :

上段には、ジョブ名などが表示されます。この場合は [ヘッド メンテナンス] での [インク充填中] です。
下段には、ジョブの進行状況などが表示されます。

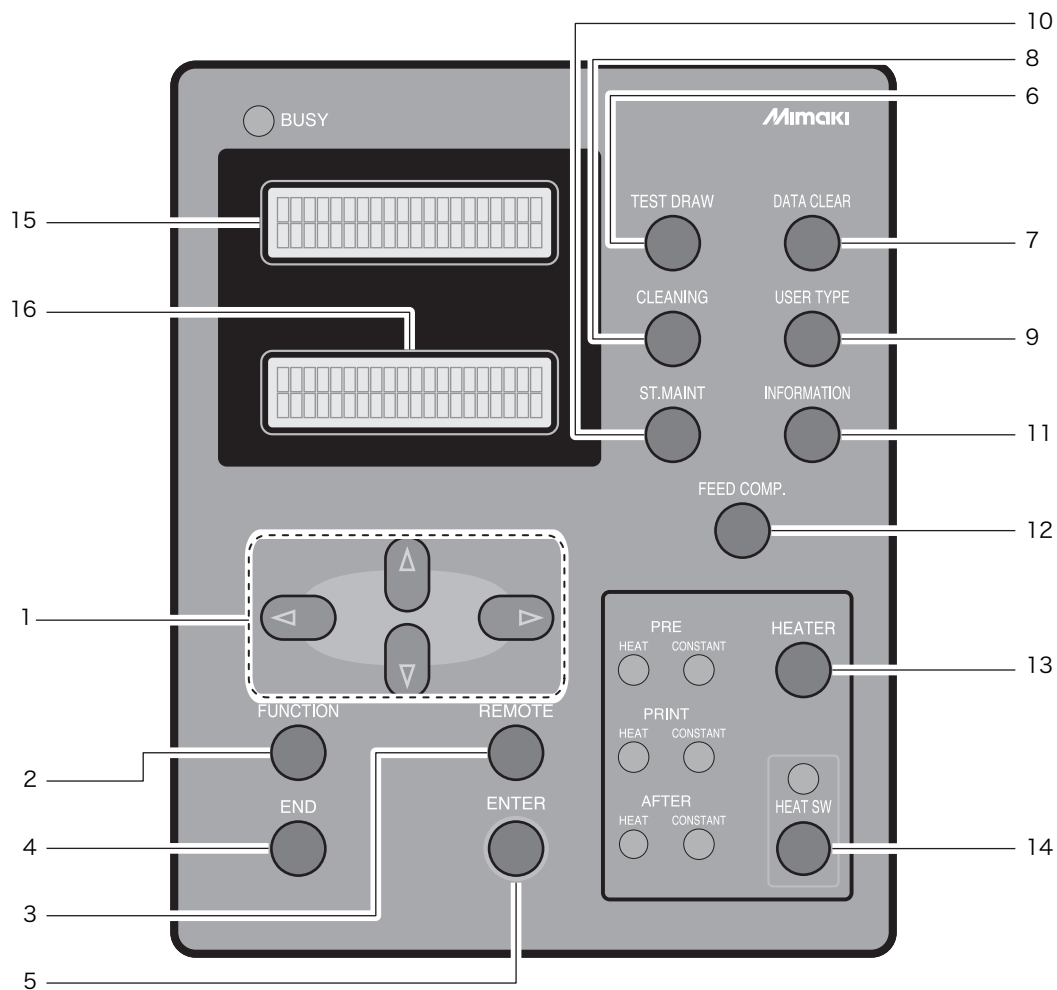
メッセージ表示状態

お客様による作業が必要な場合、ディスプレイにメッセージが表示されます。
メッセージの内容に従ってください。

カバーヲ シメテクダサイ .

ランプの見かた

ランプ点灯により、次の状態が表示されます。

ヒーター名	名 称	はたらき
--	BUSY ランプ	処理中の動作がある場合に点灯します。点灯中は、本装置のカバーを開けたり、キー操作をしないでください。装置異常などの原因になります。
--	HEAT SW ランプ	ヒーターの電源を ON にすると、オレンジ色に点灯します。
PRE ヒーター	HEAT ランプ	PRE ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	PRE ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。
PRINT ヒーター	HEAT ランプ	PRINT ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	PRINT ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。
AFTER ヒーター	HEAT ランプ	AFTER ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	AFTER ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。

キーの使いかた

操作パネルの各機能を説明します。

	名　称	はたらき
1	ジョグキー 【▲】【▼】【◀】【▶】	[ローカルモード] でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。
2	【FUNCTION】キー	各種機能設定メニューに入ります。
3	【REMOTE】キー	[ローカルモード] と [リモートモード] を切り替えます。
4	【END】キー	直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。
5	【ENTER】キー	1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。
6	【TEST DRAW】キー	ノズル詰まりなどの作図不良がないかを確認するために、テストパターンを作図します。
7	【DATA CLEAR】キー	本装置が受信したデータを消去します。
8	【CLEANING】キー	クリーニングタイプを選択して、ヘッドクリーニングを実行します。
9	【USER TYPE】キー	ユーザータイプを変更します。
10	【ST.MAINT】キー	ステーションのメンテナンスを行います。 メンテナンス機能の [ステーションメンテナンス] をダイレクトに起動します。
11	【INFORMATION】キー	各種情報の表示、印刷を行います。
12	【FEED COMP.】キー	現在設定されているタイプに対して、セッテイ機能の [メディアホセイ] をダイレクトに起動します。
13	【HEATER】キー	プリヒーター、プリントヒーター、アフターヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。
14	【HEAT SW】キー	ヒーターの電源をオン / オフします。
15	ディスプレイ 1	本装置の状態、設定項目、メニュー名などを表示します。通常は、各ヒーターの温度状態を表示します。
16	ディスプレイ 2	本装置に対して各種の詳細な設定が必要なとき、設定値の入力などに使用します。

ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◁	メディア幅を検出します	キャリッジを左へ移動します		
▷	メディア幅とメディア長を検出します	キャリッジを右へ移動します		
△		メディアを奥へ移動します	1 つ前の機能に戻ります	1 つ前の値を選択します
▽		メディアを手前に移動します	次の機能に移ります	次の値を選択します

モードとメニュー画面

モードについて

本装置には、次の 4 つのモードがあります。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。【REMOTE】キー、および【TEST DRAW】キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押してメディア検出や原点を設定します。
- 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。
- 【REMOTE】キーを押して [ローカルモード] と [リモートモード] を切り替えます。
- 【ENTER】キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- 【TEST DRAW】キーを押して、作図不良がないかを確認するテストパターンを作図します。
- 【DATA CLEAR】キーを押して、受信した作図データを消去します。
- 【CLEANING】キーを押して、ヘッドクリーニングを行います。
- 【USER TYPE】キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- 【ST.MAINT】キーを押して、[メンテナンス] 機能の [ステーション メンテナンス] をダイレクトに起動します。
- 【INFORMATION】キーを押して、[マシンセッテイ] 機能の [ジョウホウ] をダイレクトに起動します。
- 【FEED COMP.】キーを押して、[メディアホセイ] をダイレクトに起動します。
- 【HEATER】キーを押して、ヒーターの温度を設定します。
- 【HEAT SW】キーを押して、ヒーターの電源をオン / オフします。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に【REMOTE】キーを押すと、一時停止しローカルモードに戻ります。

ファンクションモード

ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードになります。各ファンクション機能を設定します。

機能メニューについて

メニュー画面の基本操作

本装置には、さまざまな機能が内蔵されており、操作パネルで設定することができます。[ファンクションモード] では、システムの設定やオプションの設定、ヘッドクリーニング、テストプリントなどの機能を操作することができます。また、各ダイレクトキーを押すことで、多彩な内蔵機能をすばやく呼び出せます。

プリンタ機能の優先順位

操作パネルから設定した項目は、プリンタの初期値として全ての印刷ジョブに適用されます。また、プリンタの操作パネルを優先にするか、コンピュータ (ホスト) を優先にするかを、プリンタの [セッテイ] 機能の [ユウセンジュンイ] で選択できます。

機能メニューの構造

各メニューの項目は、次のように階層化されています。

【FUNCTION】キーまたは【▲】【▼】【◀】【▶】キーで項目を選択し、【ENTER】キーで階層を進んだり、【END】キーで階層を戻ることができます。また各項目の設定値は【ENTER】キーで実行されます。

機能メニューの設定操作

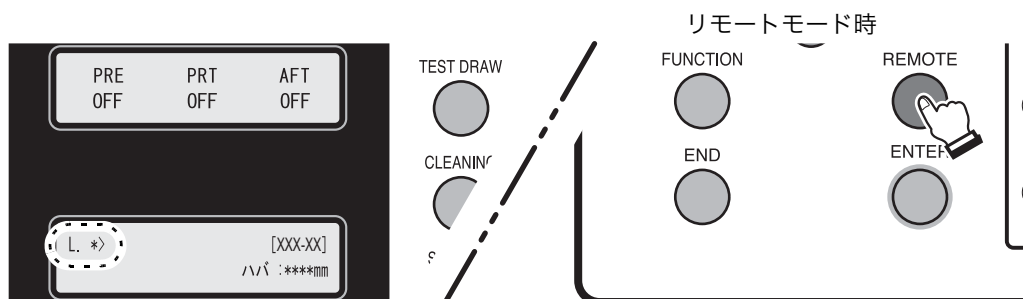
機能メニューを設定するときは、ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押し、【▲】【▼】【◀】【▶】、【ENTER】キーで操作します。ローカルモードになっていないときは、【REMOTE】キーを 1 回押します。

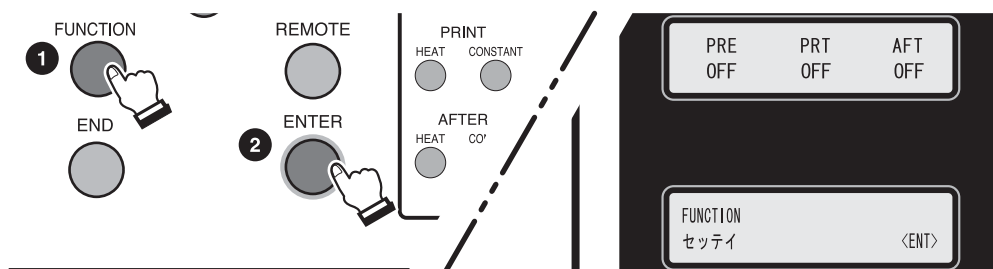
設定のしかた

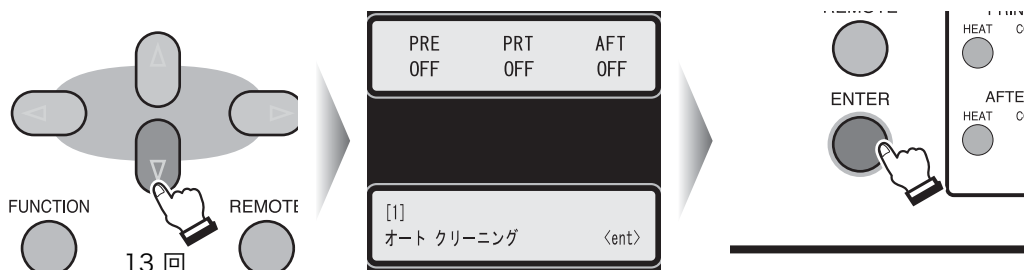
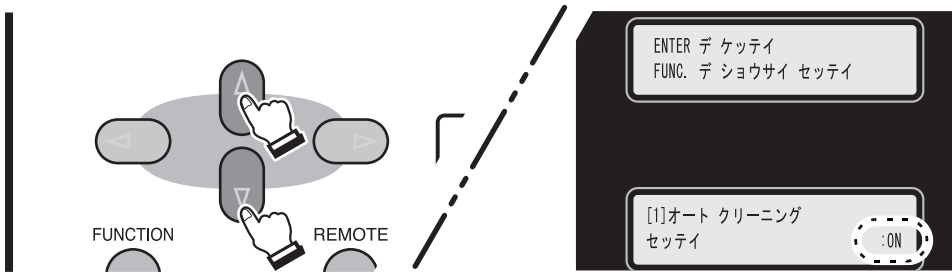
ここでは、[セッテイ] → [オートクリーニング] の設定を例に、操作手順を説明します。

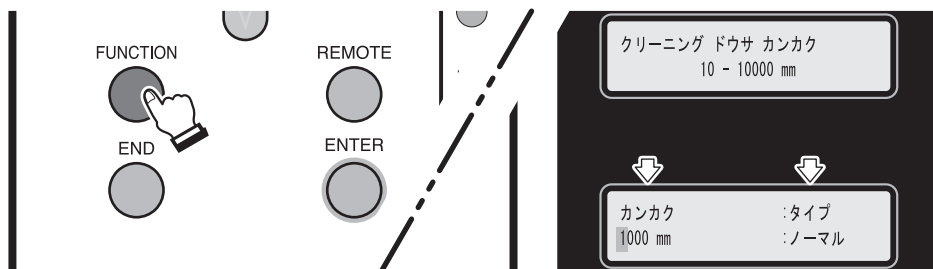
操作手順

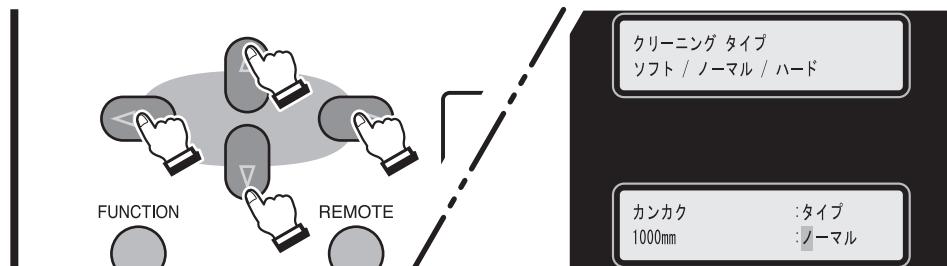
1 ローカルモードになっていることを確認します。

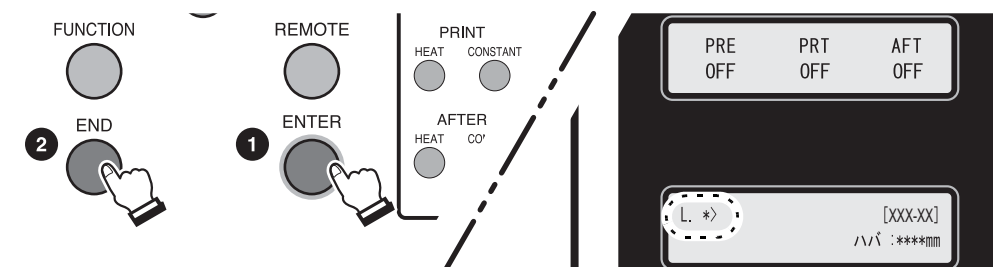
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーを押します。

以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーを 2 回押し、下の階層へ進みます。

3【▼】キーを 13 回押し、[オート クリーニング] を選択して、【ENTER】キーを押します。

メニュー画面が、オート クリーニングの ON / OFF を設定する画面に変わります。

4【▲】【▼】キーで、オート クリーニングの ON / OFF を設定します。

5 ここで【FUNCTION】キーを押すと、さらに [クリーニング ドウサ カンカク] と [クリーニング タイプ] を設定できます。

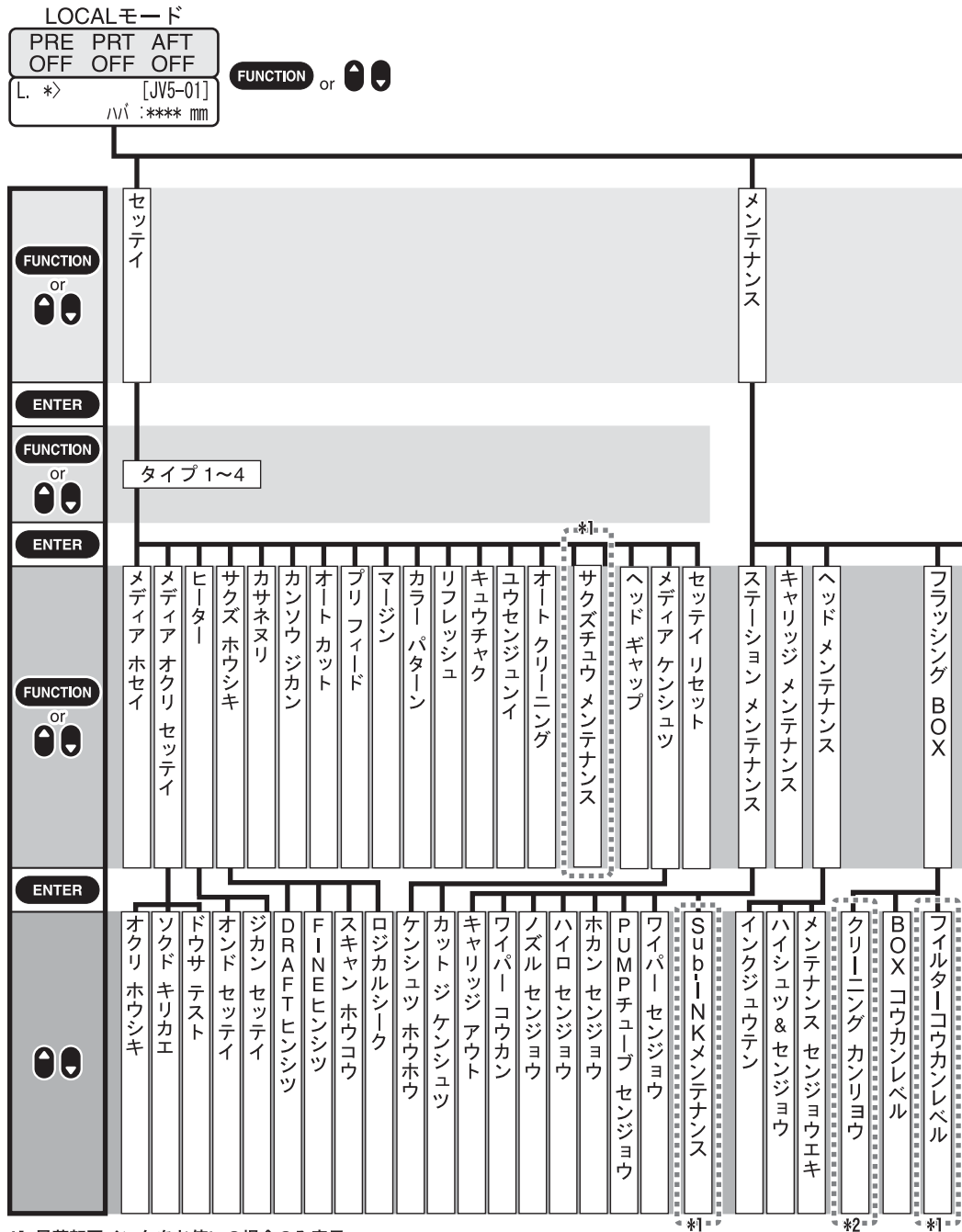
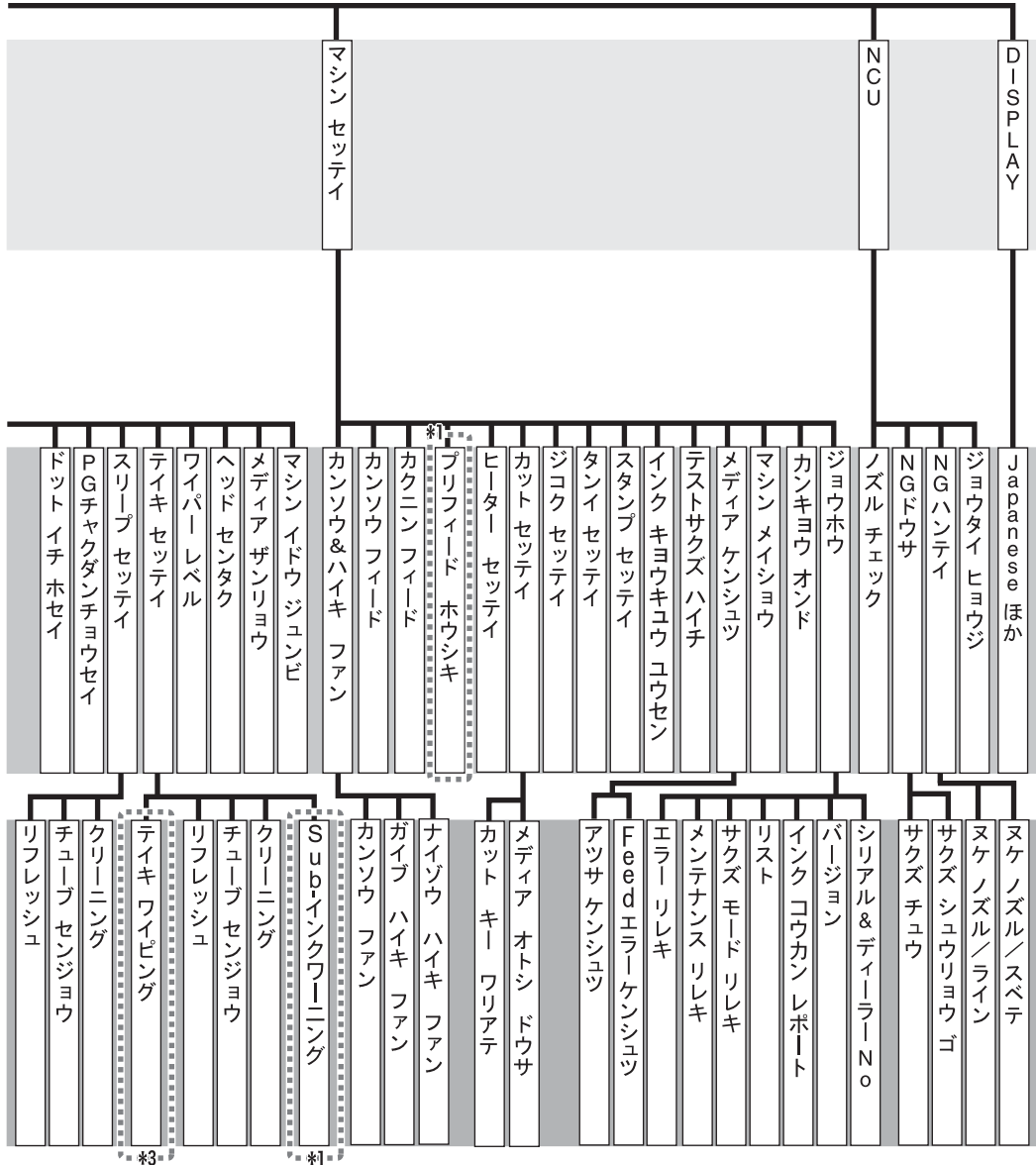
オート クリーニング [ON] 選択時のみ有効です。

6【FUNCTION】キーで下の階層へ進み、【▲】【▼】キーで、[クリーニング ドウサ カンカク] を入力します。

【◀】【▶】キーで [クリーニング タイプ] の設定画面へ切り替わりますので、【▲】【▼】キーで [クリーニング タイプ] を設定します。

7【ENTER】キーを 2 回押し、設定を確定します。

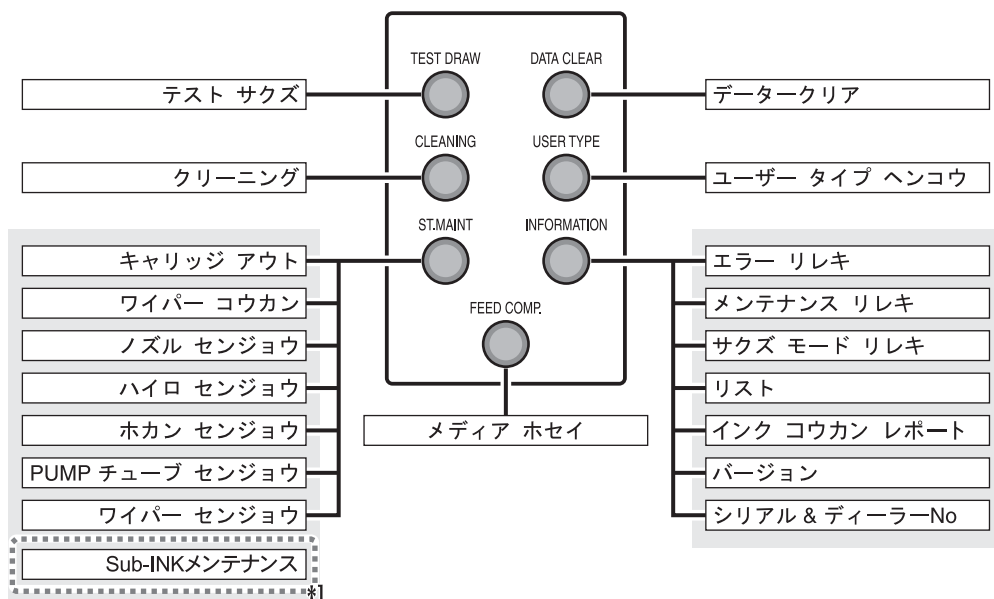
【END】キーを数回押し、ローカルモードに戻ります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

メニュー階層の概要

ファンクションメニュー

【FUNCTION】キーを押してメニューを選択します。

*1:昇華転写インクをお使いの場合のみ表示
*2:「フラッシングBOXクリーニング」のワーニングまたはエラー発生中のみ表示

*3：ソルベントインクをお使いの場合のみ表示

ダイレクトキー

各ダイレクトキーを押すことで、よく使う機能を簡単に呼び出せます。

*1：昇華転写インクをお使いの場合のみ表示

機能メニューの設定値一覧

各メニューには次の機能があります。

セッテイ機能

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
メディア ホセイ **(P. 3-27)**			-255 ～ 255	メディアの送り量を補正するためのパターンを作図し、補正します。
メディアオクリセッテイ **(P. 6-5)**	オクリホウシキ		ダイレクト、ノーマル	メディアの送り量検出方式を切り替えます。
	ソクドキリカエ		200% ～ 10%	メディアを送る速度を設定します。
	ドウサテスト			メディアエンコーダを使用したダイレクト検出方式に適したメディアかどうか、テストを行います。
ヒーター **(P. 3-15)** **(P. 6-34)**	オンドセッテイ	プリヒート	OFF, 20 ～ 60 °C (OFF, 68 ～ 140 °F)	ヒーターの状態を設定します。
		プリントヒート	OFF, 20 ～ 60 °C (OFF, 68 ～ 140 °F)	
		アフターヒート	OFF, 20 ～ 70 °C (OFF, 68 ～ 158 °F)	
	ジカンセッテイ	スタンバイ	(ナシ , 0 ～ 90 min、10 min 単位)	
		OFF 時間	(ナシ , 0 ～ 90 min、10 min 単位)	
サクズ ホウシキ **(P. 6-6)**	FINE ヒンシツ		ヒョウジュン、キレイ、ハヤイ	作図品質、作図方向を設定します。
	DRAFT ヒンシツ		ヒョウジュン、キレイ、ハヤイ	
	スキャン ホウコウ		タンホウコウ	
			ソウホウコウ	
	ロジカルシーク		ON、OFF	
カサネヌリ **(P. 6-8)**			1 ～ 9 回	インクの重ね塗りを行います。
カンソウ ジカン **(P. 6-8)**	スキャン		0.0 ～ 19.9 sec.	インクの乾燥時間を設定します。
	サクズエンド		0 ～ 999 sec.	
オート カット **(P. 6-9)**			ON、OFF	作図後、自動でメディアをカットします。
プリ フィード **(P. 6-9)**			ON、OFF	作図前にメディアを前後搬送させます。
マージン **(P. 6-9)**			-10 ～ 85 mm	メディア左右の余白を設定します。
カラー パターン **(P. 6-10)**			ON、OFF	メディア右端にカラーパターンを作図します。
リフレッシュ **(P. 6-10)**			レベル 0 ～ 3	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
キュウチャク **(P. 6-10)**	ツヨイ、ヒョウジュン、ヨワイ、ヤヤヨワイ【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	テイシタイマー	0 ～ 60 min、レンゾク	メディアの吸着する力を設定します。また、作図終了後に吸着ファンを停止するまでの時間を設定できます。
	OFF			メディアを吸着しない設定です。
ユウセンジュンイ **(P. 6-11)**	スベテ ホスト			優先する設定 (パネル / ホスト) を決定します。
	スベテ パネル			
	コベツ セッテイ		メディアホセイ、ヒーター、サクズホウシキ、カサネヌリ、カンソウジカン、オートカット、プリフィード、マージン、カラーパターン、リフレッシュ、キュウチャク、オクリソクド、オクリホウシキ	
オート クリーニング **(P. 3-37)**	ON【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	カンカク	10 ～ 30000 mm	作図ごと、ヘッドを自動的にクリーニングします。
		クリーニングタイプ	ソフト、ノーマル、ハード	
	OFF			
サクズチュウメンテナンス **(P. 3-39)** 【専用昇華転写インクをご使用の場合のみ】	クリーニング【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	カンカク	0.1 ～ 100.0 m	作図中にヘッドを自動的にクリーニングします。
		クリーニングタイプ	ソフト、ノーマル、ハード	
	ワイピング【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	スキャンカイスウ	10 ～ 9990 回	作図中にヘッドを自動的にワイピングします。
	OFF			
ヘッド ギャップ **(P. 3-5)**			1.5 ～ 7.0 mm	ヘッド ギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
メディア ケンシュツ **(P. 6-12)**	ケンシュツホウホウ		セレクト	メディアの検出方法を設定します。
			ハバ	
	カットジケンシュツ		リョウエッジ、ヒダリエッジ、ミギエッジ、ナシ	

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
セッテイ リセット			設定した作図条件を、工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。

メンテナンス機能

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
ステーションメンテナンス	キャリッジアウト **(P. 4-7)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは [ステーションメンテナンス] - [キャリッジアウト] 機能を選択して動かします。
	ワイパーコウカン **(P. 4-56)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		ワイパー交換の表示が出たら、この操作を行いワイパーを交換します。
	ノズルセンジョウ **(P. 4-10)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		ノズル抜け、飛行曲がりなど解消するため、洗浄キットでノズルを洗浄します。
	ハイロセンジョウ **(P. 4-14)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		インク排出路 (ポンプチューブ) の詰まりを防止するため、インク排出路を洗浄します。
	ホカンセンジョウ **(P. 4-16)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		1 週間以上使用しない場合、ヘッドのノズルとインクの排路を洗浄し、保管状態にします。
	PUMP チューブセンジョウ **(P. 4-23)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		インク吸引ポンプの洗浄を行います。
	ワイパーセンジョウ **(P. 4-25)** 【ST.MAINT】キーにより、ダイレクト選択が可能です		ワイパーの洗浄を行います。
	Sub-INK メンテナンス【昇華転写インクをご使用の場合のみ】 ／ インクトレークリーニング **(P. 4-50)**		フラッシング BOX のインクトレーを清掃する際にキャリッジを移動します。
	Sub-INK メンテナンス【昇華転写インクをご使用の場合のみ】 ／ フィルターコウカン **(P. 4-48)**		フラッシング BOX 上のフィルターを交換する際にキャリッジを移動します。
キャリッジメンテナンス **(P. 4-28)**			ヘッドを装置左端まで移動させ、ヘッド周辺のメンテナンスを行ないます。
ヘッドメンテナンス	インクジュウテン **(P. 3-25)**		インクを充填します。ノズル詰まりが [クリーニング]、[ノズルセンジョウ] では復旧しない場合に使用します。
	ハイシュツ & センジョウ **(P. 5-6)**		ヘッド、ダンパー、チューブ内のインクを排出して、専用の洗浄液カートリッジ (別売) にて洗浄します。
	メンテナンスセンジョウエキ **(P. 4-20)** ／ ジュウテン		ワイパー、ポンプチューブ洗浄用の洗浄液を充填します。
	メンテナンスセンジョウエキ **(P. 4-20)** ／ ハイシュツ		ワイパー、ポンプチューブ洗浄用の洗浄液を排出します。

<table>
<tr><th>機能名称</th><th colspan="2">サブ機能</th><th>設定値</th><th>機能概要</th></tr>
<tr><td rowspan="3">フラッシング BOX</td><td colspan="2">クリーニング カンリョウ (P. 4-45)</td><td></td><td>フラッシング BOX のクリーニングを実施したことを、装置に認識させるために行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">BOX コウカンレベル (P. 4-42)</td><td>5/5 ～ 1/5</td><td>フラッシング BOX のクリーニングや交換時期を変更します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フィルターコウカンレベル (P. 4-52)
【昇華転写インクをご使用の場合のみ】</td><td>5/5 ～ 1/5</td><td>フラッシング BOX 上のフィルターの交換時期を変更します。</td></tr>
<tr><td>ドットイチホセイ (P. 3-29)</td><td colspan="2">パターン 1 ～ 4</td><td>-40.0 ～ 40.0 dot</td><td>作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。メディアの厚み、ヘッドの高さ、インク種別を変更した場合、ドットの位置に微妙にズレが生じます。ドット位置を補正して、適正な作図結果を得られるようにします。標準速 / 高速の 2 種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を補正します。</td></tr>
<tr><td>PG チャクダンチョウセイ (P. 3-20)</td><td colspan="2">パターン 1 ～ 8</td><td>-40.0 ～ 40.0 dot</td><td>ヘッドギャップを変更した際、双方向作図のドットの着弾ズレを補正するための基準値を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">スリープセッテイ (P. 4-31)</td><td>リフレッシュ (P. 4-31)</td><td>リフレッシュカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>電源スイッチがオフ状態の時、一定間隔で各動作を行いインク詰まりなどのトラブルを防止します。ヘッドからインクを吐出するリフレッシュの動作間隔を時間で設定をします。</td></tr>
<tr><td>チューブセンジョウ (P. 4-32)</td><td>センジョウカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>ポンプチューブ洗浄の動作間隔を時間で設定をします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クリーニング (P. 4-33)</td><td>クリーニングカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>クリーニングの動作間隔を時間で設定をします。</td></tr>
<tr><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td><td>クリーニングのタイプを設定します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能名称</th><th colspan="2">サブ機能</th><th>設定値</th><th>機能概要</th></tr>
<tr><td rowspan="7">テイキセッテイ
(P. 4-34)</td><td rowspan="2">テイキワイピング
(P. 4-34)
【ソルベントインクをご使用の場合のみ】</td><td>スキャンカイスウ</td><td>0 ～ 9990 回</td><td>装置起動中、一定間隔で各種動作を行い、ノズル詰まり、抜け、ボタ落ち、しぶきなどのトラブルを防止します。結露を取り除くためにノズル面のワイピングの動作間隔をスキャン回数で設定します。</td></tr>
<tr><td>オンドサ</td><td>1 ～ 60 ℃
(マシンセッテイ機能の設定単位)</td><td>ワイピングの動作間隔をプリントヒーターと外気温度の差で設定します。</td></tr>
<tr><td>リフレッシュ
(P. 4-36)</td><td>リフレッシュカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>リフレッシュ動作間隔を時間で設定します。</td></tr>
<tr><td>チューブセンジョウ
(P. 4-37)</td><td>センジョウカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>ポンプチューブ洗浄の動作間隔を時間で設定をします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クリーニング
(P. 4-38)</td><td>クリーニングカンカク</td><td>OFF、1 ～ 168 h</td><td>クリーニングの動作間隔を時間で設定をします。</td></tr>
<tr><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td><td>クリーニングのタイプを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Sub-INK ワーニング
(P. 4-55)
【昇華転写インクをご使用の場合のみ】</td><td>OFF、12 ～ 120 h</td><td>本機放置による色材沈降で生じる色味変化予防のためのお手入れを行う間隔を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワイパーレベル (P. 4-40)</td><td>10/10 ～ 1/10</td><td>ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。(10/10 = 初期値)</td></tr>
<tr><td colspan="3">ヘッドセンタク (P. 5-10)</td><td>[1234]
[123–], [–234]
[12––], [–23–], [––34]
[1–––], [–2––], [––3–], [–––4]</td><td>作図に使用するヘッドを選択します。選択は左表の組み合わせになります。</td></tr>
<tr><td colspan="3">メディアザンリョウ (P. 6-15)</td><td>ON、OFF</td><td>メディア残量表示機能の ON/OFF の設定を行います。メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">マシンイドウジュンビ (P. 6-16)</td><td></td><td>本装置を輸送する際に、ステーションを固定する機能です。</td></tr>
</table>

マシン セッテイ機能

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
カンソウ & ハイキファン **(P. 6-21)**	カンソウファン	テイシタイマー	0 ～ 240 Min, レンゾク	乾燥ファンの動作設定を実施します。[テイシタイマー] は、作図終了後、ファンの回転を停止するまでの時間を設定します。[キリカエ] は、現在のファンの動作状態を切り替えます。
		キリカエ	ON, OFF	
	ガイブハイキファン 乾燥ファンに連動している場合はその旨が表示されます。【FUNCTION】キーで独立動作へ変更でき、右の項目を設定できます。	テイシタイマー	0 ～ 240 Min, レンゾク	外部排気ファンの動作設定を実施します。 ［テイシタイマー］は、作図を終了してからファンの回転を停止するまでの時間を設定します。 ［キリカエ］は、現在のファンの動作状態を切り替えます。 ［レンドウセッテイ］は、動作を乾燥ファンに連動させたい場合の切り替えを行ないます。
		キリカエ	ON, OFF	
		レンドウセッテイ		
	ナイゾウハイキファン 乾燥ファンに連動している場合はその旨が表示されます。【FUNCTION】キーで独立動作へ変更でき、右の項目を設定できます。	テイシタイマー	0 ～ 240 Min, レンゾク	内蔵排気ファンの動作設定を実施します。 ［テイシタイマー］は、作図を終了してからファンの回転を停止するまでの時間を設定します。 ［キリカエ］は、現在のファンの動作状態を切り替えます。 ［レンドウセッテイ］は、動作を乾燥ファンに連動させたい場合の切り替えを行ないます。
		キリカエ	ON, OFF	
		レンドウセッテイ		
カンソウフィード **(P. 6-22)**			ON, OFF	作図後のフィード動作を切り替えます。
カクニンフィード **(P. 6-22)**	ON 【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	メディアモドシフィード	ON, OFF	テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します。
	OFF			
プリフィードホウシキ **(P. 6-23)** 【専用昇華転写インクをご使用の場合のみ】	FORE (**mm) 【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	フィード長さ	10mm ～ 1000mm	プリフィードの動作を切り替えます。
	FORE&BACK			

目次
1
2
3
4
5
6
索引

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
ヒーターセッテイ **(P. 6-23)**		ヒョウジュン、 セッテイ -5℃、 セッテイ -10℃、 セッテイ -15℃、 セッテイ -20℃	アフターヒーターの温度到達判定範囲を変更します。
カットセッテイ **(P. 6-23)**	カットキーワリアテ	ON, OFF	[▶] キーをメディアカットのダイレクトカットキーに割り当てます。
	メディアオトシドウサ	ON, OFF	メディアカット後の、メディアを落とす動作を切り替えます。
ジコクセッテイ **(P. 6-24)**			装置の日付、時刻を設定します。
タンイセッテイ **(P. 6-24)**	オンド	温度の単位 : °C or °F	装置で使用する、温度、長さ、面積についての表示単位を変更します。
	ナガサ	長さの単位 : mm or inch	
スタンプセッテイ **(P. 6-25)**		ON, OFF	作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する設定を行います。
インクキョウキュウユウセン **(P. 3-49)**		ザンリョウ、 ユウコウキゲン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジの状態を設定します。
テストサクズハイチ **(P. 6-26)**		FEED ホウコウ、 SCAN ホウコウ	テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を設定します。
メディアケンシュツ **(P. 6-26)**	アツサケンシュツ	AUTO, MANUAL	メディア幅の検出前に行う厚さ検出の方法を設定します。
	FEED エラーケンシュツ	ON，OFF	ロールメディアを使用している場合に、メディアの終了検出を設定します。
マシンメイショウ **(P. 6-26)**		01 ～ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時に、装置を認識させる為の名称を設定します。
カンキョウオンド **(P. 3-45)**		トウタツヲマタナイ、 トウタツヲマツ	本機の設置場所の温度が使用可能温度から外れている状態で作図を開始しようとしたときの動作を設定します。

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
ジョウホウ	エラーリレキ **(P. 6-27)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに発生したエラー履歴情報を表示します。 複数発生時は上下キーにより順次表示します。	[ジョウホウ] では、各種情報の表示を行います。 【INFORMATION】キーを押すことで、[ジョウホウ] 内の項目を個別に設定することができます。
	メンテナンスリレキ **(P. 6-27)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに行ったメンテナンス機能の履歴を表示します。 複数の履歴がある場合は、上下キーにより順次表示します。	
	サクズモードリレキ **(P. 6-27)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに行った、オンライン作図情報 (作図条件) の履歴を表示します。 複数の履歴がある場合は、上下キーにより、順次表示します。	
	リスト **(P. 6-27)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	インクコウカンレポート **(P. 6-27)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	バージョン **(P. 6-28)** 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	シリアル & ディーラー No **(P. 6-28)** 【【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		

NCU 機能

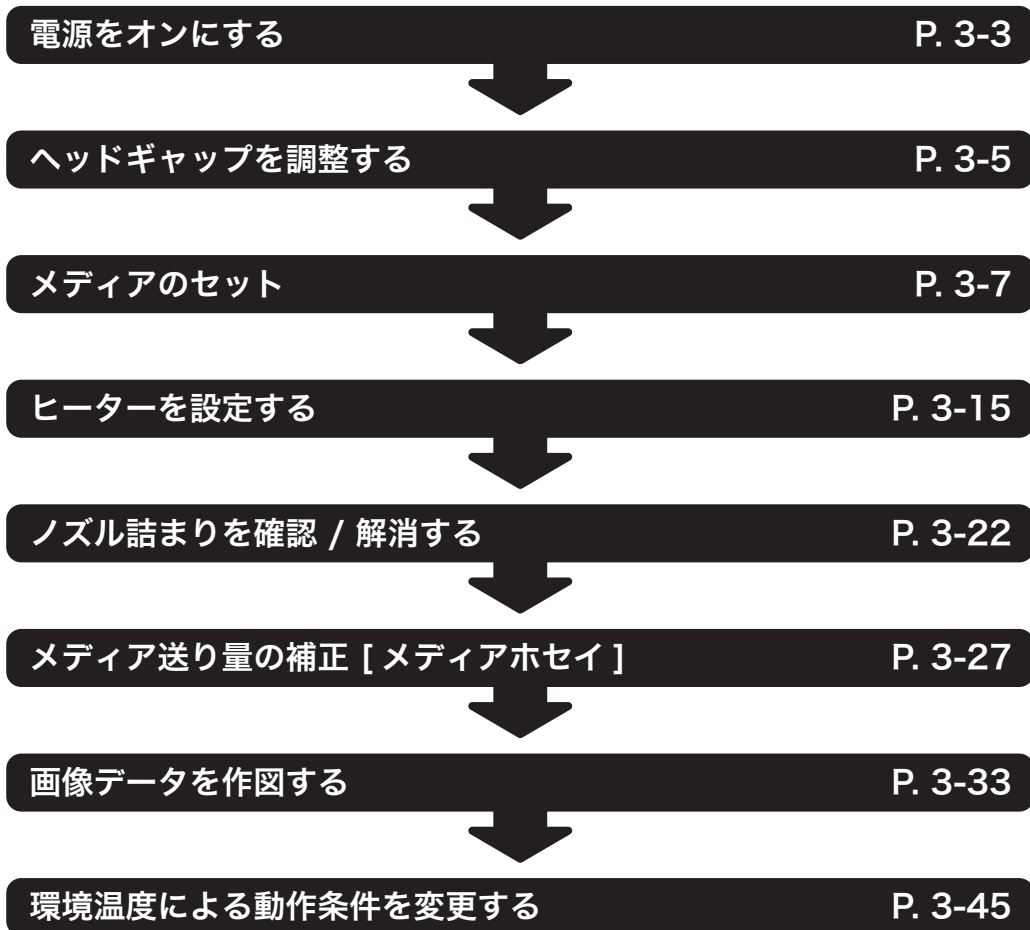
<table>
<tr><th>機能名称</th><th colspan="2">サブ機能</th><th>設定値</th><th>機能概要</th></tr>
<tr><td colspan="3">ノズルチェック (P. 6-30)</td><td>ON、OFF</td><td>ノズル抜け検出を行うか設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">NG ドウサ
[サクズ チュウ]
(P. 6-30)</td><td colspan="2">ケイゾク</td><td></td><td rowspan="5">ノズル抜けを検出して NG 判定した場合の、作図中の動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>クリーニング& ケイゾク</td><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クリーニング& テイシ</td><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td></tr>
<tr><td>リトライカイスウ</td><td>0 ～ 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">テイシ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">NG ドウサ
[サクズ シュウリョウ ゴ]
(P. 6-31)</td><td colspan="2">ケイゾク</td><td></td><td rowspan="5">ノズル抜けを検出して NG 判定した場合の、1 ファイル作図終了後の動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>クリーニング& ケイゾク</td><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クリーニング& テイシ</td><td>クリーニングタイプ</td><td>ノーマル、ソフト、ハード</td></tr>
<tr><td>リトライカイスウ</td><td>0 ～ 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">テイシ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">NG ハンテイ
(P. 6-31)</td><td colspan="2">ヌケノズル / ライン</td><td>1 ～ 180</td><td>ノズルチェック NG とする、1 列あたりのノズル抜けの数の基準を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヌケノズル / スベテ</td><td>1 ～ 180</td><td>ノズルチェック NG とする、全体のノズル抜けの数の基準を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ジョウタイ ヒョウジ (P. 6-31)</td><td></td><td>NCU の状態を表示します。【FUNCTION】キーを押すことで、NCU で起きているエラーや、NCU ⇔メイン間で発生しているエラーを全て表示します。</td></tr>
</table>

第 3 章
作図のしかた

この章では ...

電源の ON から作図を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。

作業の流れ

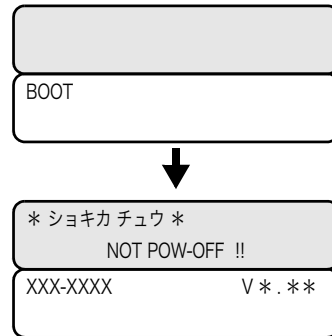
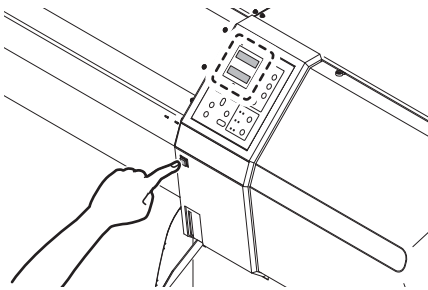
電源のオンから作図が終了するまでの作業の流れです。
各項目の詳細説明は、参照ページをご覧ください。

電源をオンにする

本装置の電源を入れます。

重 要! ■**フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていることを確認してください。カバーが開いていると初期動作を行いません。**

操作手順

1 本装置の電源を入れます。

本装置前面にある電源スイッチを 1 回押します。
電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

2 [シバラク オマチクダサイ] の表示が点滅します。

初期動作を実行します。

シバラク オマチクダサイ

3 ローカルモードになります。

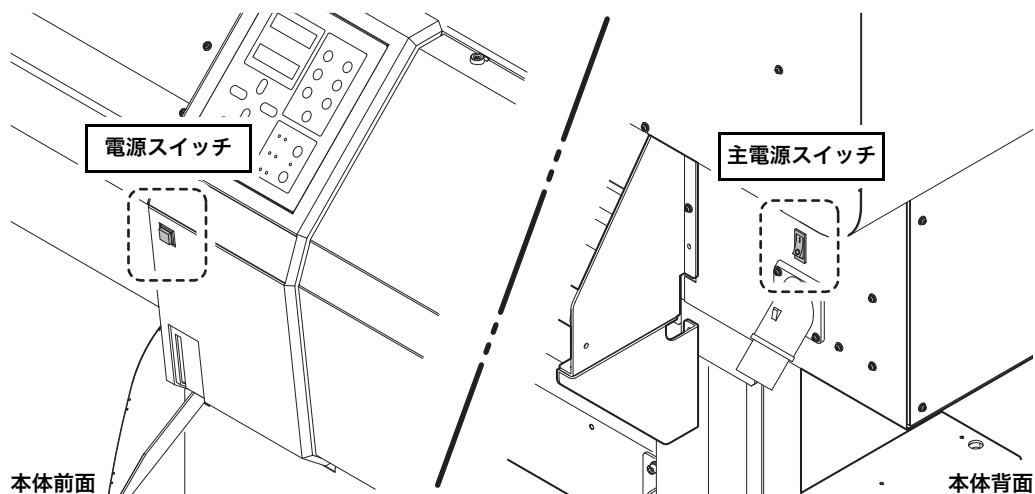
すでにメディアがセットされている場合は、メディア選択画面が表示されます。

4 以下の画面が表示されたことを確認し、接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

メディア センタク
ロール＜ ＞リーフ

目次
1
2
3
4
5
6
索引

電源スイッチについて

本装置には、2 つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ
本装置の背面にあります。通常はオンにしておきます。
主電源をオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

電源スイッチ
本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。
1 回押すと本装置の電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。
電源スイッチがオフになっていても、定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。

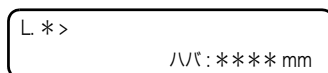
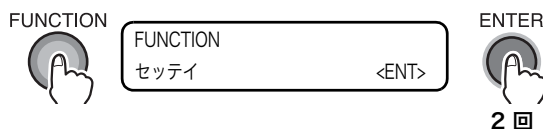
■電源スイッチがオフの状態で、主電源スイッチをオンにした際、本装置の電源がオンになります。

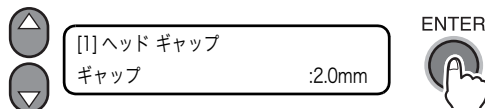
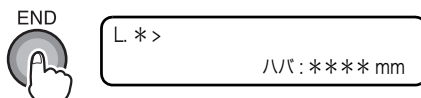
ヘッドギャップを調整する

ヘッドギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
作図、メンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。
ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。
設定値 : [1.5 ㎜～ 7.0 ㎜] (0.1 ㎜単位 / Default : 1.5 ㎜)

重 要! **■本機能ではヘッドギャップを設定するのみで、ヘッド上下移動は行いません。**

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを 2 回押します。

3【▼】キーで [ヘッド ギャップ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーでヘッド ギャップを入力し、【ENTER】キーを押します。

5【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。

ヘッドギャップを確認する

ヘッドギャップは、次の操作で確認できます。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押します。

```
L. ＊>
              ハバ：＊＊＊＊mm
```

2 【ENTER】キーを 2 回押します。

現在のヘッドの状態を表示します。

```
メディア ハバ       1000mm
ヘッド ギャップ      2.0mm
メディア アツサ      0.3mm
```

3 【END】キーを押します。

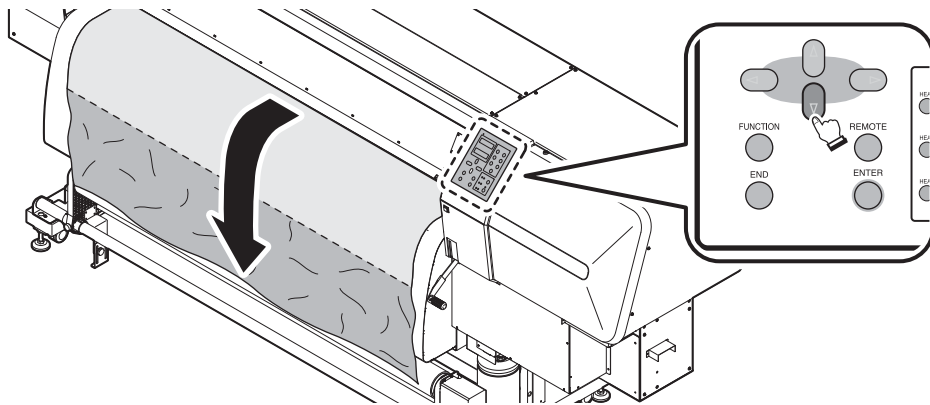
ローカルモードに戻ります。

```
L. ＊>
              ハバ：＊＊＊＊mm
```

メディアのセット

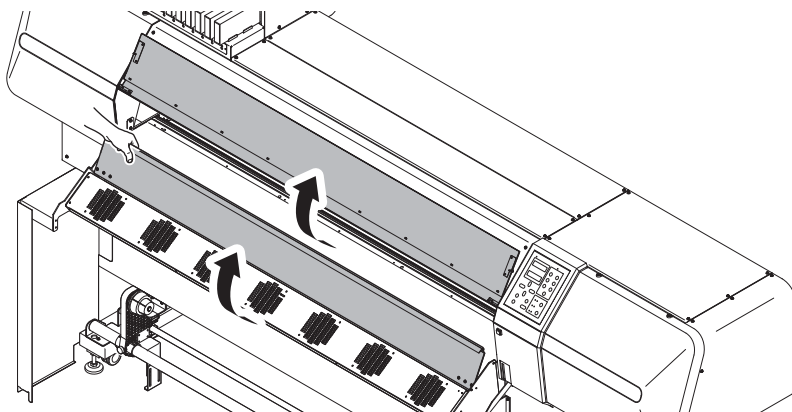
本装置では、ロールメディアとリーフメディアが使用できます。メディアは、弊社推奨のメディアをお使いください。**(使用可能メディア (1-16 ページ) 参照)**

重 要!

- **透明なメディアをセットすると、ディスプレイに [ERROR 50 メディアケンシュツ] のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。**
- **メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。**
- **作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。**
- **カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。**
- **メディアをセットしたまま放置すると、アフターヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態で作図すると、ヘッドがメディアをこする原因になります。**
  メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分に作図しないよう【▼】キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

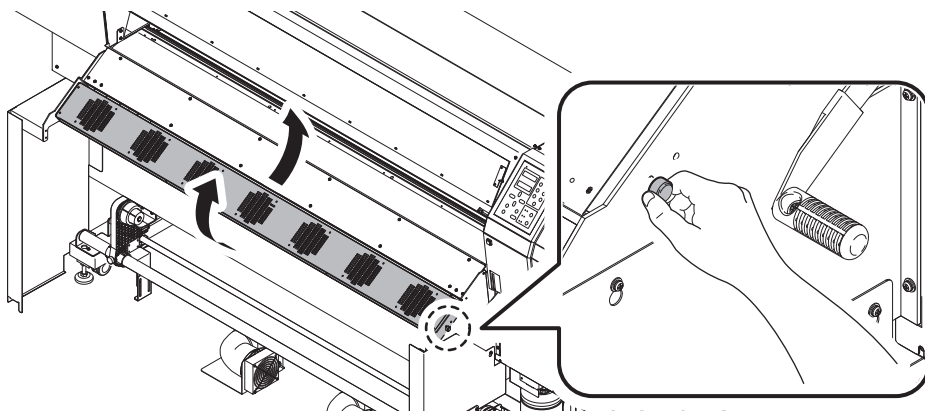
乾燥ファンの角度を変える

乾燥ファンの角度は、メディアの乾燥状態によって 2 段階に調整できます。
必要に応じて調整してください。

（重 要！） **■メディアをセットする際は、本体とフロント排気ユニットのカバーを、両方とも開けた状態でセットしてください。**

操作手順

1 **乾燥ファン両端の、上側のツマミネジを緩めます。**

2 **変更したい角度に合わせます。**

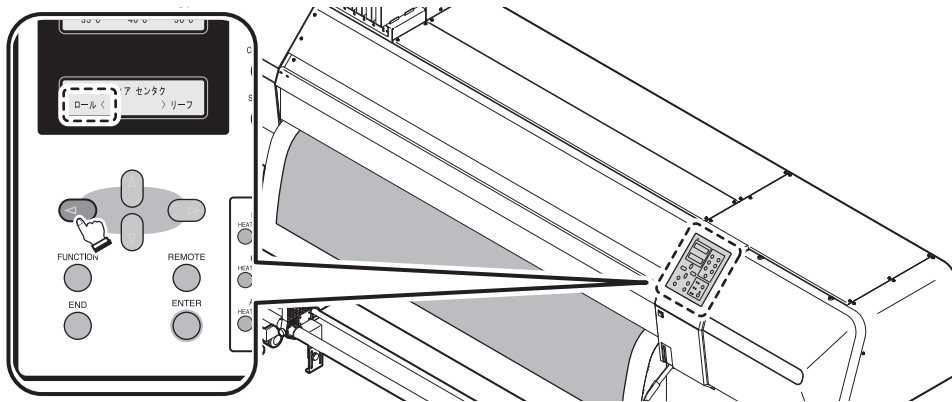
3 **ツマミネジを、しっかり締めます。**

ロールメディアのセット

本装置に、ロールメディアを取り付けます。

取付け手順

1 **別冊「AMF ユニットをお使いになるとき」を参照し、メディアをセットします。**

2 **【◂】キーを押し、[ロール] を選択します。**

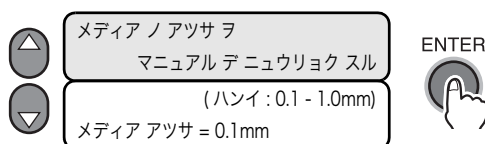
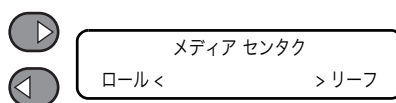
メディア検出後、ローカルモードに戻ります。**(ローカルモード (2-20 ページ) 参照)**

メディア厚さ検出に失敗した場合

お使いのメディアによっては、厚さが正しく検出できない場合があります。
その際は、マニュアルでメディアの厚さを入力する必要があります。

操作手順

1 **エラーが表示され、キャリッジがステーションに戻ります。**

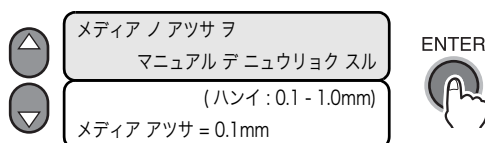
＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊
メディア アツサ ケンシュツ

2 **【▲】【▼】キーでメディアの厚さを入力し、【ENTER】キーを押します。**
初期値 0.1 mm、入力範囲 0.1 mm ～ 1.0 mm まで

3 **再度【◀】キーを押し、ロールを選択します。（再度【▶】キーを押し、リーフを選択します。）**
キャリッジが動いて、メディア幅を検出します。
手順 2 で【END】キーを押した場合は、厚さ検出も行われます。

[マシンセッテイ] 機能の [メディア ケンシュツセッテイ] を MANUAL にしていた場合

メディアの厚さ検出を常にマニュアルで入力します。
同じメディアを使用しても検出する厚みが異なる場合 “MANUAL” に設定しておくと便利です。

操作手順

1 **【ロール】を選択します。**

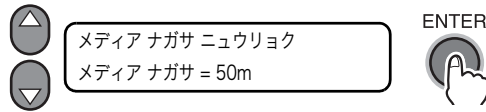
2 **【▲】【▼】キーでメディアの厚さを入力し、【ENTER】キーを押します。**
初期値：0.1mm　入力範囲：0.1 ～ 1.0mm まで

3 **キャリッジが動いて、メディア幅を検出します。**

[メンテナンス] 機能の [メディア ザンリョウ] を ON にしていた場合

操作手順

1 検出が完了し、キャリッジがステーションに戻ります。

2 【▲】【▼】キーでメディアの長さを入力し、【ENTER】キーを押します。

メディア ナガサ ニュウリョク
メディア ナガサ = 50m

3 前回設定した値を変更しない場合は、[END] キーを押します。

初期値 50 m、入力範囲 1 m ～ 500 m まで (1 m 単位)

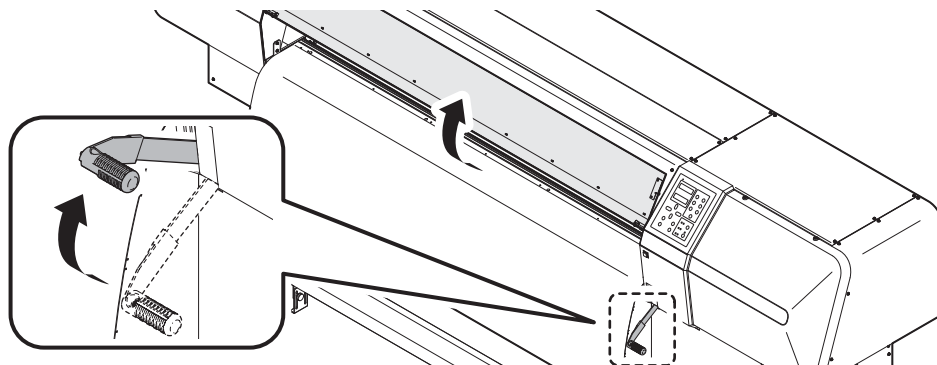
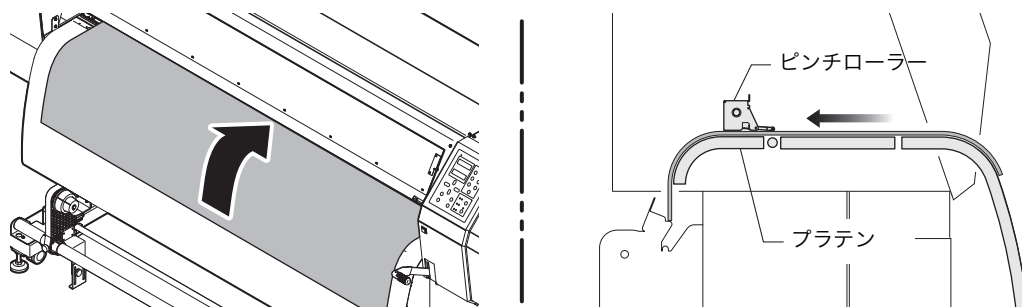
4 ローカルモードに戻ります。

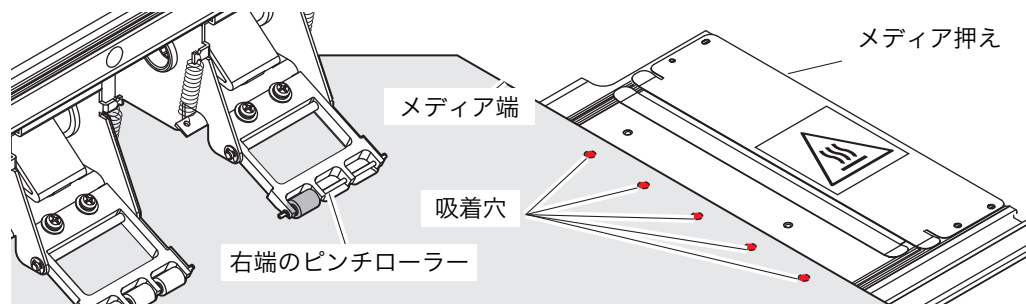
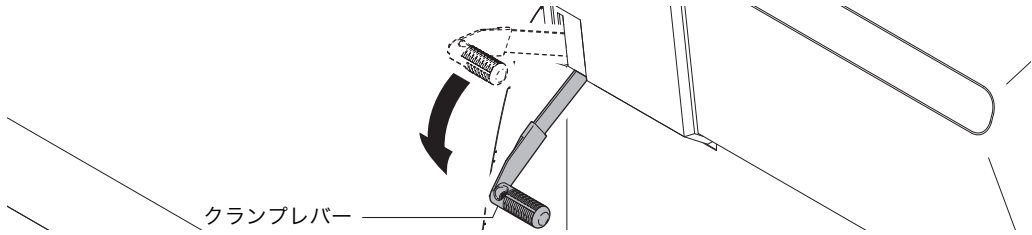
リーフメディアのセット

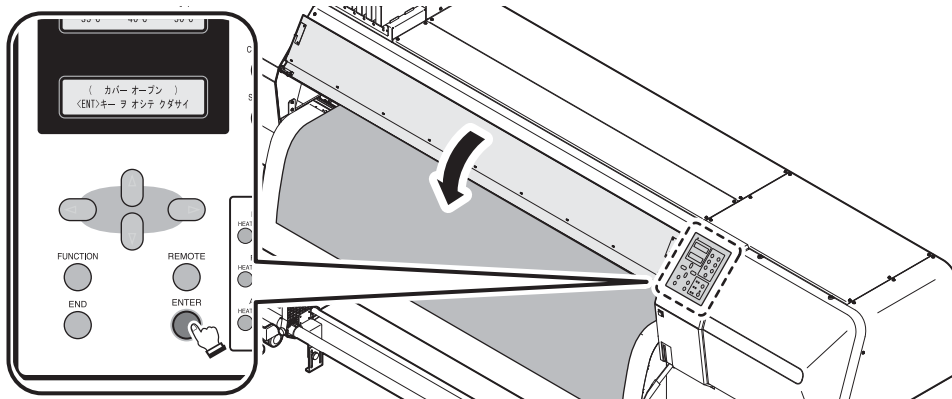
リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

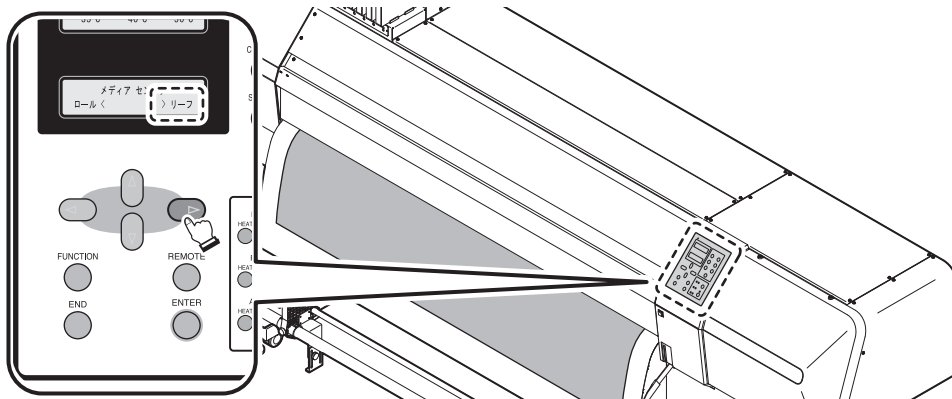
重 要! ■**リーフメディアが曲がらないように注意してセットしてください。**

操作手順

1 **フロントカバーを開け、クランプレバーを上げます。**

2 **リーフメディアを、ピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。**

3 **メディア押さえでメディアを軽く挟みます。**

重 要! ■**メディアの右端が、プラテン右端の吸着穴を隠すようにセットし、ロールホルダーの位置を調整してください。**

4 クランプレバーを下げます。

5 フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

初期動作を行い、メディア選択の画面を表示します。

6【▸】キーを押し、[リーフ] を選択します。

メディア検出後、ローカルモードに戻ります。**(ローカルモード (2-20 ページ) 参照)**

作図条件の選択と確認

すでにタイプ 1 から 4 の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

ユーザータイプを選択する

操作手順 (【FUNCTION】キーによる設定)

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▲】【▼】キーで、タイプ 1 から 4 を選び、【ENTER】キーを押します。

操作手順 (【USER TYPE】キーによる設定)

1 ローカルモードになっていることを確認し、【USER TYPE】キーを押します。

【USER TYPE】キーを押す毎に、2 → 3 → 4 → 2... と変更できます。上下キーでも変更可能です。
【ENTER】キーで、ローカルモードに戻ります。

■タイプの後の ( ) 内は、現タイプを表します。

ユーザータイプを確認する

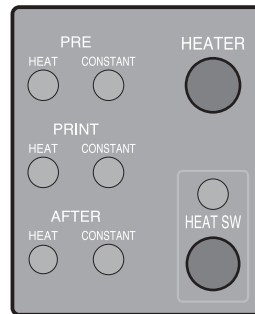
現在、作図に使用しているユーザータイプは、ローカルモード時やリモートモード時に画面に表示される、[L.1] , [R.1] としてご確認いただけます。

[ローカルモード時]　[リモートモード時]

ヒーターを設定する

出荷時、ヒーターはすべて OFF に設定されています。
必要に応じて、ON にして温度設定をしてください。

ヒーターの電源を ON にする

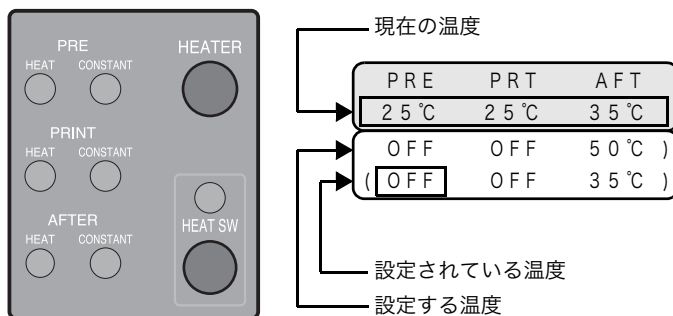
操作パネルの【HEAT SW】キーを押し、ヒーターの電源を ON にします。
ヒーターの加熱中は、HEAT ランプが点灯します。(オレンジ色)
ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが緑色に点灯します。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

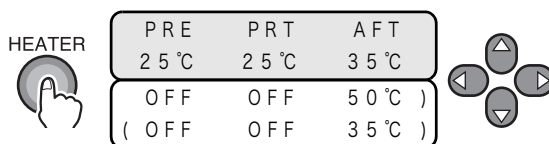
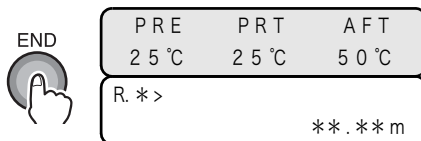
設定温度の確認と作図中の温度設定

ここでは、あらかじめ FUNCTION モードで設定しておいた温度 **(ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定する (6-35 ページ) 参照)** を調整する方法について説明します。

操作手順

1 ヒーターのスイッチがオンになっていることを確認します。

ヒーターの加熱中は、HEAT ランプが点灯します。
ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが点灯します。

2【HEATER】キーを押します。

【◀】【▶】キーで、Pre / Print / After の各ヒーターを選択し、【▲】【▼】キーで、温度を設定します。
設定範囲は、OFF または、20 ～ 60 ℃の間です。(AFT は、20 ～ 70 ℃の間)
再度【HEATER】キーを押すと、元の表示に戻り、30 秒間何もキーを押さない場合、ローカルモードまたはリモートモードになります。

3【END】キーを押し、ローカルモードに戻ります。

ヒーターの温度が設定温度に到達していない場合は、以下の表示になります。
ヒーターが設定した温度に達すると、ブザーが鳴りプリヒーター / プリントヒーター / アフターヒーターの各 CONSTANT ランプが点灯し、リモートモードに変わります。

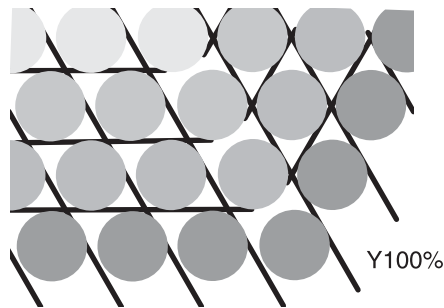
```
PRE    PRT    AFT
25℃    25℃    50℃
オンド セイギョ チュウ
シバラク オマチクダサイ
```

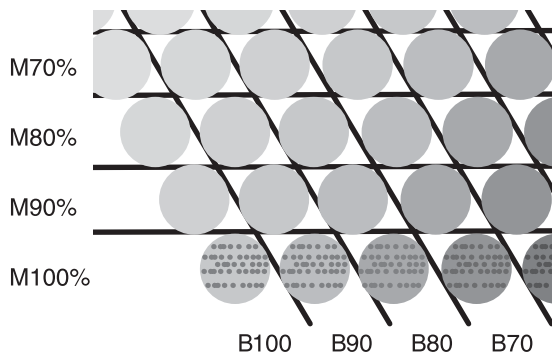
■設定した温度に到達する前に作図を開始する場合は、【ENTER】キーを押してください。リモートモードに変わります。

ビーディングとは

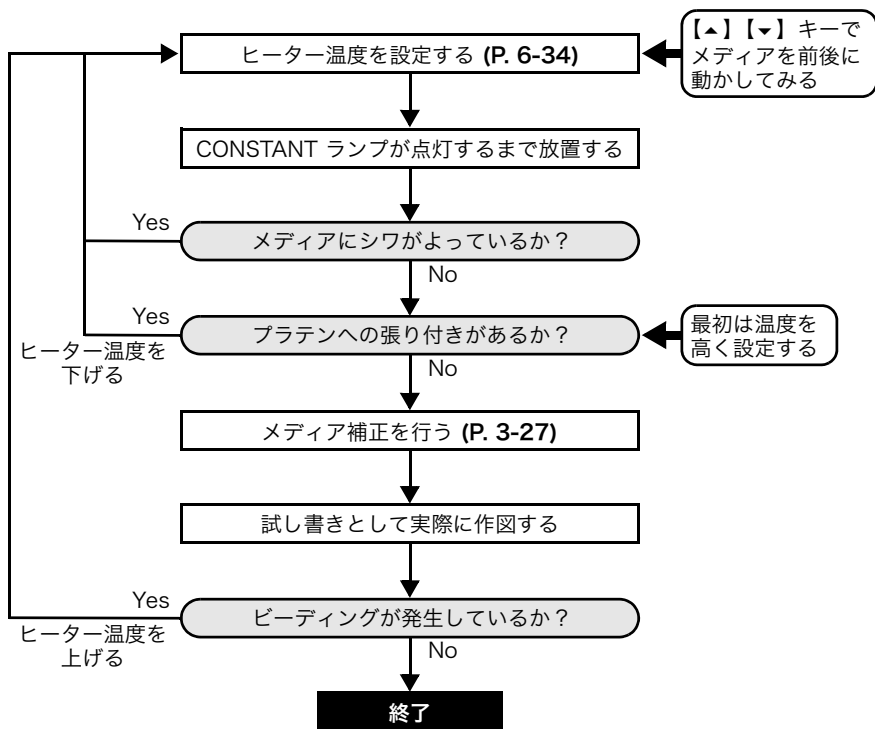
ビーディングとは、隣り合ったドットが引き合ってくっつくことです。ビーディングが発生するとブツブツ状のムラになったり、パスの間隔で帯状の横ムラ (バンディング) になったりします。

ビーディングの例

単色のマゼンタ 100 パーセント付近は、綺麗にプリントされています。単色の 70 ～ 100 パーセント付近はメディア送りムラの影響を非常に受けやすい部分です。この部分にムラが無いことから、メディアの送り補正は適正に調整されていることがわかります。

綺麗にプリントされた状態

ところが、M100% + B100% のブルー部分にはブツブツのムラと、バンディングが発生しています。これがビーディングによるバンディングです。ヒーターの温度が低かったり、メディアのインク受容量 (インクリミット) が低いと、先に着弾したインク粒が定着する前に、次のインク粒が着弾し、ドットがくっついたり分布が均一でなくなり、ムラやバンディングが発生します。
ビーディングを防ぐには、ヒーターの温度を上げてメディアのインク受容量 (インクリミット) を上げたり、インク量をメディアに合わせて調整したり、パス数を増やして少しずつインクを打ち込む、スキャンウェイトで時間をかせぐなどの対策をとる必要があります。
上記対策を行ってもビーディングが解消されない場合はメディアを変更してください。

バンディングが発生した状態

適温調整

ヒーター温度を調整する際の適温設定について説明します。
ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。
以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。

ヒーターに異常がある場合

ヒーターの電源スイッチがオフの場合、またはヒーターに異常が発生した場合は、下記の表示になります。

重 要！ ■**エラーの対処方法は「第 5 章 困ったときは」の、「ワーニングエラー」をご覧ください。(ワーニングエラー (5-15 ページ) 参照)**

ヒーター ノ デンゲン ガ
ハイッテ イマセン

ドットズレ補正用の基準値の設定 [PG チャクダンチョウセイ]

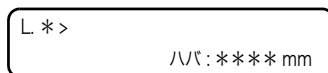
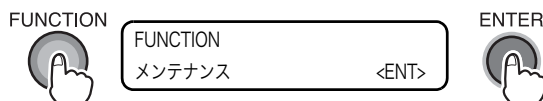
作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
ヘッドギャップを変更した場合、ドット位置を自動的に調整するための基準値を設定します。
8 種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を調整します。

重 要！

- **ロールメディアをご使用の場合、[PG チャクダンチョウセイ] を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。**
  作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。たわみは画質不良の原因になります。
- **[PG チャクダンチョウセイ] を行っても、微妙なドットのズレが生じる場合があります。**
  この場合、[メンテナンス] の [ドットイチホセイ] を行ってください。
  補正方法は、[PG チャクダンチョウセイ] と同じですが、テストパターンは [パターン 1] から [パターン 4] までの 4 パターンです。(3-29 参照)
- **[PG チャクダンチョウセイ] を行うと、選択しているユーザータイプの [ドットイチホセイ] の補正値はクリアーされます。**

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで、[メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[PG チャクダンチョウセイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4 **[サクズカイシ] を表示しますので、【ENTER】キーを押します。**

調整用のテストパターン作図を開始します。テストパターンは 8 種類作図します。
作図した 8 パターンは、作図した順にパターン 1 から パターン 8 と呼びます。

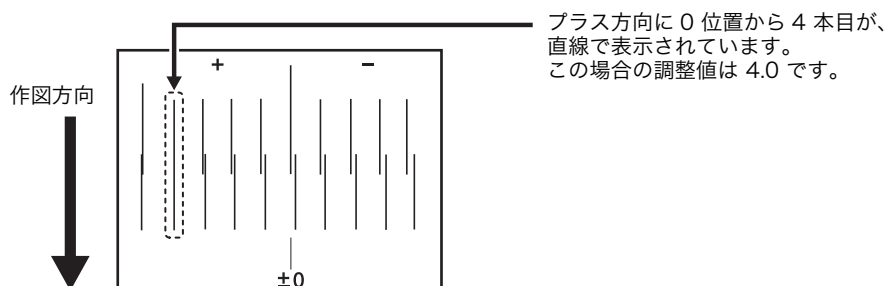
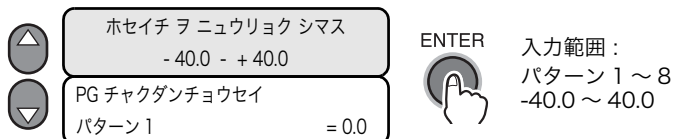
PG チャクダンチョウセイ
サクズカイシ :ent

サクズ チュウ
シバラク オマチクダサイ

5 **【▲】【▼】キーで、パターン 1 のドット位置を補正します。**

パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。

入力範囲 :
パターン 1 ～ 8
-40.0 ～ 40.0

プラス方向に 0 位置から 4 本目が、
直線で表示されています。
この場合の調整値は 4.0 です。

6 **【ENTER】キーを押します。**

7 **手順 5 , 6 の操作を引き続き 7 回実行し、パターン 8 までの PG 着弾調整をします。**

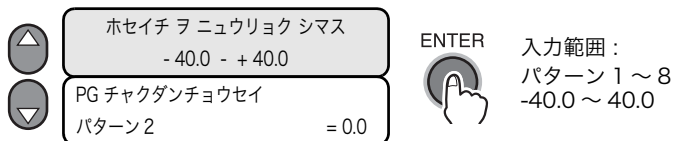
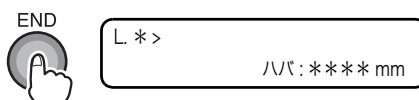
各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン 8 まで調整値を入力し、PG 着弾調整を終了します。

ホセイチ ヲ ニュウリョク シマス
- 40.0 - + 40.0
PG チャクダンチョウセイ
パターン 2 = 0.0

入力範囲 :
パターン 1 ～ 8
-40.0 ～ 40.0

8 **【END】キーを数回押します。**

ローカルモードに戻ります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

ノズル詰まりを確認 / 解消する

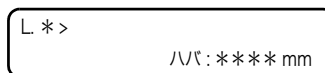
テストパターンを作図して、ノズル詰まりなどの作図不良がないか確認します。異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

重 要!
- **テストパターンをリーフメディアに作図する場合､幅 350mm x 長さ (送り方向) 600mm 以上のサイズのメディアを使用してください。**
- **ロールメディアをご使用の場合、テスト作図終了後、【REMOTE】キーまたは【FUNCTION】キーを押すと、メディアが作図原点位置まで戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。**
  作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

テストパターンを作図する (テスト作図)

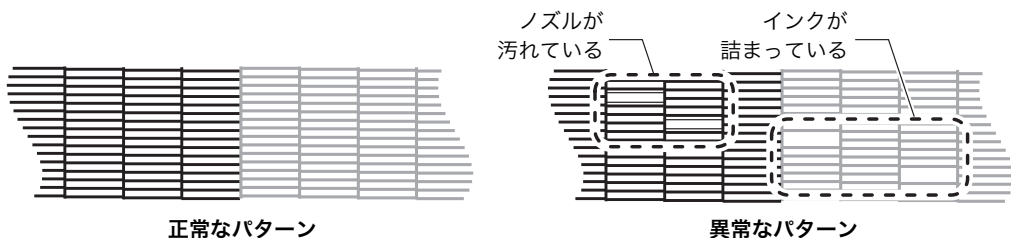
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

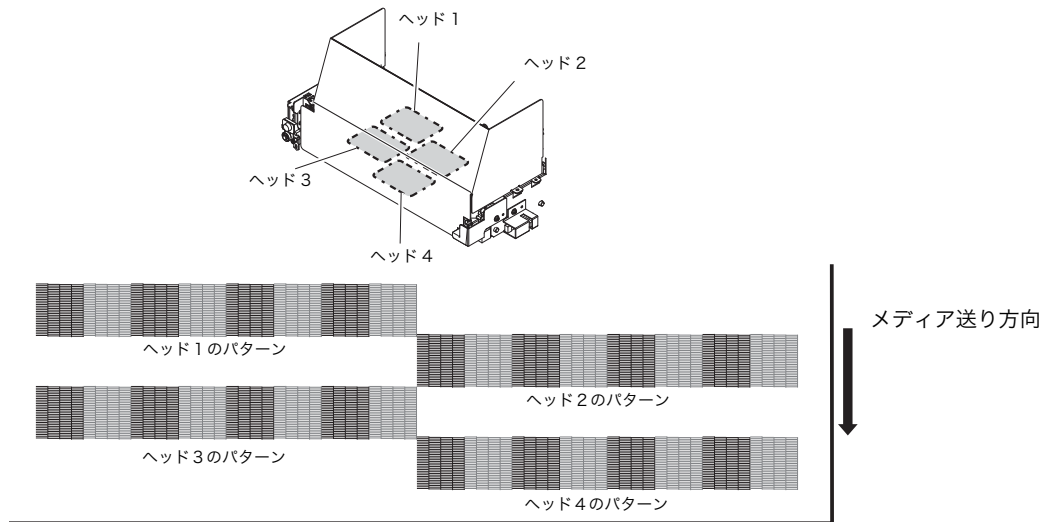
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【TEST DRAW】キーを押し、【ENTER】キーを押します。

テスト作図を開始します。
作図終了後、ローカルモードに戻ります。

3 作図結果を確認します。

異常がある場合は、『異常なパターンの場合は』を参照してください。**(3-23 参照)**
正常な場合は、操作を終了します。

正常なパターン　　**異常なパターン**

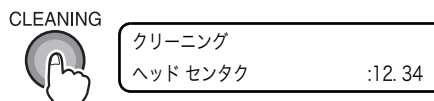
ヘッドの配列とテストパターンの関係

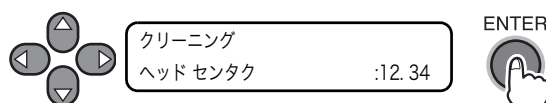
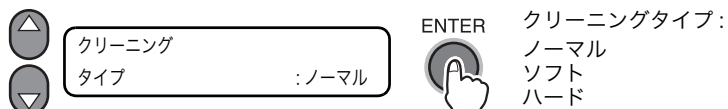
ヘッドの配列と作図したテストパターンの作図位置は、下記の通りです。

異常なパターンの場合は (クリーニング)

操作手順

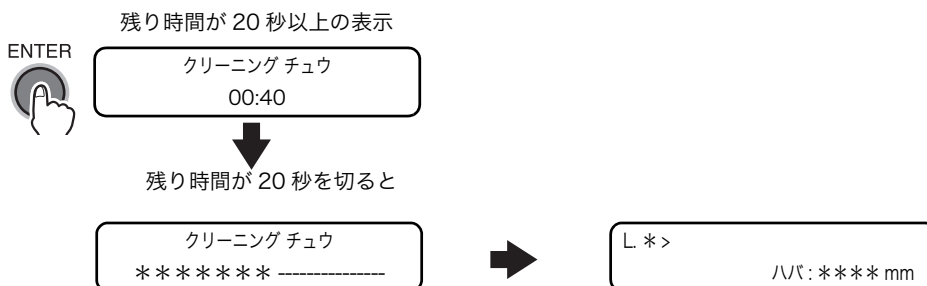
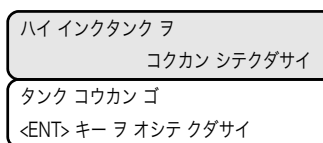
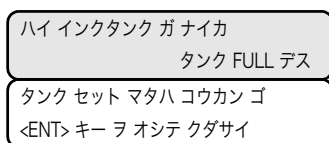
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【CLEANING】キーを押します。

3 【▲】【▼】または【◀】【▶】キーで、クリーニングするヘッドを選択し、【ENTER】キーを押します。

[ヘッド 1, 2] と、[ヘッド 3, 4] のセットで選択します。

4【▲】【▼】キーで、クリーニング方法を選択します。

ノーマル	線の抜けがある場合に使用します
ソフト	線の曲がりがある場合に使用します
ハード	ノーマル、ソフトのクリーニングを実行しても作図不良が直らない場合に使用します

5【ENTER】キーを押します。

クリーニング動作を開始します。
動作の進行状況を下段 LCD の 2 行目に＊表示で知らせます。
クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。

■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

6 再度テストパターンを作図し、作図結果を確認します。(3-22 参照)

作図結果が正常になるまで、手順 1 〜 5 を繰り返してください。

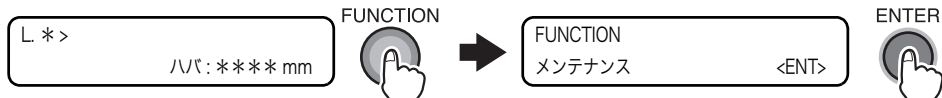
重 要!　**■クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパーとインクキャップを清掃してください。(ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)**

ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン]

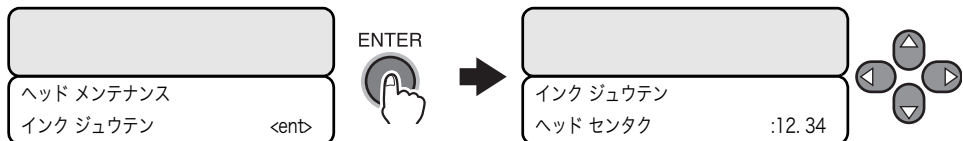
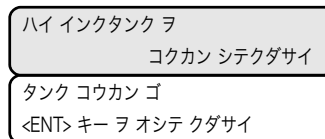
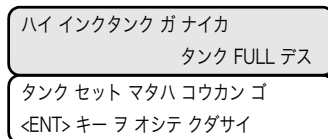
ヘッドクリーニング **(3-23 参照)** 、ノズルセンジョウ **(ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ] (4-10 ページ) 参照)** を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、[インク ジュウテン] 機能を実行します。

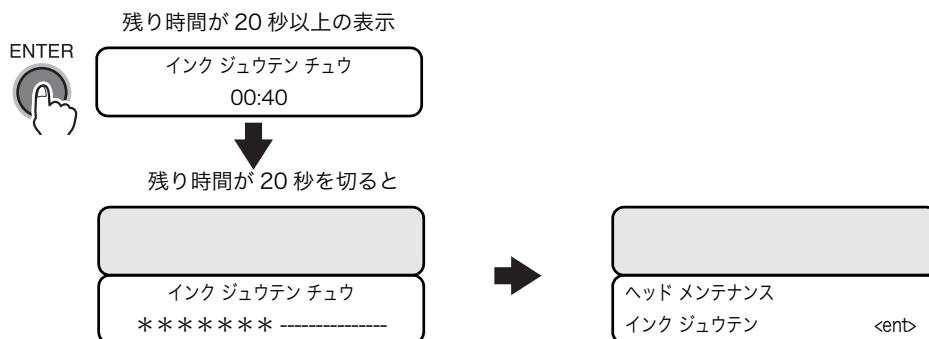
操作手順

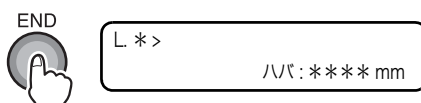
1 **ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。**

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 **【▼】キーで、[ヘッド メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。**

3 **【ENTER】キーを押し、【▲】【▼】【◀】【▶】キーで、洗浄するヘッドを選択後、【ENTER】キーを押します。**

[ヘッド 1, 2] と、[ヘッド 3, 4] のセットで選択します。

■**廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。**

4【ENTER】キーを押します。

自動的にインク充填を開始します。インク充填を終了すると、以下の表示に戻ります。

5【END】キーを数回押します。

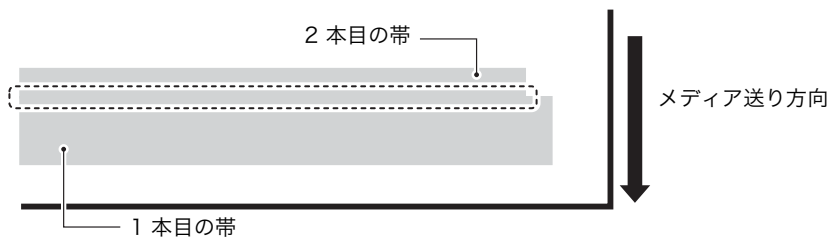
ローカルモードに戻ります。

メディア送り量の補正 [メディアホセイ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、巻取装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。

重 要!
- **ヒーターの温度を変更した場合は、CONSTANT ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。**
- **ロールメディアをご使用の場合、[メディアホセイ] を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。**
  作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。たわみは画質不良の原因になります。
- **巻取装置を使用しての作図の場合、あらかじめメディアをセットした状態で [メディアホセイ] を行ってください。**

目次
1
2
3
4
5
6
索引

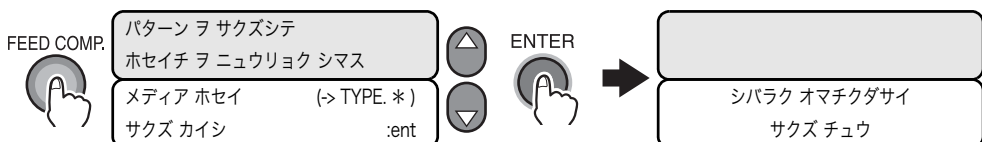
補正パターン

2 本の帯を作図します。
2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。(設定値 : -255 ～ 255)

操作手順

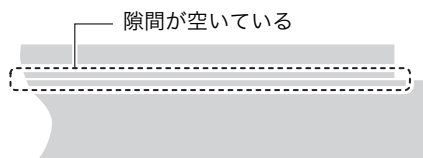
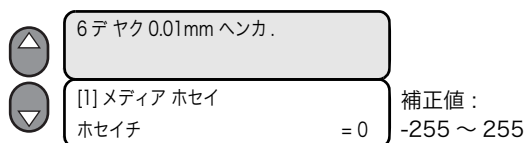
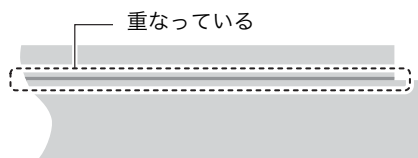
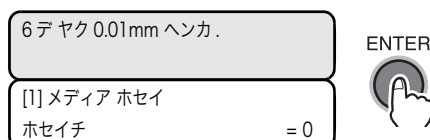
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

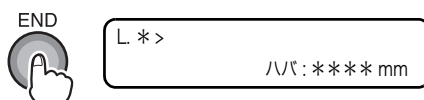
2 【FEED COMP.】キーを押し、【▲】【▼】キーでタイプを選び、【ENTER】キーを押します。

パターンの作図を実行します。

3 作図パターンの状態により、補正値を入力します。

【▲】【▼】キーで、補正値を入力します。

■補正値を 6 変更するごとに、帯が約 0.01mm 移動します。この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

4【ENTER】キーを押し、補正値を登録します。

正常なパターンを作図するまで手順 2 ～ 4 を繰り返します。

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ]

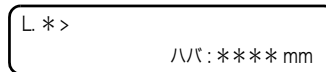
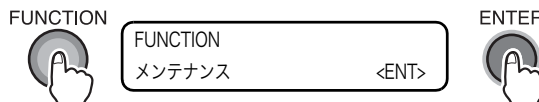
[PG チャクダンチョウセイ] を行っても、微妙なドットのズレが生じる場合があります。その場合、[ドットイチホセイ] を実行して、ドットの位置を補正してください。
[ドットイチホセイ] では、作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
ヘッドギャップを変更した場合、ドット位置は自動的に調整されますが、微妙にズレが生じる場合があります。適正な作図結果を得るため、ドット位置をマニュアルで調整することが可能です。
4 種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を補正します。
補正値は選択しているユーザータイプごとに保存します。

重 要!

- **ロールメディアをご使用の場合、[ドットイチホセイ] を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。**
  作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- **ヘッドギャップを変更した場合は、再度 [ドットイチホセイ] を行ってください。**
- **[PG チャクダンチョウセイ] を行い調整値を変更した場合、選択しているユーザータイプの補正値はクリアーされます。**

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで、[メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[ドットイチホセイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

目次
2

4 [サクズカイシ] を表示しますので、【ENTER】キーを押します。

ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。テストパターンは 4 種類作図します。
作図した 4 パターンは、作図した順にパターン 1 から パターン 4 と呼びます。

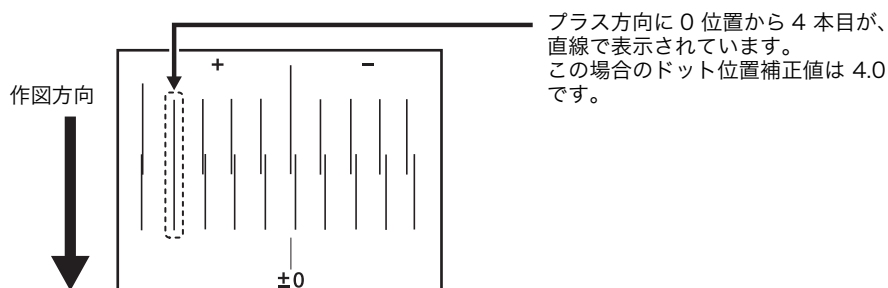
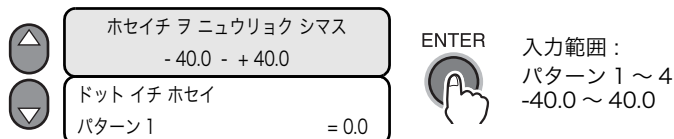
ドット イチ ホセイ
サクズカイシ :ent

サクズ チュウ
シバラク オマチクダサイ

5【▲】【▼】キーで、パターン 1 のドット位置を補正します。

パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。

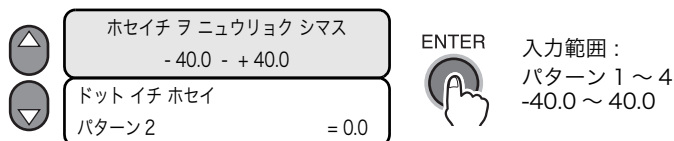
入力範囲 :
パターン 1 〜 4
-40.0 〜 40.0

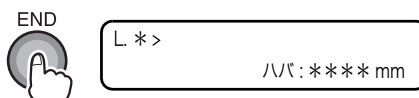
プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

重 要! ■**直線のパターンの補正値が、-40 から +40 の中にない場合は、ヘッドの高さを調整してから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。**

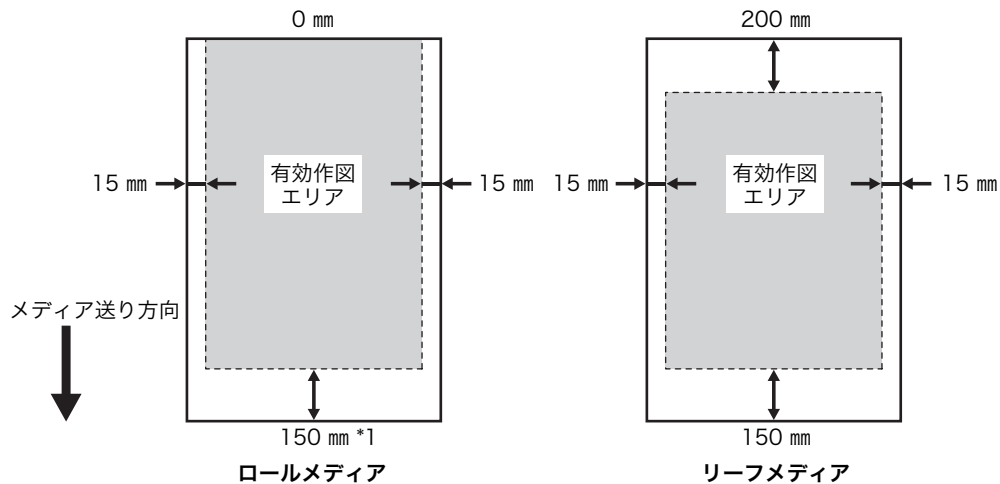
6【ENTER】キーを押します。

7 手順 5 , 6 の操作を引き続き 3 回実行し、パターン 4 までのドット位置補正をします。

各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン 4 までドット位置補正値を入力し、ドット位置補正を終了します。

入力範囲 :
パターン 1 〜 4
-40.0 〜 40.0

8【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

作図範囲について

本装置は、使用するメディアに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。
この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。

■メディア左右のデッドスペースの初期値は、左右それぞれ 15mm です。このデッドスペースを変更し、有効作図エリアを変更することができます。デッドスペースは、ファンクションモードの「マージン」で設定します。

*1 フィード方式で [ダイレクト] を選択している場合は、最大で 127 mm 加算されます。

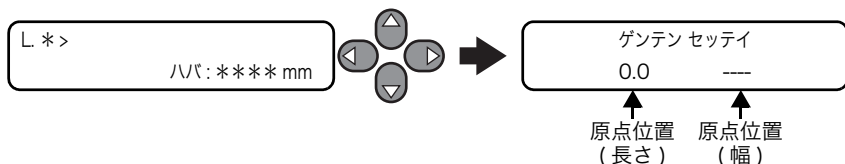
マージン

メディア左右の余白を調整します。
標準設定の 15 mm 以外の余白が必要な場合に設定します。
デッドスペースは、メディアの左右それぞれに設定可能です。(-10 ～ 85 mm)

作図原点を設定する

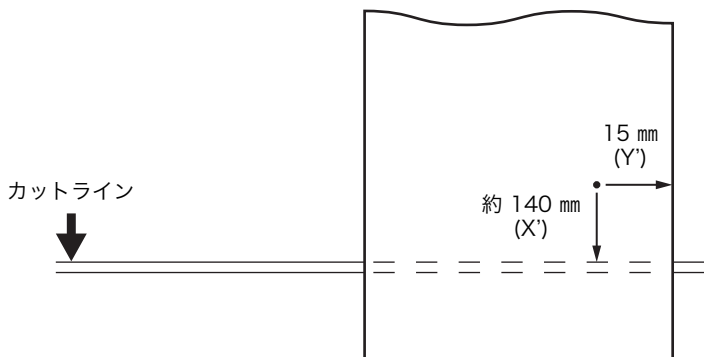
セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。
指定された原点以外の場所で作図する場合は、原点を再設定します。

操作手順

1 メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。

2 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

有効作図エリアを表示後、ローカルモードになります。(ロールメディアを使用の場合、X は表示しません。)
次回の作図から、この設定位置を作図原点とします。

原点設定位置の目安

作図原点は、奥行方向 (X’) はカットラインから奥側約 140 mm の位置になります。
横方向 (Y’) の値は、メディア右端より 15 mm です。ファンクションモードの「マージン」の設定により変更できます。

画像データを作図する

作図を開始する

コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、および作図中の表示について説明します。
なお、各種機能の設定については、「第６章　各機能の操作方法」をご覧ください。

重 要！ **■ロールメディアをご使用の際は、本装置背面のロールメディアにたわみがないか確認してから作図を行ってください。**
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

■作図に関して、弊社サービスコールをご利用の際は、以下の内容表示をご連絡ください。
■ロールメディアをご使用の場合、ロールホルダー側の紙管からメディアが外れた後は、作図しないでください。テンションが変わり画質に影響が出ます。

作図を開始すると、ディスプレイは下記の情報を表示します。

＊ 通常表示と交互表示することで、受信中を表します

操作手順

1 ヒーターの温度を確認します。
ヒーターパネルの CONSTANT ランプが点灯していることを確認します。**(3-16 参照)**

2【REMOTE】キーを押します。
リモートモードに変わります。
現在選択しているタイプ (作図条件) を確認できます。**(作図条件をまとめて登録する (タイプ登録) (6-3 ページ) 参照)**

3 コンピュータからデータを送信します。
データの作図条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

R. ＊+>	720x1080	.12
Bd. Vd. x1. 1L:		＊＊.＊＊m

4 作図を開始します。
作図した部分の長さを表示します。

作図を中止する

作図を中止する場合、作図動作を止めて受信したデータを本装置から消去します。
データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータからプリントを開始してしまいます。

操作手順

1【REMOTE】キーを押して、作図を中止します。
ローカルモードに戻ります。
コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。

2【DATA CLEAR】キーを押します。
受信したデータを消去します。

作図終了後のメディアカット

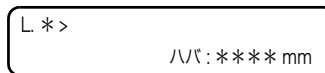
作図終了後に、[オートカット] 機能を使用せず、任意の位置でのメディアカットを実行します。

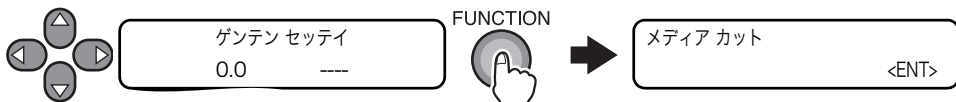
重 要！
■作図を終了しても本装置の主電源スイッチをオフにしないでください。ノズル詰まりの原因になります。
■現在のヘッド高さが 4.1 mm 以上の場合、メディアカットを行うことができません。(昇華転写インク以外のインクをご使用の場合)
ヘッド高さは、[ヘッドギャップ] + [メディアの厚み] です。(3-5 参照)

■[オートカット] 機能をオンにすると、データ毎に自動的にカットします。(オートカット (6-9 ページ) 参照)

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

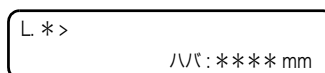
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 ジョグキーを押して以下の画面が表示されたら、【FUNCTION】キーを押します。

ジョグキーでカットする位置を決めます。
ジョグキーは、いずれのキーも使用可能です。

3 【ENTER】キーを押します。

メディアをカットします。

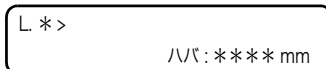
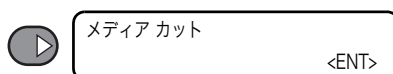
4 ローカルモードに戻ります。

作図前の状態に戻ります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

[マシンセッテイ] 機能の [カットセッテイ] で [▸] キーをダイレクトカットキーに割り当てた場合

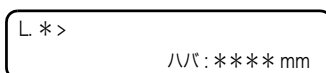
操作手順

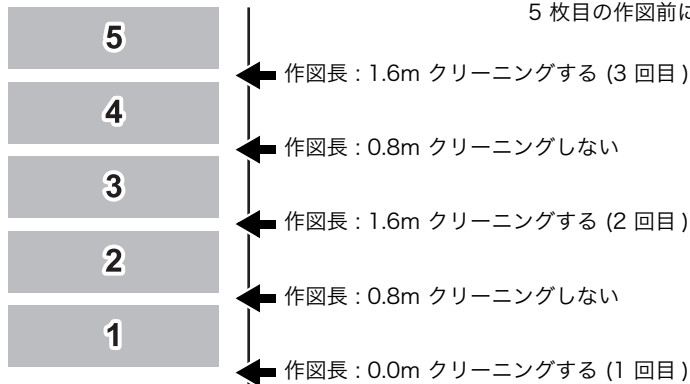
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【 ▸ 】キーを押します。

3 【ENTER】キーを押します。

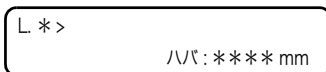
作図した画像がカットラインを超えるまで自動でメディアを送り、カットします。

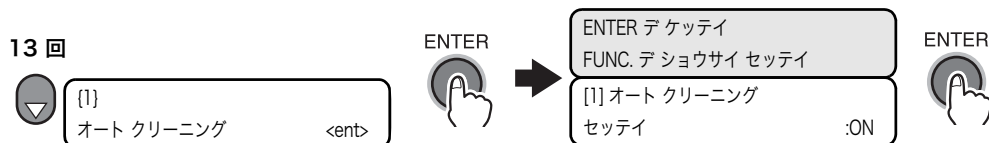
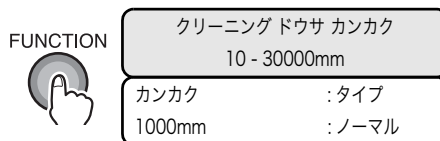
4 ローカルモードに戻ります。

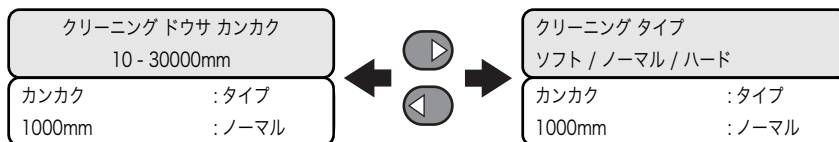
作図前の状態に戻ります。

オートクリーニング

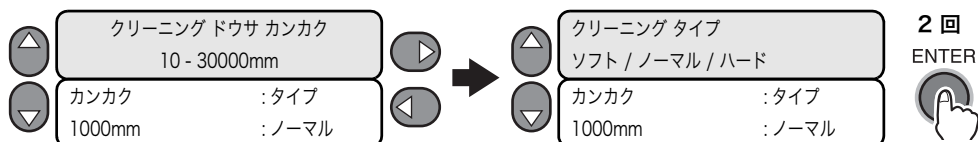
作図中、自動的にヘッドをクリーニングするかどうかを設定できます。
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した作図結果が持続します。
クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で行います。

動作間隔が 1000 ㎜ の場合の例

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。【▲】【▼】キーでタイプ 1 〜 4 を選び、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[オート クリーニング] を選択し、【ENTER】キーを押します。
[オート クリーニング] OFF の場合は、【▲】【▼】キーで ON を選択し【ENTER】キーで確定します。

4【FUNCTION】キーを押します。

5 ここで【◀】【▶】キーを押すと、[クリーニング ドウサ カンカク] と [クリーニング タイプ] を選択できます。

6【▲】【▼】キーで、[クリーニング ドウサ カンカク] を設定します。【◀】【▶】キーで画面を切り替え、【▲】【▼】キーで、[クリーニング タイプ] を設定後、【ENTER】キーを押します。

[クリーニング ドウサ カンカク] の初期値は、1000 mm です。
[クリーニング タイプ] : ソフト、ノーマル、ハード

7【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

サクズチュウ　メンテナンス（昇華転写インクをご使用の場合)

作図中のオートクリーニングまたはオートワイピングを設定します。

作図中にヘッドのクリーニングまたはワイピングを自動的に実行し、作図不良を未然に防ぎます。

クリーニング: 作図中、自動的にヘッドのクリーニングを行います。
ワイピング　: 作図中、自動的にヘッドのワイピングを行います。
OFF　　　　: 作図中にヘッドのクリーニングまたはワイピングは行いません。

“ クリーニング ” に設定すると、クリーニング方法と、自動的にクリーニングを行うまでの間隔を設定できます。

クリーニング方法　: ソフト・ノーマル・キョウリョク
実行間隔　　　　　: 0.1m 〜 100.0m（0.1m 単位で設定）

“ ワイピング ” に設定すると、自動的にワイピングを行うまでの間隔を設定できます。

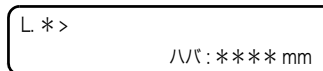
実行間隔　　　　　: 10 〜 9990（10 スキャン単位で設定）

■インクニアエンドが発生している場合は、クリーニング機能は動作しません。

■ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。

“ クリーニング ” に設定する場合

操作手順

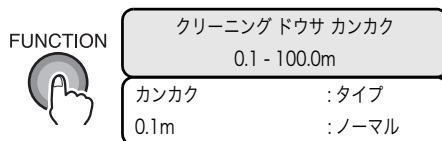
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L. ＊>
ハバ : ＊＊＊＊ mm

2【FUNCTION】キーで、[セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーで確定します。

3【▼】キーで、[サクズチュウメンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

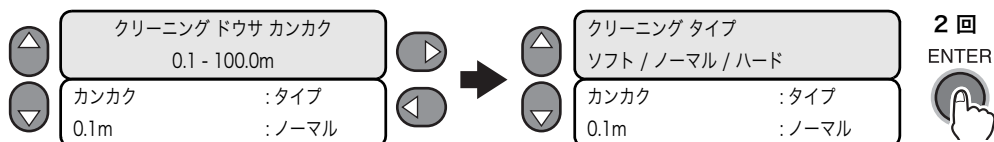
【▲】【▼】キーでクリーニング を選択します。
クリーニング方法と間隔を変更しない場合は、【ENTER】キーを押します。

4【FUNCTION】キーを押します。

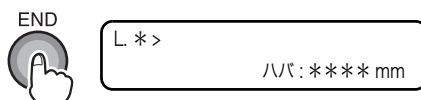
FUNCTION

クリーニング ドウサ カンカク
0.1 - 100.0m
カンカク :タイプ
0.1m :ノーマル

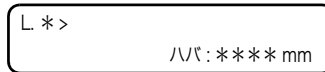
5 ここで【◀】【▶】キーを押すと、[クリーニング ドウサ カンカク] と [クリーニング タイプ] を選択できます。

6【▲】【▼】キーで、[クリーニング ドウサ カンカク] を設定します。【◀】【▶】キーで画面を切り替え、【▲】【▼】キーで、[クリーニング タイプ] を設定後、【ENTER】キーを押します。

[クリーニング ドウサ カンカク] の初期値は、1.0m です。
[クリーニング タイプ] : ソフト、ノーマル、ハード

7【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

“ ワイピング ” に設定する場合

操作手順

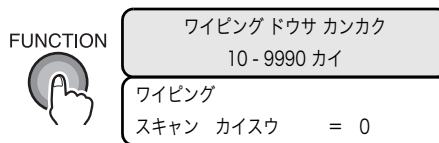
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

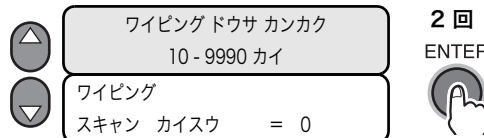
2【FUNCTION】キーで、[セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

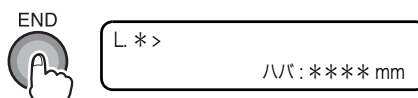
以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーで確定します。

3【▼】キーで、[サクズチュウメンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

【▲】【▼】キーでワイピング を選択します。
間隔を変更しない場合は、【ENTER】キーを押します。

4【FUNCTION】キーを押します。

5【▲】【▼】キーで、[ワイピング ドウサ カンカク] を設定後、【ENTER】キーを押します。

［ワイピング ドウサ カンカク］の初期値は 50 回です。

6【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

[ニアエンド] , [インクエンド] の表示

2 本セットのインクカートリッジの一方がエンド、もう一方がエンド間近の場合、メッセージを表示します。
なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重 要!
■カートリッジ LED の赤 LED が点滅、または [ニアエンド] を表示したら、早めにインクを交換してください。
交換するカートリッジが無い時は、絶対にカートリッジを抜かないでください。抜いたままにすると、インク供給路が乾燥し、装置が故障します。抜かれた状態が 10 分継続すると、装置はワーニングブザーでお知らせします。
また、連続作図をする場合は、インク残量を確認後、作図を開始してください。
作図中にインクが無くなると、作図を停止します。作図を再開すると、色が変わってしまう場合があります。原因は、作図を停止することにより、作図再開前後の部分の乾燥時間が異なるためです。

カートリッジ毎の残量表示

リモートモードおよびローカルモード時に【ENTER】キーを押すと、インク残量を表示します。インク関連のエラーが発生している場合、【INFORMATION】キーを押すことで、現在カートリッジに発生している詳細なワーニングを表示します。**(機能フローチャート [ローカルモード] (6-44 ページ) 参照)**

```
フラッシングBOX          12.3%
INFO キーデ  エラー  ショウサイ
```

```
Sb51 インク          MBYKKYBM
ザンリョウ           23456789
```

ニアエンド : インク残量が少なくなった場合

インク残量が少ない色を表示します。
以下の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

```
インク シュウリョウ マヂカ デス
コウカン シテクダサイ
```

```
インク ニア エンド
---- --KK ---- ----
```

インクエンド : インク残量が全く無くなった場合

インクが無くなった色を表示します。
以下の表示は、マゼンタインクが無くなったことを示しています。

```
インク ガ シュウリョウ シマシタ
コウカン シテクダサイ
```

```
インク エンド
MM-- ---- ---- ----
```

交換手順

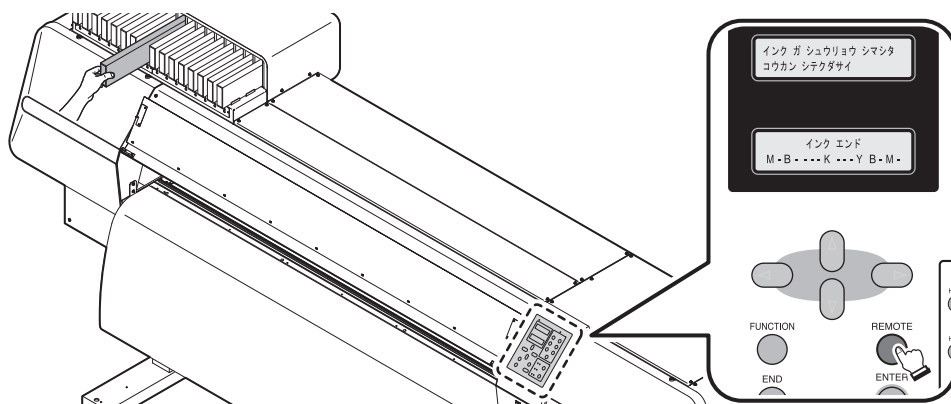
重要! ■**カートリッジ LED (赤) が点灯 / 点滅しているカートリッジは、速やかに交換してください。**
交換するカートリッジが無い時は、絶対にカートリッジを抜かないでください。抜いたままにすると、インク供給路が乾燥し、装置が故障します。抜かれた状態が 10 分継続すると、装置はワーニングブザーでお知らせします。
以下の交換手順は、両カートリッジにエラーが発生した場合に表示されます。

1 作図中に、下記のメッセージを表示します。

[ニアエンド] では、1 データを作図するごとにローカルモードになり、動作を停止します。作図が終了したら、手順 2 に進んでください。
[インクエンド] では、作図は続行できません。
また、作図中に交換する場合には、カートリッジ LED (赤) が点灯 / 点滅しているカートリッジを交換してください。カートリッジ LED (緑) が点灯しているカートリッジを抜くと、作図が停止してしまいます。

R.1 > インクニア エンド　MBYKKYBM	R.1 > インク エンド　MBYKKYBM
ニアエンド	インクエンド

2 新しいインクと交換します。

表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。

3 リモートモードにします。

連続して作図できます。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

インク情報を表示する

インク残量を表示し、確認できます。

操作手順

1 リモートモード時に【ENTER】キーを押します。

インク残量を 1 から 9 までの数字で表示します。“1” はインク残量が少なく、数字が大きくなるほどインク残量が多いことを示しています。また、現在充填しているインクタイプも確認できます。

2【ENTER】キーを押します。

リモートモードに戻ります。

■インク残量表示に “1” が表示されても、作図は続行できます。[ニアエンド] を表示したら、インクを交換してください。(3-42 参照)

環境温度による動作条件を変更する

本装置を設置している場所の温度 (環境温度) が、使用可能温度範囲から外れている状態で作図を開始すると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、作図品質に悪影響を及ぼす可能性があります。

このような悪影響を回避するため、本装置では環境温度が使用可能温度外の場合、エラーメッセージを表示してお知らせします。

初期状態ではエラーメッセージを表示するのみで作図を続行しますが、作図品質に悪影響を及ぼさないように、環境温度が使用可能温度範囲内になるまで待ってから作図を開始するように設定できます。

■使用可能温度範囲については、「使用可能温度」(1-19 ページ) を参照してください。

■使用可能温度範囲外の場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

```
＊＊＊＊ ERROR 120 ＊＊＊＊
カンキョウオンド ヒクイ
```

```
＊＊＊＊ ERROR 121 ＊＊＊＊
カンキョウオンド タカイ
```

■エラーメッセージは、次のいずれかのタイミングで表示されます。

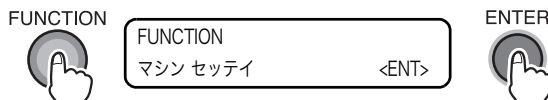
1. ローカルモードから【REMOTE】キーを押してリモートモードに移行するとき
2. オンラインデータを受信し、作図を開始するとき

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

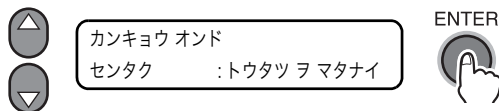
```
L. ＊>                    [JV5-01]
              ハバ : ＊＊＊＊ mm
```

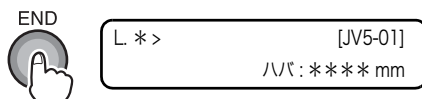
2 【FUNCTION】キーで、[マシンセッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【▼】キーで、[カンキョウオンド] を選択し、【ENTER】キーを押します。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

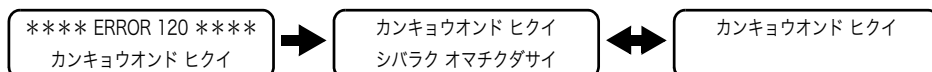
4【▲】【▼】キーで動作を選択し、【ENTER】キーを押します。

[トウタツ ヲ マツ]　　　：エラーを表示するのみで、作図を続行します。
[トウタツ ヲ マタナイ]：環境温度が使用可能温度範囲内に到達するのを待ちます。

カンキョウ オンド
センタク　　:トウタツ ヲ マタナイ

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

■[トウタツ ヲ マツ] をセンタクしている場合の動作

・エラーを表示した後、使用可能温度範囲に到達待ちであることをお知らせするメッセージを表示します。

＊＊＊＊ ERROR 120 ＊＊＊＊ カンキョウオンド ヒクイ	➡	カンキョウオンド ヒクイ シバラク オマチクダサイ	⬌	カンキョウオンド ヒクイ

・到達を待っている途中で作図を開始したい場合は、【ENTER】キーを押してください。到達待ちを中断し、リモートモードに移行するか、作図を開始します。
・到達を待っている途中でローカルモードに切り替えたい場合は、【REMOTE】キーを押してください。

インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後 2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から 6ヶ月延長できます。
以下の設定・確認画面は、本装置の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

重 要!

- **一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。**
- **複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。**
- **インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解の上、インクの有効期限を延長してください。**
- **初期充填では、期限切れ後 2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。**

操作手順

1 設定が必要なとき、下の画面を表示します。

スイショウ シナイガ ヨイカ？
YES＜　＞NO

2 【<】【>】で、[YES] を選びます。

インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから 2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。

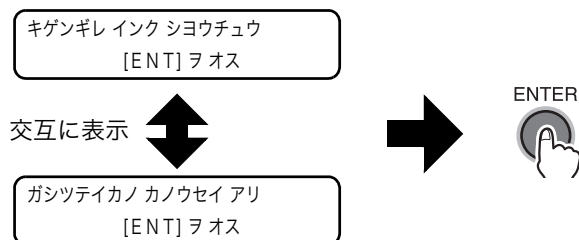
ユウコウキゲンヲ エンチョウシタ
[ENT] ヲ オス

3 【ENTER】キーを押します。

インク期限が延長されます。

- **インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから 6ヶ月が経過するとディスプレイに [カンゼン　キゲンギレ] が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。**
- **有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。**

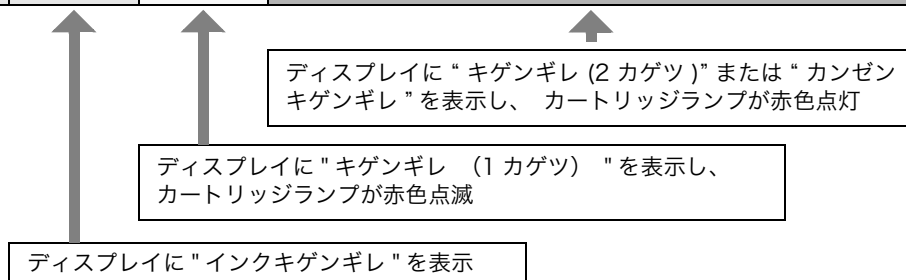
インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

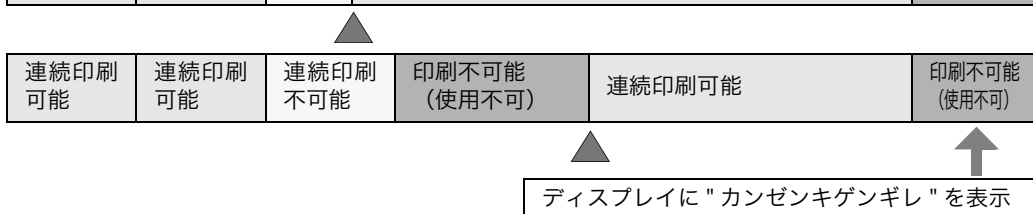
本装置にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。

■上の画面を交互表示しているときに【FUNCTION】キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

インクの有効期限を延長したときは

(例) 2010 年 2 月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

・ 期限延長をしなかった場合

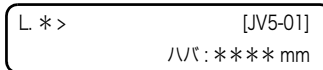
2 月	3 月	4 月	5 月～
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可能	印刷不可能 （使用不可）

・ 期限延長を実行した場合（ ▲ で期限延長実行）

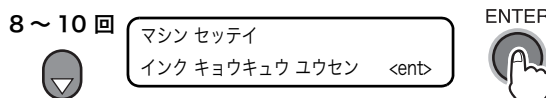
2 月	3 月	4 月		5 月～	9 月
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可	連続印刷可能		印刷不可能（使用不可）
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可能	印刷不可能（使用不可）	連続印刷可能	印刷不可能（使用不可）

インク供給経路の切替設定

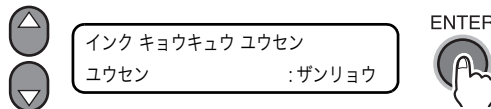
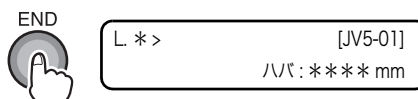
インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。

重要!
- **ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。**
- **オプションのバルクインクシステム (MBIS1) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム（MBIS1）をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。**
- **同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。**

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで、[マシンセッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[インク キョウキュウ ユウセン] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、優先するカートリッジの状態 を選択し、【ENTER】キーを押します。

ザンリョウ　:　残量が少ないインクカートリッジから供給する
ユウコウキゲン　:　有効期限が短いインクカートリッジから供給する

5【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。

インクカートリッジと MBIS1 を混在している場合

同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム (MBIS1) を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。

■通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS1) 側のインクを優先して使用します。

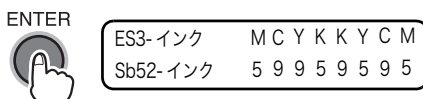
重要!

■インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。

■本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。

操作手順

1 ローカルまたはリモートモードで、【ENTER】キーを押します。

ES3-インク　　M C Y K K Y C M
Sb52-インク　 5 9 9 5 9 5 9 5

2 【REMOTE】キーを押します。

現在、供給している側を表示します。

B ： バルクインクシステム (MBIS1)
C ： インクカートリッジ
ー ： 混在していない

3 【▲】【▼】【<】【>】キーで、供給経路と、どちらを優先するか設定します。

経路の選択　　　　：【<】【>】キーで選びます。
優先する側を設定 ：【▲】【▼】キーで入力します。

4 【ENTER】キーを押します。

ローカルまたはリモートモードに戻ります。

電源をオフにする

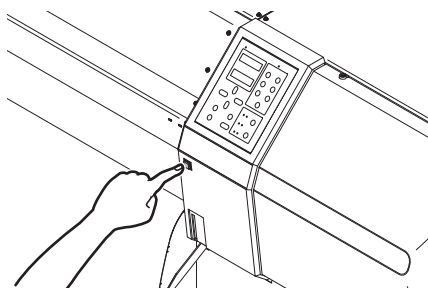
プリンターの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押してオフにします。
電源をオフにする際は、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

重要！

- **背面にある主電源スイッチはオフにしないでください。定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。(フラッシング機能)**
- **主電源スイッチがオフ状態で長時間放置すると、ノズルが詰まり、サービスエンジニアによる修理が必要になります。**
- **フロントカバー / メンテナンスカバーは閉めたままにしてください。カバーが開いているとノズル詰まり防止機能が動作しません。**
- **電源スイッチをオフにすると、本装置の排気ファンも停止します。換気のため、作図直後は電源をオフにしないでください。**
- **キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。**
  作図中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。
- **装置の移動等により主電源スイッチをオフにする場合でも、必ず装置前面にある電源スイッチを押して電源のオフを確認してから主電源スイッチをオフにしてください。**

操作手順

1 前面にある電源スイッチを押します。

電源スイッチのランプが消灯します。

第 4 章
日常のメンテナンスについて

この章では ...

インクが詰まった際の復旧方法や各部の清掃方法について説明します。

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

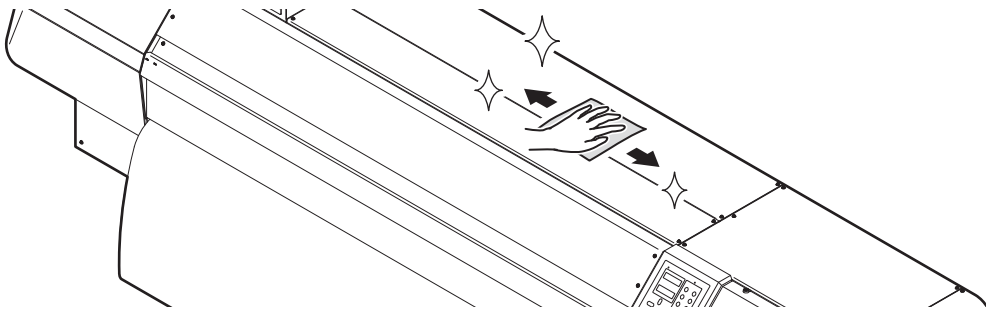
アイコン	内容
	洗浄液ボトルキット A29 を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	インクが皮膚に直接付かないように、清掃の際は手袋を着用してください。
	本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (作図) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、背面の主電源スイッチは ON (｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
	ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
	本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。
	メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

メンテナンス洗浄液について

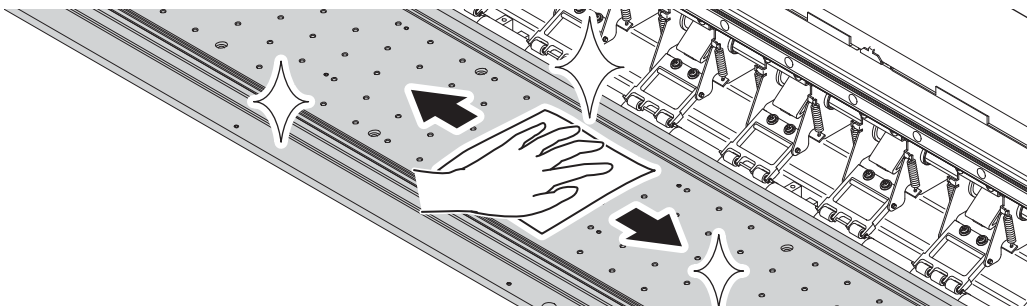
メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

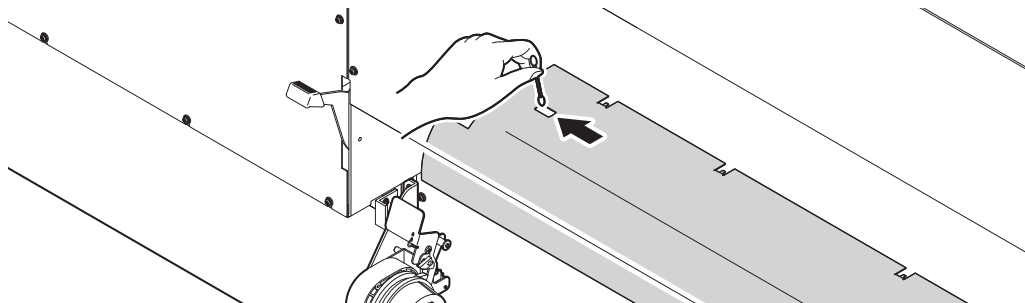
ソルベントインク	ソルベントインク用メンテナンス洗浄液 200 (SPC-0369) MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ（SPC-0294）
昇華転写インク	洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137）[別売] 水性洗浄液カートリッジ（SPC-0259）[別売]

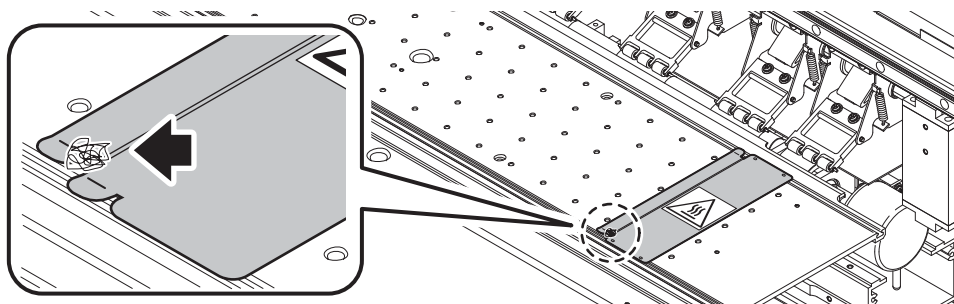
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。
やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。
インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。
また、プラテンを清掃するときには、メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝 (カッターライン) などは特に汚れがたまりやすい場所ですから、入念な清掃をお願いします。

■プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。

メディアセンサーの清掃

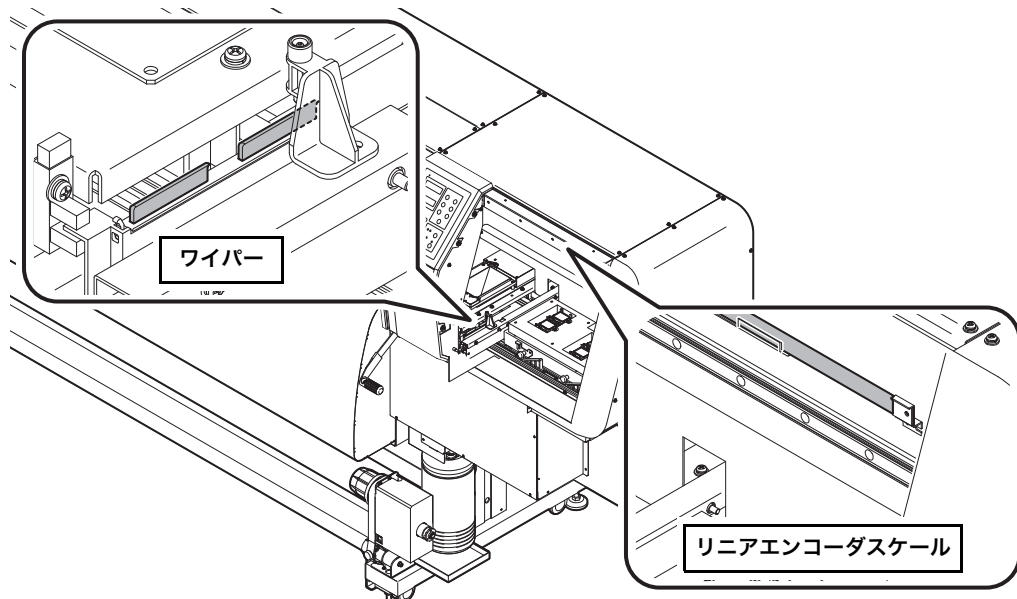
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

メディア押さえの清掃

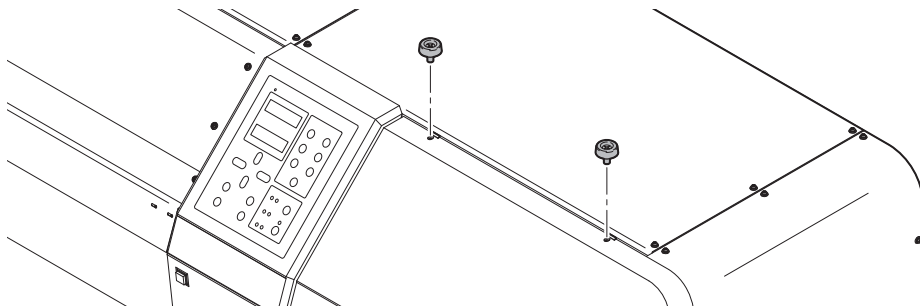
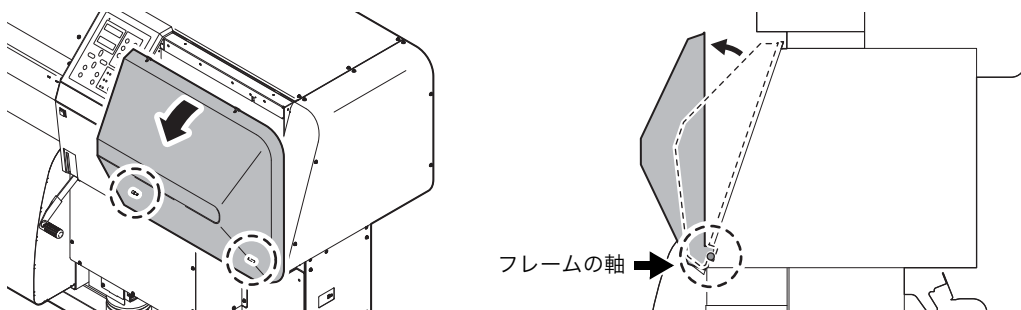
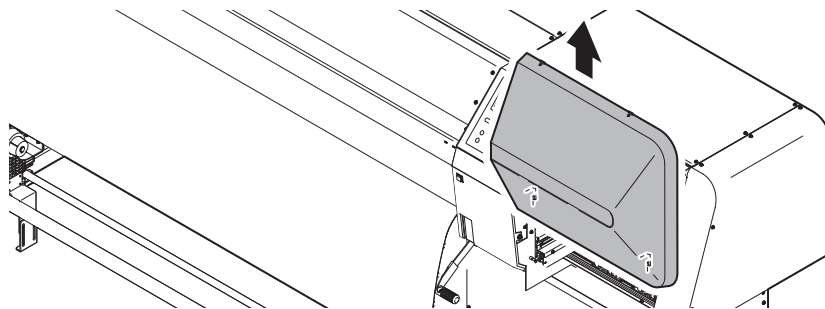
メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまって、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常な作図ができなくなる恐れがあります。こまめな清掃をお願いします。

メンテナンスカバーオープン

各清掃の際は、メンテナンスカバーを外します。清掃の内容によって、左右どちらかのメンテナンスカバーを外す必要がありますので、次の手順でメンテナンスカバーを外してください。

重 要!

■メンテナンスカバーを開けた際、リニアエンコーダスケールの読み取り面には触れないで下さい。また、読み取り面に汚れや傷が付かないように注意してください。

■皮脂などの付着により、作図品質低下の恐れがありますので、ワイパー部には素手で触れないでください。

作業手順

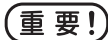
1 メンテナンスカバー上部の 2 個のネジを外します。

2 メンテナンスカバーの上部が垂直になるよう、フレームの軸を支点にして手前に倒します。

3 メンテナンスカバーを、上方へ引き抜きます。

ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト]

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止します。
ワイパーは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
クリーニング機能 **(ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-23 ページ) 参照)** を実行してもノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックまたは綿棒を使用して清掃を行います。

清掃に必要な道具

昇華転写インクをご使用の場合	ソルベントインクをご使用の場合
洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137)	メンテナンス洗浄液 200 (SPC-0369)
クリーンスティック (SPC-0527) または綿棒	綿棒
スポイト	スポイト
手袋	手袋
ゴーグル	ゴーグル

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

■必ず付属の手袋とゴーグルを着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。

■キャリッジを、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは以下の操作手順で動かしてください。

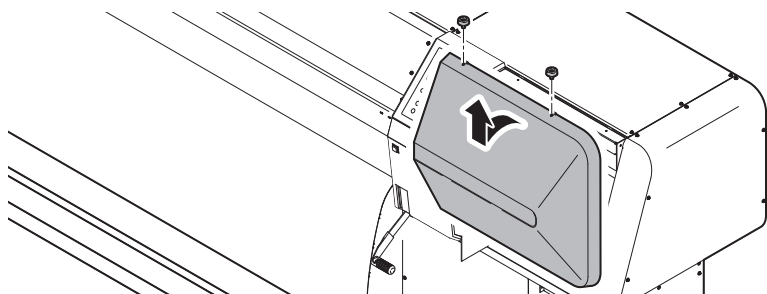
■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

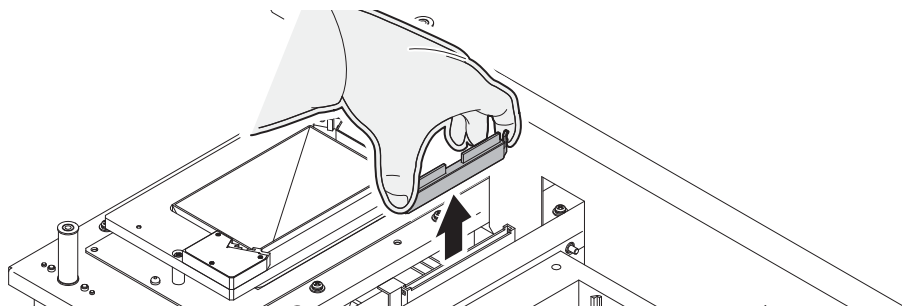
1 ローカルモードになっていることを確認します。

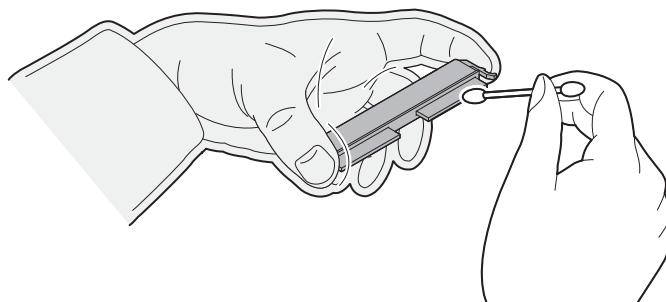
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

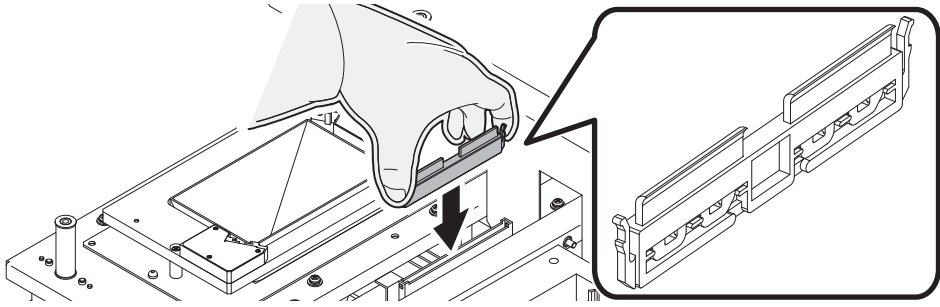
2【ST.MAINT】キーを押し、【ENTER】キーを押します。

[キャリッジアウト] を表示後、【ENTER】キーを押すことで、キャリッジがプラテン上に移動します。

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

3 メンテナンスカバーを開けます。

4 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。

5 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。

■汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。
(4-56 参照)

6 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

7 キャップのゴムや、ワイパーカバーに付着したインク等を、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で拭き取ります。

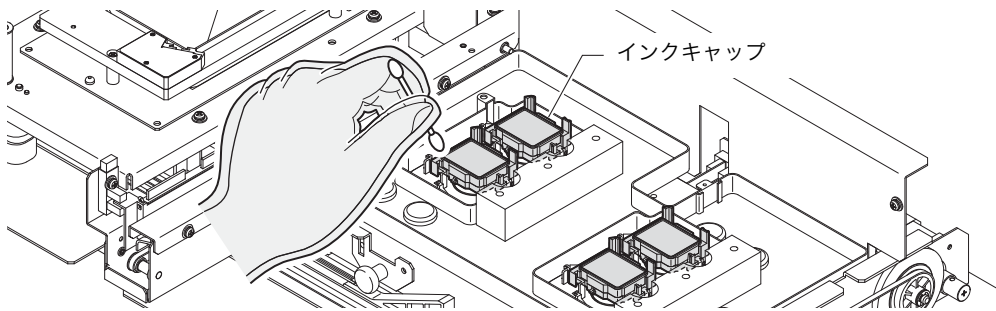
綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

8 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

ENTER

＊ ショキカ チュウ ＊
シバラク オマチクダサイ

ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ]

インクの凝固によるインク詰まりが発生するのを防止するために、ヘッドノズルの洗浄を実行します。

**■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

重 要!

■この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インク ジュウテン] (ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン] (3-25 ページ) 参照) 、[ハイシュツ & センジョウ] ([ハイシュツ & センジョウ] (5-6 ページ) 参照) 機能を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

■2 本セット共に [ニアエンド]、[インクエンド] を検出している場合、ノズル洗浄などのクリーニング (インク吸引) 動作を行いません。[ニアエンド] 未検出のカートリッジに交換してください。

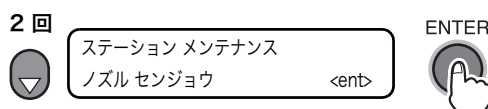
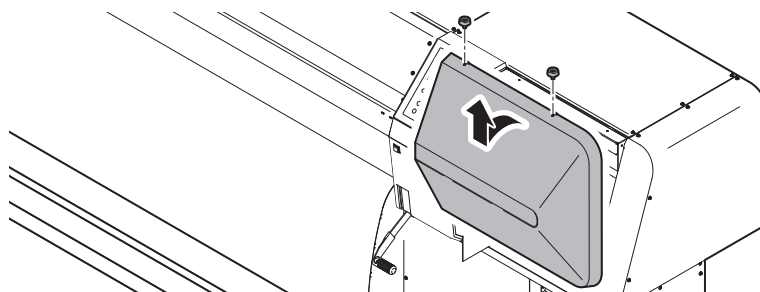
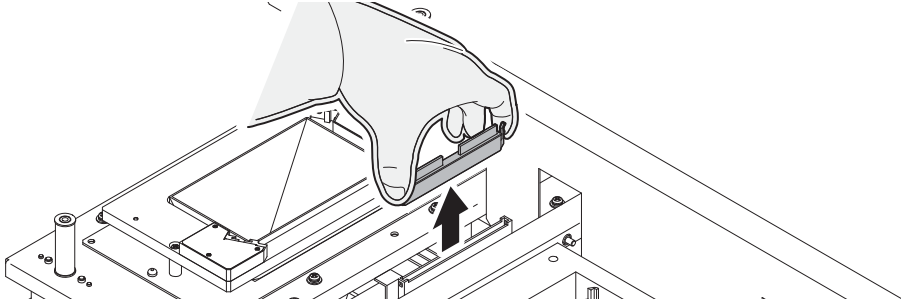
■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[ノズル センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

3 メンテナンスカバーを開けます。

4 **ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。**

5 **ワイパーとブラケット、およびワイパー差し込み口周辺に付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。**

■汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。
(4-56 参照)

6 **ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。**

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

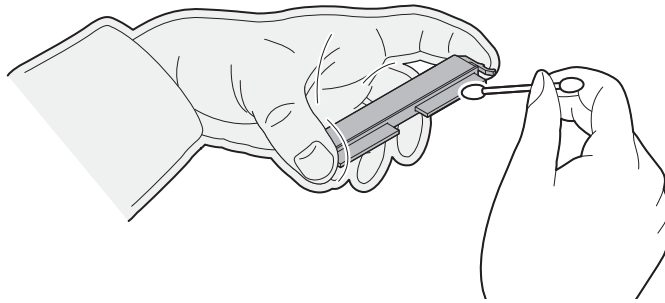
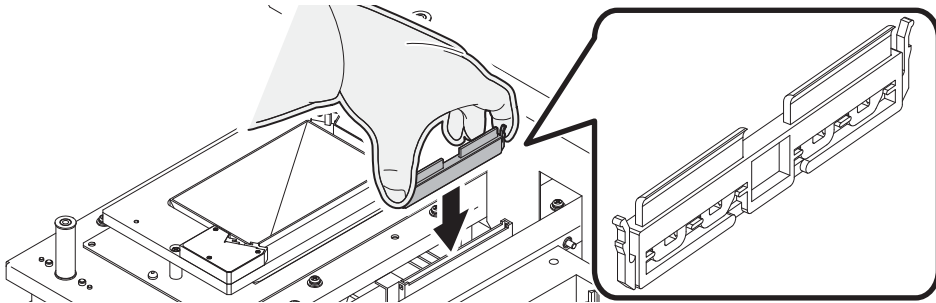
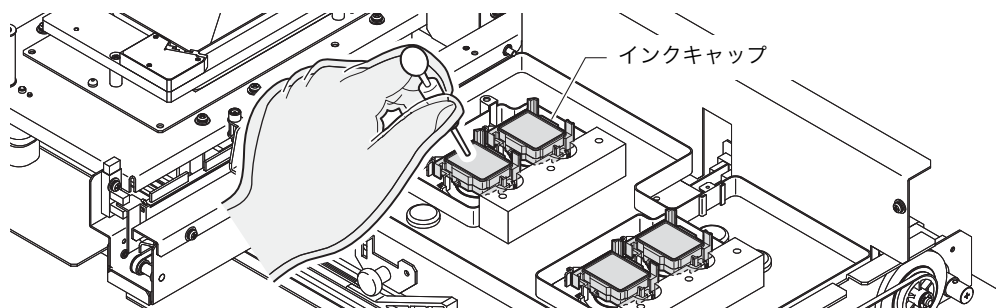
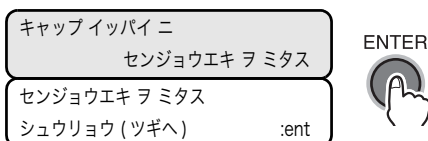
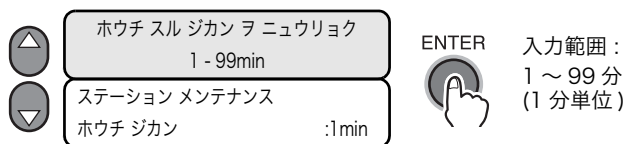
7 **【ENTER】キーを押します。**

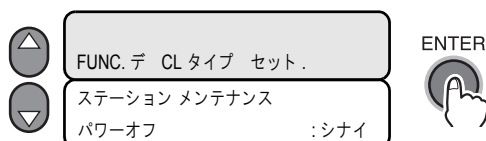
8 スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

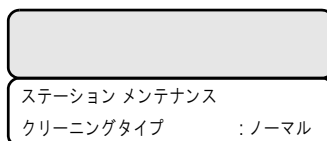
9 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

10【▲】【▼】キーで、放置する時間を設定します。

通常は「1 分」で設定します。

入力範囲 :
1 〜 99 分
(1 分単位)

11【▲】【▼】キーで、ノズル洗浄後の自動パワーオフ選択を設定します。

[パワーオフ] : シナイ (デフォルト ）：　パワーオフしません。
スル　：　ノズル洗浄終了後に自動でパワーオフします。

■自動パワーオフ選択画面で【FUNCTION】キーを押すと、ノズル洗浄後のクリーニングタイプが選択可能です。

[クリーニングタイプ] : ノーマル、ソフト、ハード

12【ENTER】キーを押します。

キャリッジがステーションに戻り、洗浄液吸引 / クリーニング動作のため、設定した時間ノズルをキャップし、以下の表示が放置時間のあいだ続きます。
設定した放置時間が経過すると、初期動作を行い、ローカルモードに戻ります。

＊ ショキカ チュウ ＊
シバラク オマチクダサイ

残り時間が 20 秒以上の表示

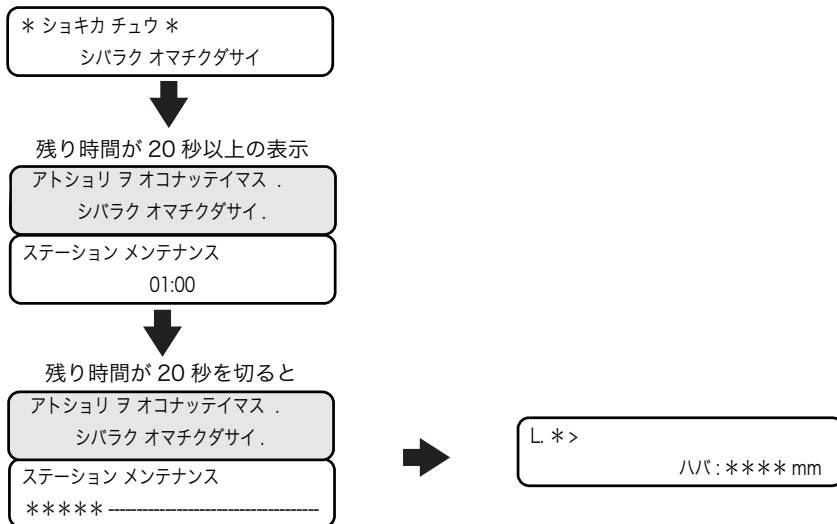
アトショリ ヲ オコナッテイマス .
シバラク オマチクダサイ .

ステーション メンテナンス
01:00

残り時間が 20 秒を切ると

アトショリ ヲ オコナッテイマス .
シバラク オマチクダサイ .

ステーション メンテナンス
＊＊＊＊＊-------------------------------------

L. ＊>
ハバ : ＊＊＊＊ mm

インク排出路の洗浄 [ハイロセンジョウ]

[PUMP チューブセンジョウ] 機能が実行できない場合、本機能を使います。
インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。このインク詰まりを防止するため定期的に (ソルベントインクをお使いの場合は、1 週間に 1 回程度) 排出路内を洗浄してください。

■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

重 要!

- **■キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは、[ステーションメンテナンス] 機能を選択して動かします。**
- **■ポンプが詰まっていないか確認しましょう。ポンプが詰まっていると、クリーニング機能が正常に働きません。[ハイロセンジョウ] を実行したとき、洗浄液がキャップから流れず溜まったままになってしまう場合は、ポンプが詰まっている可能性があります。ポンプが詰まってしまったときは、弊社テクニカルコールセンターにお問合せください。**

操作手順

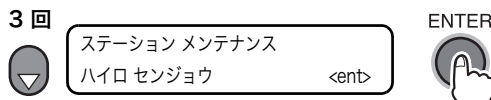
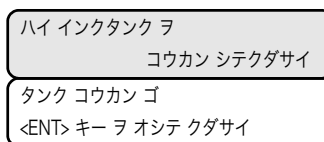
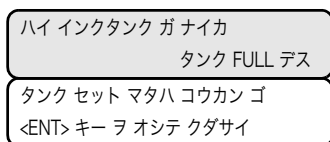
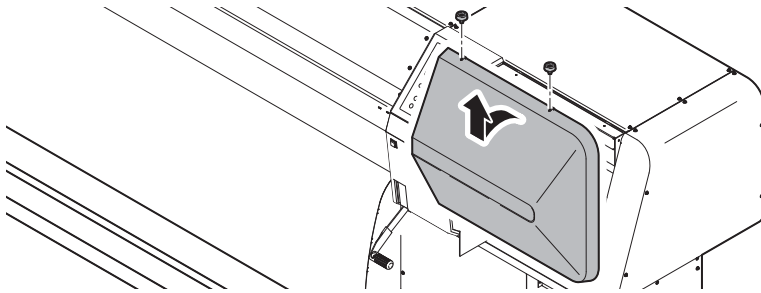
1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。

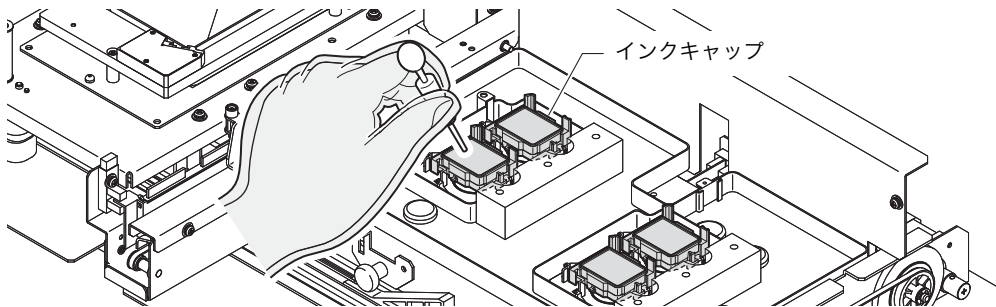
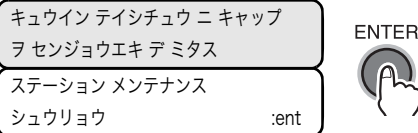
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[ハイロ センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。
空吸引動作が始まります。吸引動作 -5 秒、停止時間 -10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。

■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。
画面の指示に従って、異常復旧してください。

ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス	ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ	タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

3 メンテナンスカバーを開けます。

4 スポイトでメンテナンス洗浄液をとります。

空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗浄液 を垂らします。
同様に、すべてのキャップに対してメンテナンス洗浄液を垂らします。

5 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

6 30 秒間、空吸引を実行し、初期動作後、ローカルモードになります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

長期間使用しない場合 [ホカンセンジョウ]

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

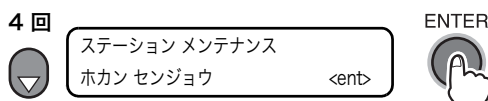
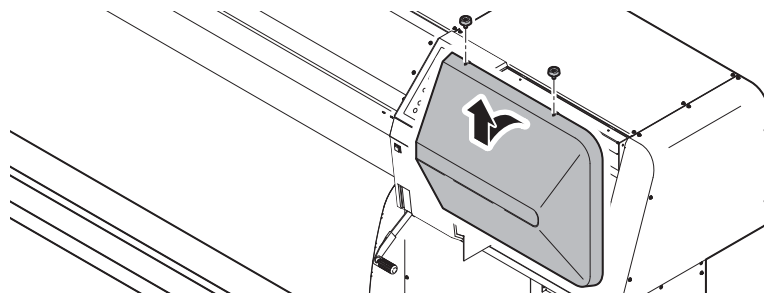
**■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

■[ニアエンド]、[インクエンド] を検出したカートリッジがあると、ノズル洗浄などのクリーニング (インク吸引) 動作を行いません。[ニアエンド] 未検出のカートリッジに交換してください。

■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[ホカン センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

3 メンテナンスカバーを開けます。

4 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。

5 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。

■汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。
(4-56 参照)

6 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

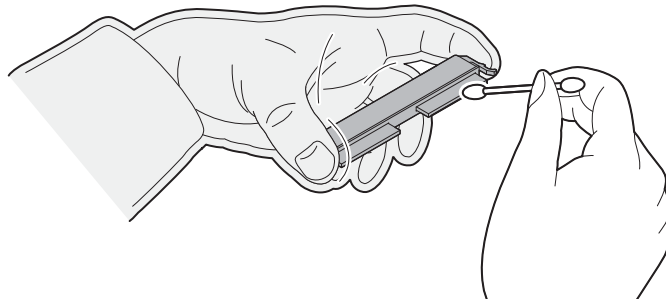
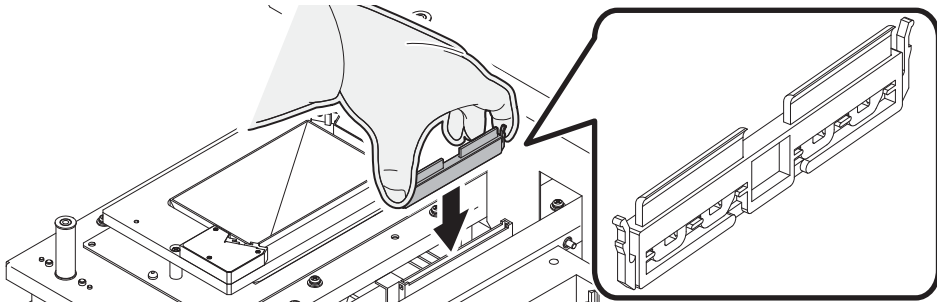
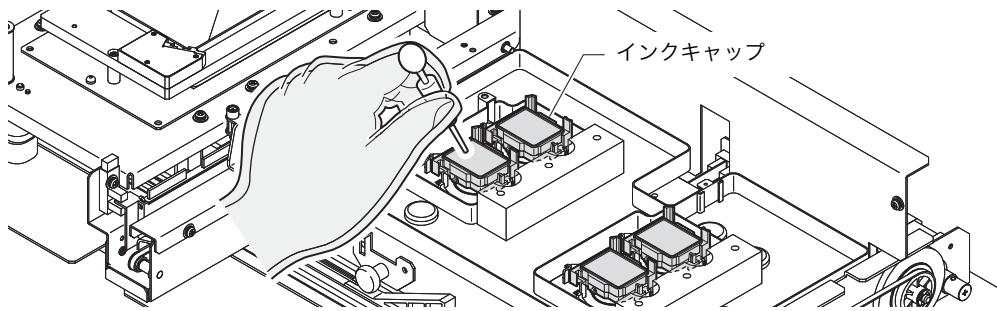
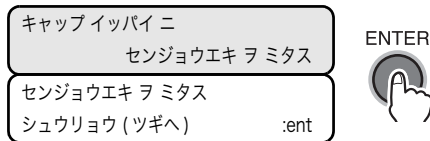
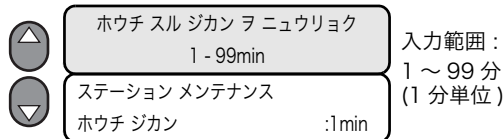
7【ENTER】キーを押します。

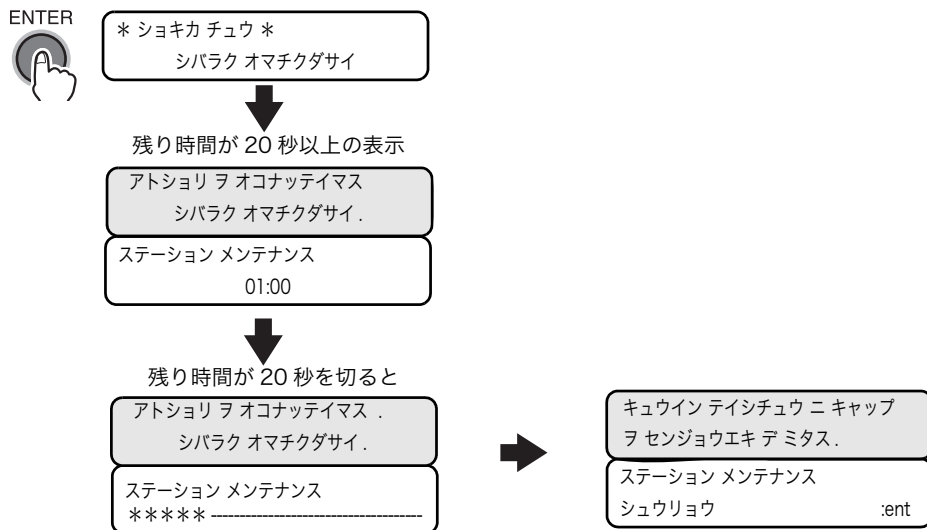
8 スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

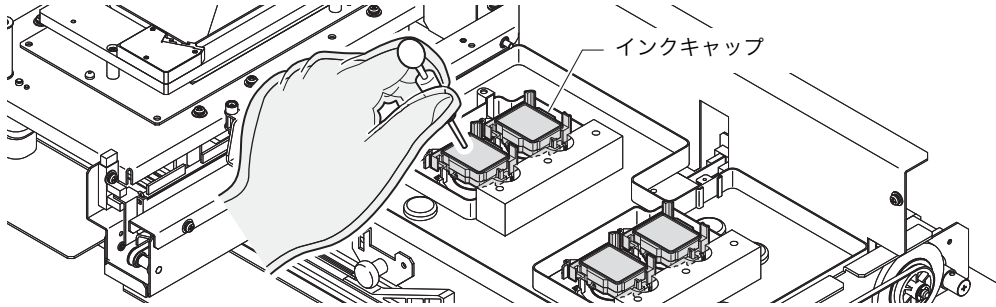
9 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

10【▲】【▼】キーで、放置する時間を設定します。

通常は「1 分」で設定します。

入力範囲：
1 ～ 99 分
(1 分単位)

11【ENTER】キーを押します。

ノズルの洗浄を実行します。
ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

12 **メンテナンスカバーを開け、スポイトでメンテナンス洗浄液 をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。**

空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。作業は、すべてのキャップに対して行います。

13 **メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。**

30 秒間空吸引を実行します。ヘッドがステーションに戻り、初期動作後、ローカルモードになります。

＊ ショキカ チュウ ＊ シバラク オマチクダサイ		L. ＊> ハバ : ＊＊＊＊ mm

[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に

[PUMP チューブセンジョウ] または [ワイパーセンジョウ] を実行する際は、必ずメンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。

メンテナンス洗浄液の充填 [メンテナンス センジョウエキ]

ワイパー洗浄、ポンプチューブ洗浄で使用する、専用洗浄液を充填・排出します。

**■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。
画面の指示に従って、異常復旧してください。**

ハイ インクタンク ガ ナイカ
タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ
コウカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

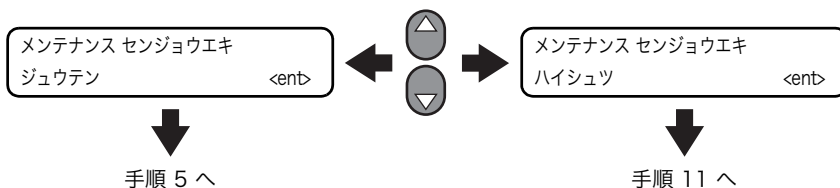
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[ヘッド メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【▼】キーで、[メンテナンス センジョウエキ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4 ここで【▲】【▼】キーを押すと、[ジュウテン] と [ハイシュツ] を選択できます。

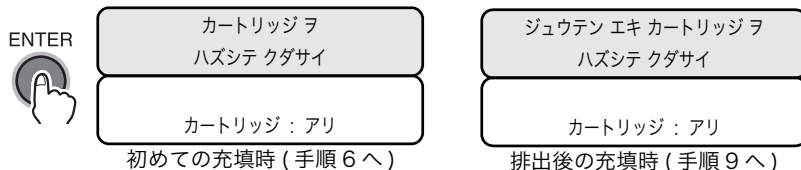
手順 5 へ

手順 11 へ

5【ENTER】キーで下の階層へ進み、メンテナンス用洗浄液を充填します。

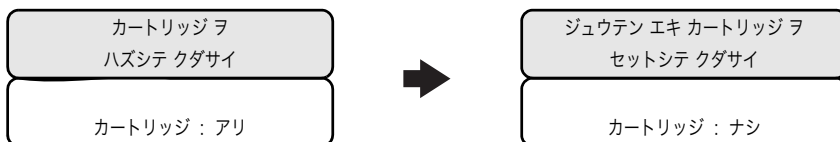
カートリッジをセットすると、充填が始まります。
洗浄液を吸引し、チューブ内を洗浄液で満たします。
初めての充填時は手順 6 へ、排出後の充填時は手順 9 へ進みます。

カートリッジ ヲ
ハズシテ クダサイ
カートリッジ : アリ

初めての充填時 (手順 6 へ)

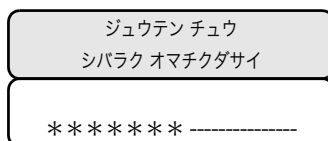
排出後の充填時 (手順 9 へ)

初めての充填時

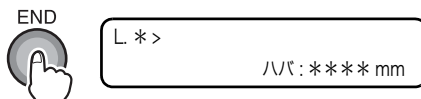
6 画面の指示に従って、充填液カートリッジをセットします。

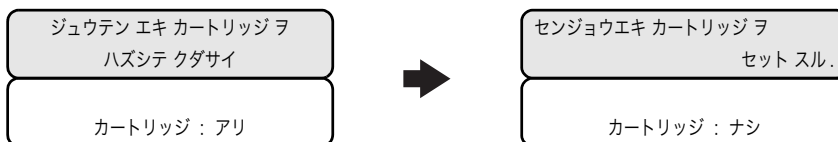
ジュウテン エキ カートリッジ ヲ
セットシテ クダサイ
カートリッジ : ナシ

■充填液カートリッジに異常を検出した場合は、以下のいずれかの画面を表示します。

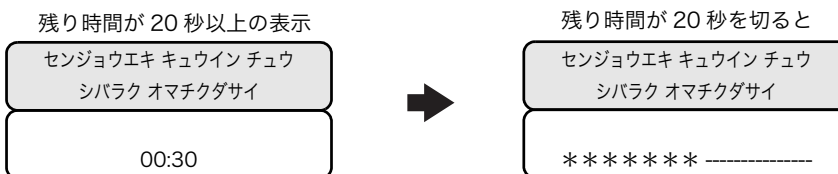
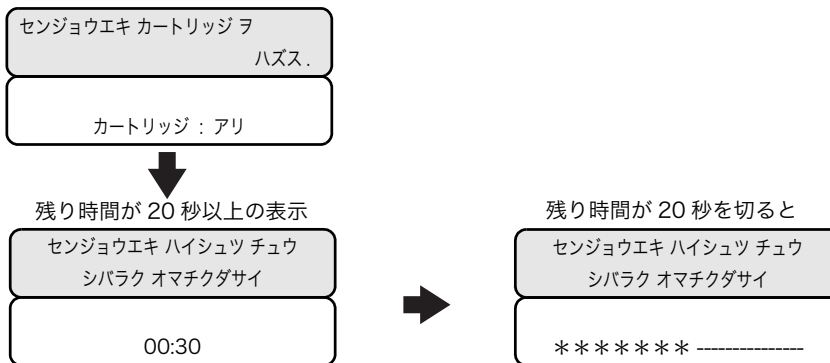
または

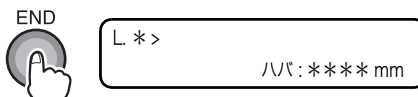
ジュウテン エキ カートリッジ ヲ
セットシテ クダサイ
カートリッジ : イジョウ

7 メンテナンス用洗浄液を充填します。

8【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

排出後の充填時

9 **画面の指示に従って、洗浄液カートリッジをセットします。**

■洗浄液カートリッジに異常を検出した場合は、以下の画面を表示します。

10 **メンテナンス洗浄液を充填します。**

11 **メンテナンス洗浄液を排出します。**

12 **【END】キーを数回押します。**

ローカルモードに戻ります。

PUMP チューブセンジョウ

本装置に搭載されている 4 つのポンプのうち、インク吸引用の 2 つのポンプの洗浄を行います。
洗浄液吸引ポンプを駆動して、インクキャップ、インク排出路、インク吸引用ポンプのチューブ内を洗浄します。
洗浄液未充填状態、洗浄液カートリッジ、廃インクタンクにワーニングが発生している場合は、洗浄はできません。

■洗浄液カートリッジスロットには、専用洗浄液カートリッジ以外は、挿入しないでください。

重 要!

■[PUMP チューブセンジョウ] を実行する前に、メンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。メンテナンス洗浄液の充填方法については、第 4 章 [[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に] を参照してください。(4-20 参照)

■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

ハイ インクタンク ガ ナイカ
タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ
コウカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[PUMP チューブセンジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

5 回

ステーション メンテナンス
PUMP チューブセンジョウ <ent>

ENTER

■洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

メンテナンス センジョウエキ ヲ
ジュウテン シテクダサイ .

＊＊＊＊＊ ERROR 30 ＊＊＊＊＊
オペレーション エラー

3 ポンプチューブ内を洗浄します。

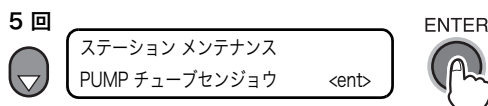
残り時間が 20 秒以上の表示

センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ

PUMP チューブセンジョウ
00:30

残り時間が 20 秒を切ると

センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ

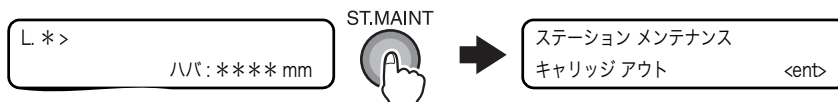
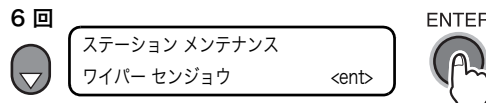
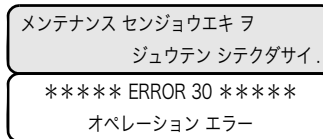
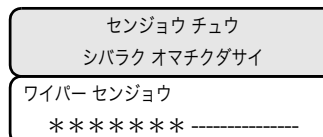
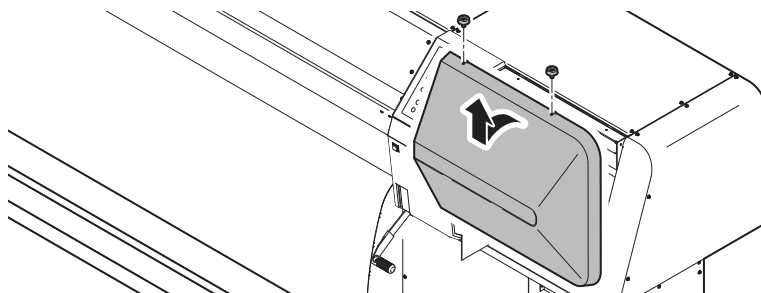
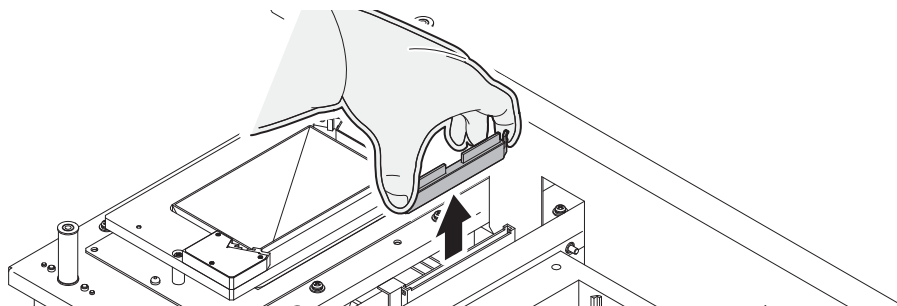
PUMP チューブセンジョウ
＊＊＊＊＊＊＊ ---------------

ワイパーセンジョウ

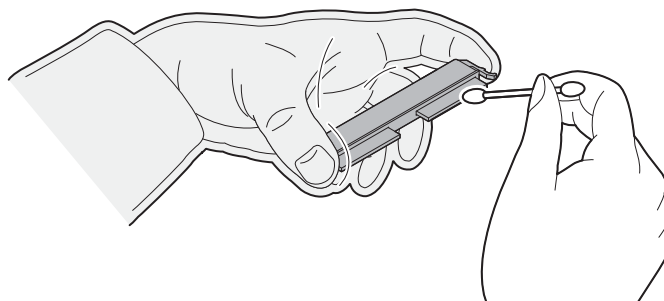
ワイパーをワイパー Box へ収納し、ワイパーの洗浄を行います。
洗浄液未充填、洗浄液カートリッジナシのワーニングが発生している場合は、洗浄できません。

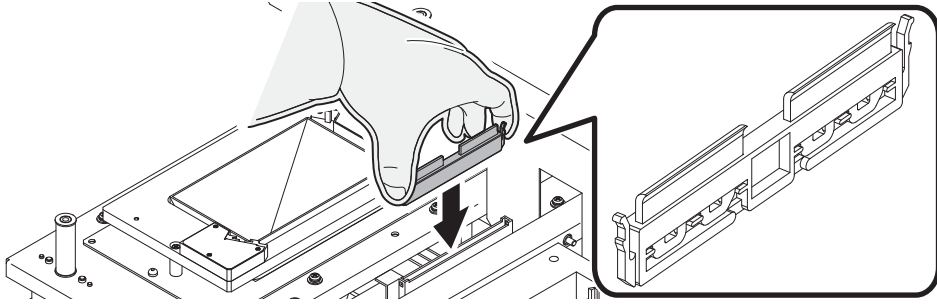
■[ワイパーセンジョウ] を実行する前に、メンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。メンテナンス洗浄液の充填方法については、次のページを参照してください。
([PUMP チューブセンジョウ] を行う前に (4-20 ページ) 参照)

■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

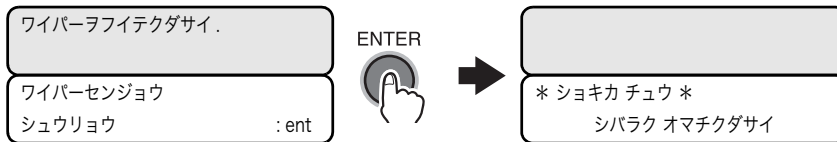
1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[ワイパーセンジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

■洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

3 ワイパーに、メンテナンス洗浄液の点滴が行われます。
終了後、キャリッジがプラテン上に移動します。

4 メンテナンスカバーを開けます。

5 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。

6 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。

■汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。
(4-56 参照)

7 **ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。**

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

8 **ワイパーカバーに付着したインク等を、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で拭き取ります。**

綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

9 **メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。**

初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ヘッド周辺の清掃 [キャリッジメンテナンス]

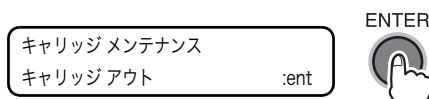
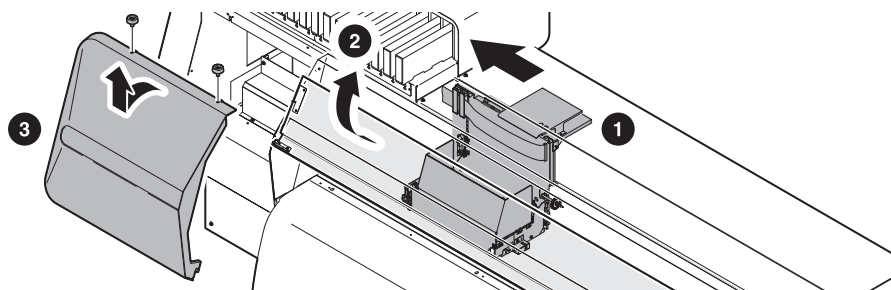
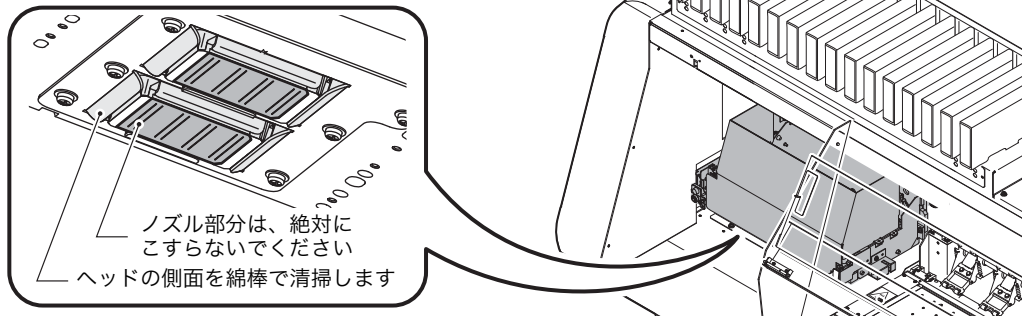
ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、綿棒などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

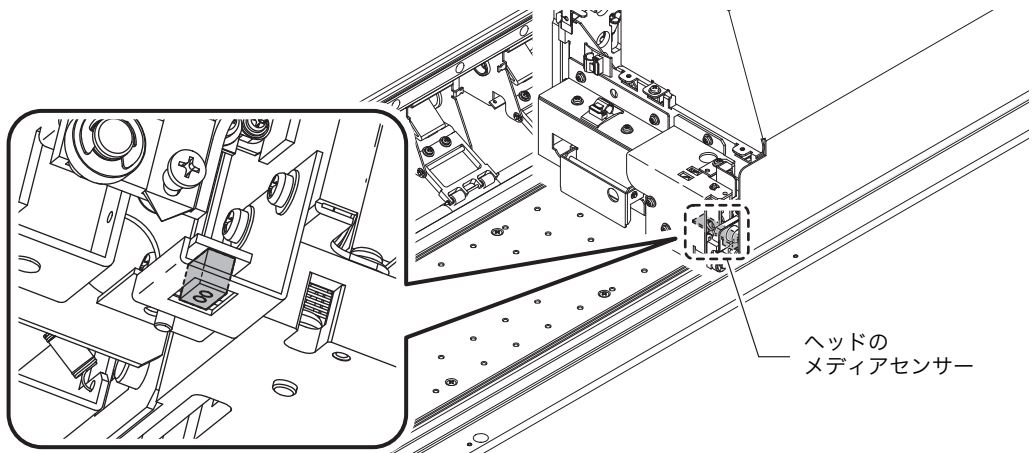
**■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

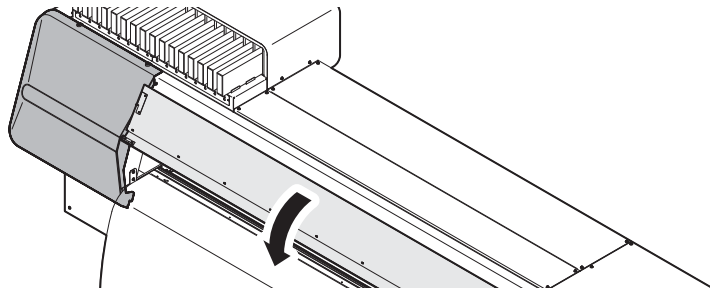
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[キャリッジ メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 [キャリッジアウト] を表示後、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが、本体左端まで移動します。

4 メンテナンスカバーとフロントカバーを開けます。

5 **ヘッドの側面などに付着したインクを綿棒で拭き取ります。**

6 **ヘッドメディアセンサーを清掃します。**

ヘッドメディアセンサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検出の原因になります。柔らかい布でふき取ってください。

7 **全ての清掃が終了した後、【ENTER】キーを押します。**

8 **メンテナンスカバーとフロントカバーを閉じます。**

9【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

電源オフ時のインク詰まり防止 [スリープセッテイ]

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、インク詰まりを防止するための各種動作を実行します。[スリープセッテイ] には、以下の項目があります。

[リフレッシュ]	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します
[チューブセンジョウ]	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します
[クリーニング]	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します

スリープ中のリフレッシュ間隔 [リフレッシュ]

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

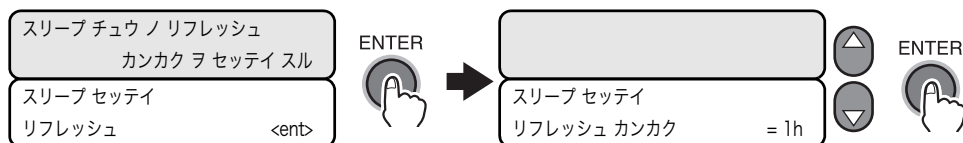
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[スリープ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【ENTER】キーを押し、【▲】【▼】キーで間隔時間を設定して【ENTER】キーを押します。

入力範囲 : OFF、1 ～ 168

4【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

スリープ中のチューブ洗浄間隔 [チューブ センジョウ]

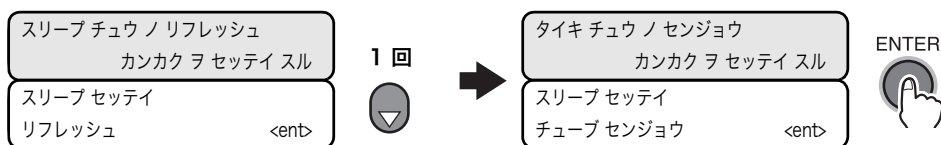
スリープ中に、メンテナンス洗浄液を使用してキャップとポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。

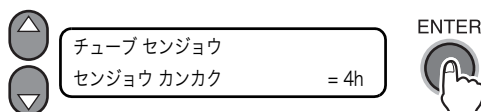
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[スリープ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[チューブセンジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、間隔時間を設定します。

入力範囲 : OFF、1 ～ 168
【ENTER】キーで確定します。

■洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

＊＊センジョウエキ ミジュウテン＊＊

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

スリープ中のクリーニング間隔 [クリーニング]

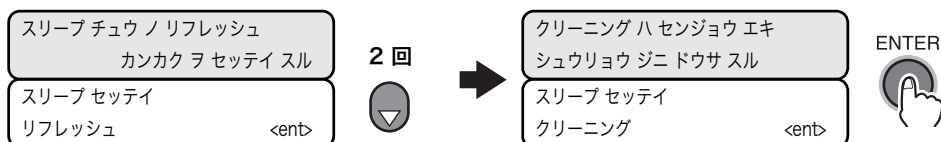
メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。
スリープ中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

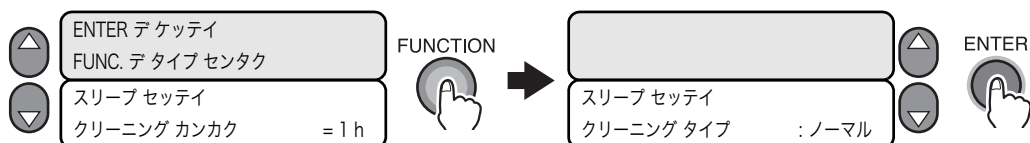
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[スリープ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[クリーニング] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、クリーニング間隔を設定します。
【FUNCTION】キーで [クリーニング タイプ] を選択し、【▲】【▼】キーで、クリーニングタイプを設定します。【ENTER】キーで確定します。

[クリーニング カンカク] 入力範囲 : OFF、1 ～ 168
[クリーニング タイプ] : ソフト、ノーマル、ハード

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

装置待機中の定期動作設定 [テイキセッテイ]

作図はせずに装置を待機させている状態で、定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止します。
また、昇華転写インクをご使用の場合、色味変化予防のお手入れ時期をお知らせする表示の間隔が設定できます。

[テイキセッテイ] には、以下の項目があります。

[テイキワイピング]	作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます [スキャンカイスウ]、[オンドサ] が設定可能です （ソルベントインクをご使用の場合）
[リフレッシュ]	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します
[チューブセンジョウ]	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します
[クリーニング]	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します
[Sub-INK ワーニング]	色味変化予防ワーニングを表示する間隔を設定します。 **(4-55 参照)**

ノズル面でインクが結露するのを防ぐ [テイキワイピング]
(ソルベントインクをご使用の場合)

プリントヒーターを高温に設定したとき、または打ち込みインク量を多めに設定にしたとき (高濃度、2 度塗り等) に、作図途中でしぶき、ボタ落ち、またはノズル抜けが発生する場合があります。
これは、作図直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。
またプリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。
この機能は作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます。

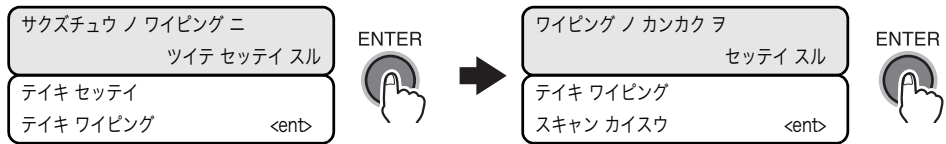
操作手順

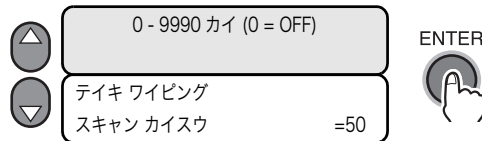
1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

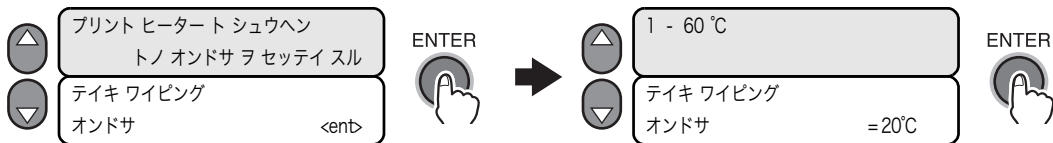
2 【▼】キーで、[テイキ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【ENTER】キーを押します。

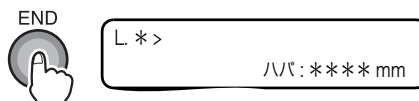
［スキャン カイスウ］を表示しますので、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、スキャン回数を入力します。

【ENTER】キーで確定します。

■スキャン回数の初期値は０(実行しない)です。使用状況に応じて設定値を変更してください。
ヒーターを高温 (50℃以上) に設定した場合や、２度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 〜 50 回が目安です。

5【▼】キーで下の階層へ進み、［オンドサ］を設定します。

【▲】【▼】キーで温度差を入力し、【ENTER】キーで確定します。

■プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。

6【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

待機中のリフレッシュ間隔 [リフレッシュ]

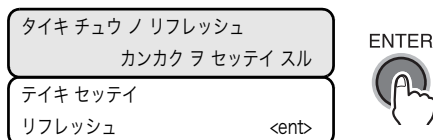
リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。

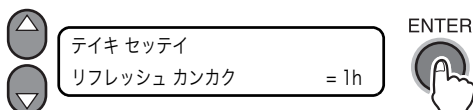
操作手順

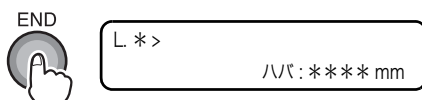
1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[テイキ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【ENTER】キーを押します。

4 【▲】【▼】キーで、リフレッシュ間隔を入力します。

入力範囲 : OFF、1 〜 168
【ENTER】キーで確定します。

5 【END】キーを数回押します。

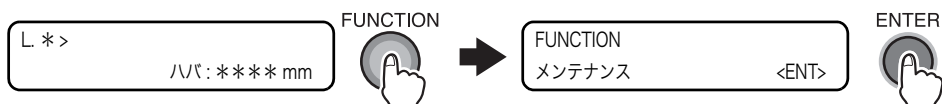
ローカルモードに戻ります。

待機中のチューブ洗浄の間隔 [チューブセンジョウ]

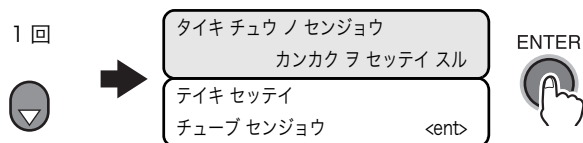
チューブ内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、定期的にチューブ内洗浄を実行します。

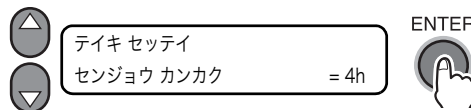
重 要!
■本装置では、フラッシング BOX の詰まりを防止するために PUMP チューブ洗浄機能を使用して洗浄液をフラッシング BOX に流します。
フラッシング BOX に流したインクの量により、自動的に PUMP チューブ洗浄機能を実行します。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

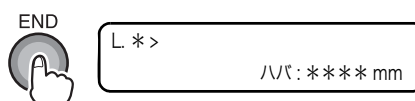
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[テイキ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【▼】キーで [チューブ センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4 【▲】【▼】キーで、洗浄間隔を入力します。

入力範囲 : OFF、1 ～ 168
【ENTER】キーで確定します。

■洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

＊＊センジョウエキ ミジュウテン＊＊

5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

待機中のクリーニング間隔 [クリーニング]

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。
クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

重 要!

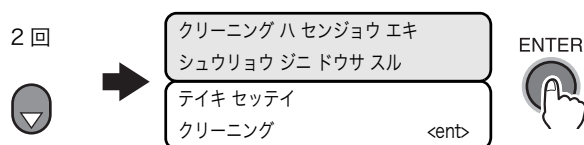
- **「ニアエンド」「インクエンド」等、インクに関係するエラーが発生している場合は、動作しません。**
- **動作中は「クリーニング」動作と同じ進行状況を示す表示となり、キー操作はできません。(異常なパターンの場合は (クリーニング) (3-23 ページ) 参照)**
- **本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。**

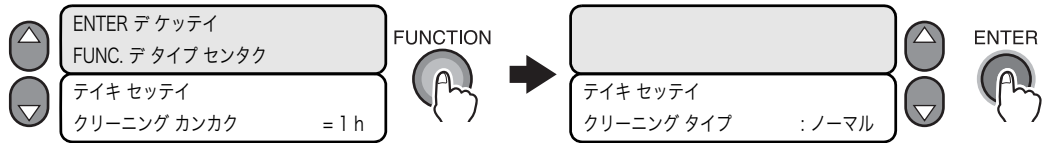
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[テイキ セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【▼】キーで、[クリーニング] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、クリーニング間隔を設定します。
【FUNCTION】キーで [クリーニング タイプ] を選択し、【▲】【▼】キーで、クリーニングタイプを設定します。

[クリーニング カンカク] 入力範囲 : OFF、1 ～ 168
[クリーニング タイプ] : ソフト、ノーマル、ハード
【ENTER】キーで確定します。

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

その他のメンテナンス機能

ワイパー交換の警告時期を変更する [ワイパーレベル]

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。

ワイパー不良の例

10 / 10	標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値)
9 / 10	標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
8 / 10	標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
1 / 10	標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。

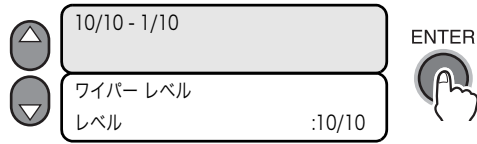
表 4-1：ワイパー交換警告の設定値

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[ワイパー レベル] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▲】【▼】キーで、ワイパーレベルを入力します。
【ENTER】キーで確定します。

4【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。

フラッシング BOX クリーニングおよび交換の警告時期を変更する [BOX コウカン レベル]

フラッシング BOX は、使用環境や動作条件、ご使用になるインクの種類などによっては、クリーニングや交換の標準の時期よりも早く汚れることがあります。本機能でフラッシング BOX のクリーニングや交換の時期を標準より早めることができます。

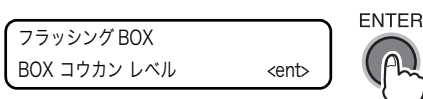
レベルは 5 段階 (5/5 〜 1/5) で設定できます。
レベル 5/5 では標準の時期で警告します。レベル 1/5 では標準の 2 倍近く早く警告します。ステーション周辺の汚れ具合を見て変更してください。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

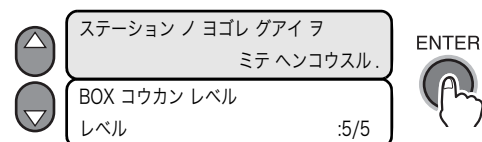
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【▼】キーで、[フラッシング BOX] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 【▼】キーで、[BOX コウカン レベル] を選択し、【ENTER】キーを押します。

フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生していない場合

フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生している場合

4 【▲】【▼】キーで、BOX コウカンレベルを入力します。

【ENTER】キーで確定します。

5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。
下記のエラーメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを交換してください。

```
L.1 >
! ハイ インクタンク      FULL/NONE
```

```
L.1 >
! ハイ インク タンク      FULL マヂカ
```

**■廃インクタンクは、TS5 用 (SPC-0128) のものを使用してください。
これ以外のタンクを使用した場合、廃インクの残量検出が正確に行われず、廃インクがタンクから漏れる場合があります。**

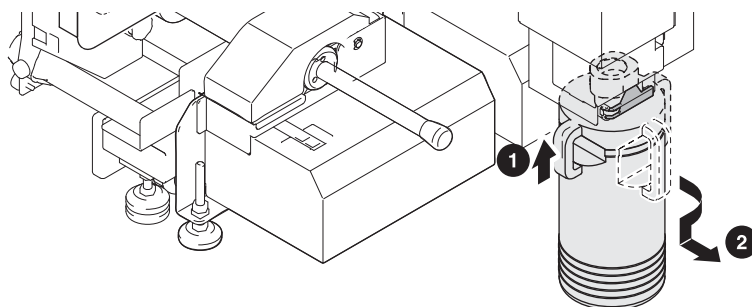
操作手順

1 **廃インクタンクガードのネジをはずし、廃インクタンクガードを開けます。**

2 **廃インクタンクの大きい取手を持ち、上に持ち上げたまま横へ 90 度回し、下方に引き出します。**

重 要!

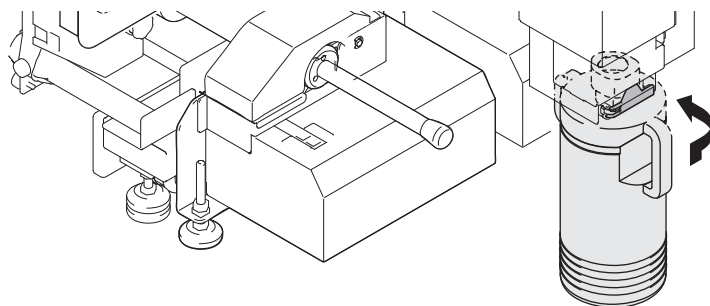
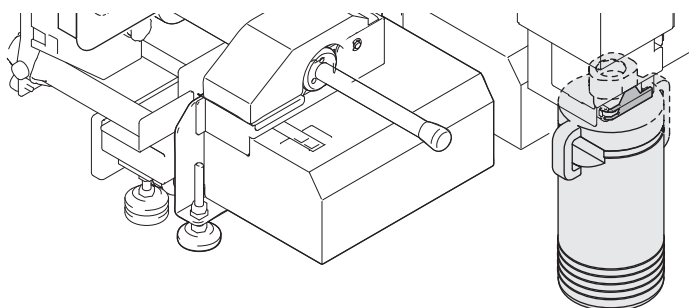
■廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンク口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

■インクで床を汚さないように、予め下に紙を敷いてから交換してください。

3 **廃インクタンクを交換します。**

インクタンクの取手を持って差し込みます。インクが溜まっている廃インクタンクには、キャップをはめます。

4 **廃インクタンクの大きい取手を持って、右側からブラケットに入れます。**

5 **差し込んだ廃インクタンクを上に持ち上げて、取手を横から前側に 90 度回します。**

小さい取手は前側に来ます。

6 **廃インクタンクガードを閉じ、ネジを締めて、廃インクタンクを固定します。**

フラッシング BOX のクリーニング

下記のワーニングメッセージが表示されたら、速やかに吸出しファン BOX フタを清掃してください。

```
L.1 >
！フラッシング BOX　　クリーニング
```

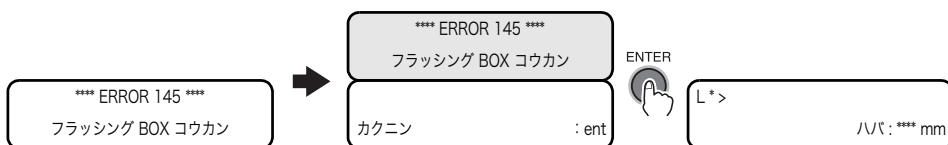
上記のワーニングメッセージの 6 回目を表示する時期がきたら、フラッシング BOX の交換が必要になります。フラッシング BOX 交換のお知らせは 3 段階で行われます。

■交換時期が近づくと、以下のメッセージが表示されます。

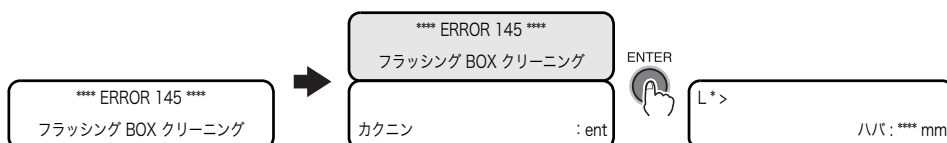
```
L.＊>
！フラッシング BOX コウカン　マヂカ
```

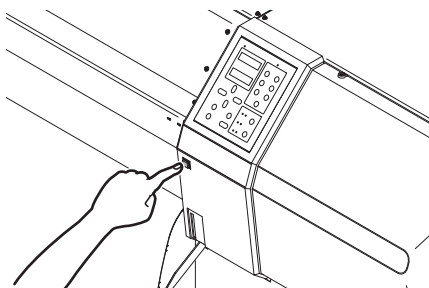
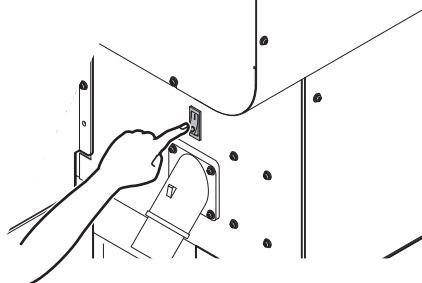
■交換時期になると、以下のメッセージが表示され、1 データ作図するごとにローカルモードになり動作を停止します。
フラッシング BOX の交換が必要です。弊社サービスおよび販売店へサービスコールしてください。

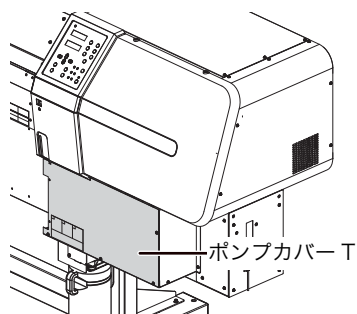
```
L.＊>
！フラッシング BOX コウカン
```

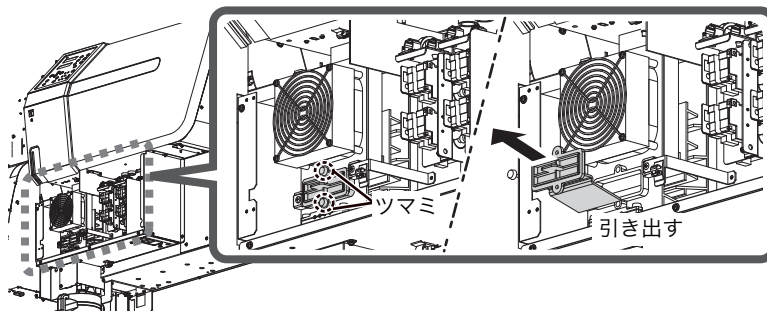
■交換時期を過ぎても交換せずに使い続けると、以下のメッセージが表示され、作図ができなくなります。
フラッシング BOX の交換が必要です。弊社サービスおよび販売店へサービスコールしてください。

重 要！ **■インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

■必ず付属の手袋とゴーグルを着用して作業を行ってください。

■フラッシング BOX のクリーニングをせずに使い続けた場合、下記のエラーメッセージが表示され、1 データを作図するごとにローカルモードになり動作を停止します。ご使用を中止して、速やかに吸出しファン BOX フタの清掃をしてください。

作業手順

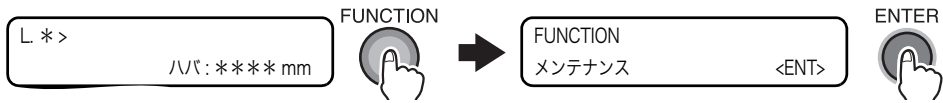
1 前面にある電源スイッチを押して、電源のオフを確認します。

2 本体背面の主電源スイッチを切ります。

■ポンプカバー T 内には制御基板やヒーター供給ハーネス等がありますので、必ず主電源スイッチを切ってください。

3 ポンプカバー T を開けます。

4 吸出しファン BOX フタを引き出します。

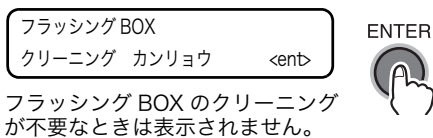
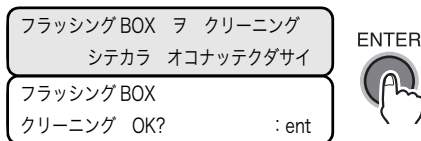
吸出しファン BOX をとめているツマミを外してから、ファン BOX フタを引き出します。

5 吸出しファン BOX フタに付着した汚れを取り除き、元のように取り付けます。

6 **ポンプカバー T を閉め、電源を入れます。**

7 **ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。**

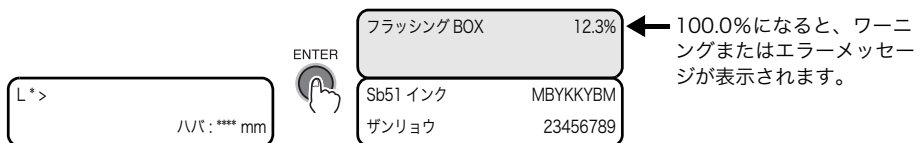
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

8 **【▼】キーで、[フラッシング BOX] を選択し、【ENTER】キーを押します。**

9 **[クリーニング カンリョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。**

フラッシング BOX のクリーニングが不要なときは表示されません。

10 **【ENTER】キーを押します。**

11 **【END】キーを数回押します。**

ローカルモードに戻ります。

■ローカルモード時に【ENTER】キーを押すと、フラッシング BOX のクリーニングまたは交換が間近になっているか確認できます。

昇華転写インク使用時のメンテナンス

昇華転写インクをお使いの場合、通常のメンテナンスに加えて次のメンテナンスが必要になります。

■F-BOX フィルターの交換 (4-48 参照)

■フラッシングトレーのクリーニング (4-50 参照)

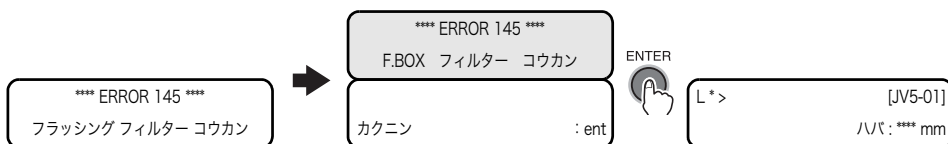
■フラッシング BOX フィルター交換の警告時期の変更 (4-52 参照)

■色材沈降による色味変化予防ワーニング表示と間隔変更 (4-55 参照)

F-BOX フィルターを交換する

昇華転写インクをお使いの場合、下記のワーニングメッセージが表示されたら、速やかに吸出しファン ＢＯＸ 上のフィルターを交換してください。

L. ＊>　[JV5-01]
!Fbox フィルター　コウカン　マヂカ

上記のメッセージを表示してからしばらく使い続けフィルター交換の時期がくると、下記のメッセージが表示され１データを作図するごとにローカルモードになり動作を停止します。ご使用を中止して、速やかに吸出しファン BOX 上のフィルターを交換してください。

重 要! **■インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

作業手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。

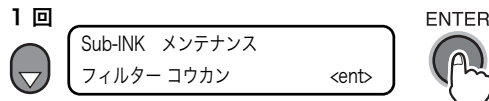
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

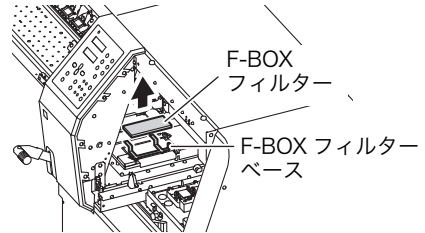
2【▼】キーで、[Sub-INK メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[フィルター コウカン] を選択し、【ENTER】キーを押します。

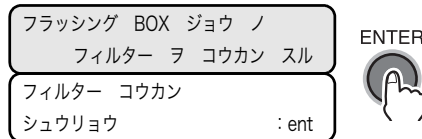
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

1 回

Sub-INK　メンテナンス
フィルター コウカン　<ent>

ENTER

4 メンテナンスカバーを開けて、F-BOX フィルターベースから F-BOX フィルターを取り外します。

5 新しい F-BOX フィルターを、F-BOX フィルターベースに取付けます。

6 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

ENTER

7 ローカルモードに戻ります。

フラッシングトレーのクリーニング

昇華転写インクをお使いの場合、電源をオンするごとに以下のメッセージが表示されますので、インクトレーのクリーニングをしてください。

フラッシングBOX　インク　トレー　ヲ
クリーニング　シテクダサイ.

インク　トレー　クリーニング
キャンセル　<　　　　　>　ジッコウ

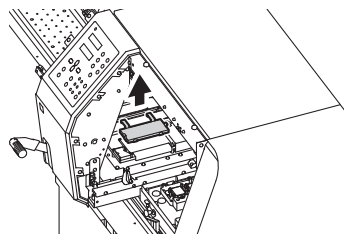
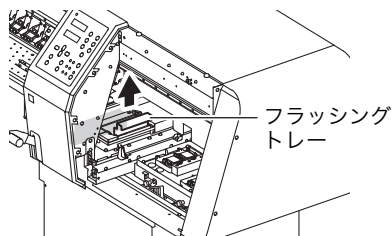
重 要! **■インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。**

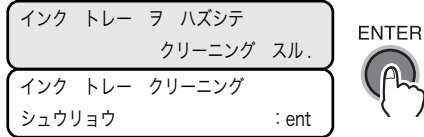
作業手順

1【▶】キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

2【▼】キーで、[Sub-INK メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3 メンテナンスカバーを開けて、F-BOX フィルターと F-BOX フィルターベースを取り外します。

4 フラッシングトレーを取り外し、トレー内に溜まったインクを清掃します。

5 フラッシングトレーを取り付けます。また、F-BOX フィルターと F-BOX フィルターベースも同様に取り付けます。

6 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

7 ローカルモードに戻ります。

■フラッシングトレーに溜まるインクは、毎日清掃してください。
■清掃を行わず使用し続けた場合、汚れによる機能低下から、機械に重大な不具合が発生する恐れがあります。

フラッシング BOX フィルター交換の警告時期を変更する［フィルター コウカン レベル］

昇華転写インクをお使いの場合に、使用環境や動作条件などによっては、フラッシング BOX 上のフィルターが交換の時期よりも早く汚れることがあります。本機能でフィルター交換の時期を標準より早めることができます。

- **レベルは 5 段階（5/5 ～ 1/5）で設定できます。**
- **レベル 5 / 5 では標準の時期で警告します。**
- **レベル 1 / 5 では、標準の２倍近く早く警告します。**
- **フィルターの汚れ具合を見て変更してください。**

重 要!
■昇華転写インクをお使いのとき、フラッシング BOX フィルターの交換をメッセージでお知らせします。

フィルターの交換が近くなると

L. ＊> [JV5-01]
!Fbox フィルター コウカン マヂカ

- 早めにフィルターを交換することをお勧めします。

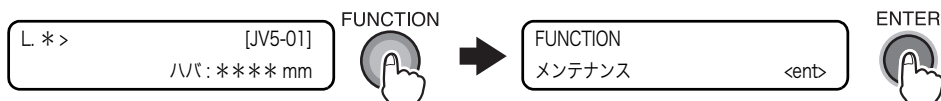
フィルターの交換時期になると

＊＊＊＊ ERROR 145 ＊＊＊＊
F.BOX フィルター コウカン

- 速やかにフィルターを交換してください。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで［メンテナンス］を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、［フラッシング BOX］を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、［フィルター コウカン レベル］を選択し、【ENTER】キーを押します。

（フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生していない場合）

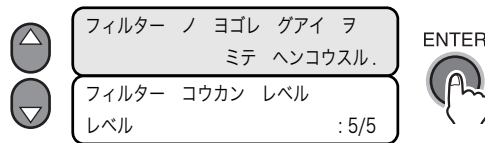
（フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生している場合）

4【▲】【▼】キーで、BOX コウカンレベルを入力します。

【ENTER】キーで確定します。

5【END】キーを数回押します。

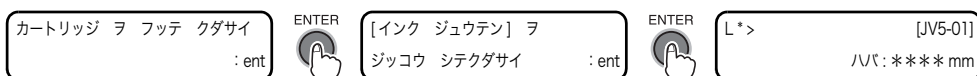
ローカルモードに戻ります。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために

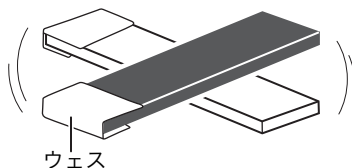
昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)

ファームウェアバージョン 6.40 以降では、インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ (色材沈降予防ワーニング) を表示してお知らせします。

■インクカートリッジを振る時期がきた場合

■インク充填を行う時期がきた場合

■この表示は、ローカルモードになっているときまたは、リモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。
印刷を中断したり、連続印刷を妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されないので、印刷の合間に【REMOTE】キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。

重 要! **■インクカートリッジの振り方**

インクカートリッジの長手方向を両手で持ち、インクを流すように左右交互に傾け、20 回ほど繰り返します。

- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に撹拌できない可能性があるため、カートリッジが縦になるくらいまで傾けてください。

ワーニングメッセージの表示時期を設定する

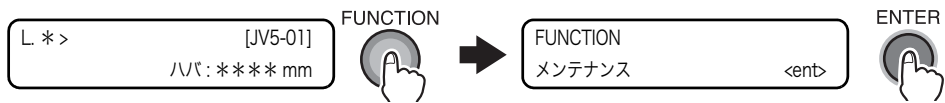
本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。

設定時間：OFF(無効)、12 ～ 120h

- **■昇華転写インク Sb52 をお使いの場合、初期状態でメッセージの表示時期が 72 時間に設定されています。**
- **■昇華転写インク Sb51、Sb53 または Sb60 をお使いの場合、初期状態で本機能が無効 (OFF) になっています。**

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで［メンテナンス］を選択後、【ENTER】キーを押します。

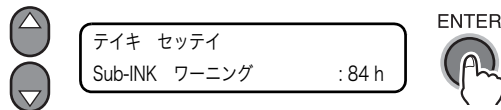
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、［テイキセッテイ］を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、［Sub-INK ワーニング］を選択し、【ENTER】キーを押します。

4【▲】【▼】キーで、動作時間を設定し、【ENTER】キーを押します。

5【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

目次 1 2 3 4 5 6 索引

ワイパーの交換 [ワイパーコウカン]

ワイパーは消耗品です。交換を促すメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。

重 要! **■ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン] を選択しないでください。**
本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

■クリーニングワイパーは別売品です。
お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

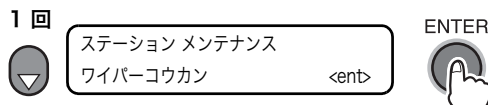
■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

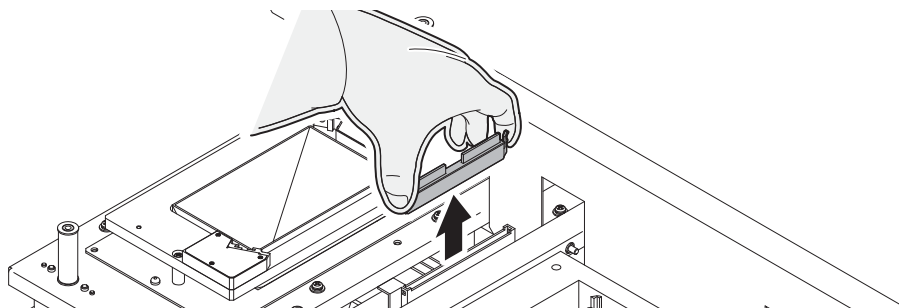
操作手順

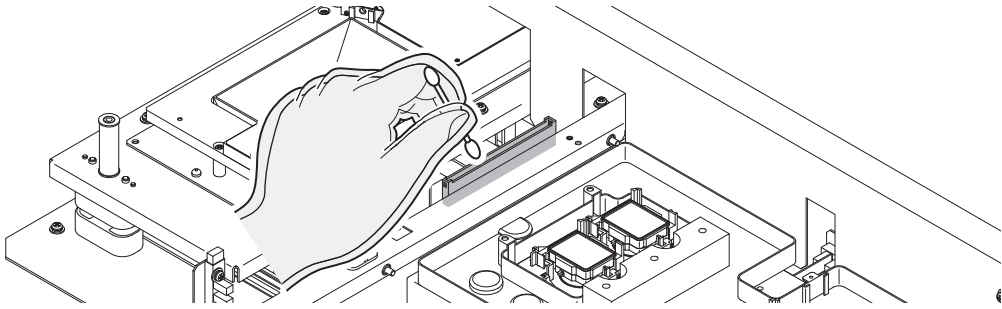
1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。

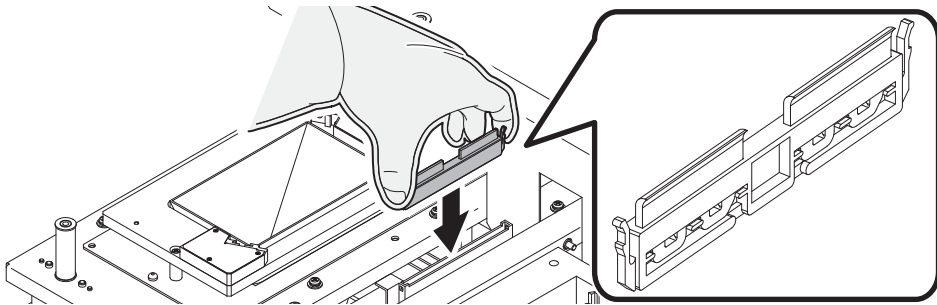
[キャリッジアウト] を表示します。

2 【▼】キーで、[ワイパーコウカン] を選択し、【ENTER】キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

3 メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを交換します。

両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。クリーニングセットの手袋を使用すると、手が汚れません。

4 ワイパーのガイド軸を綿棒、または布等で清掃します。

汚れが落ちにくい場合は、綿棒にメンテナンス洗浄液 を湿らせて清掃します。

5 両端の突起を持って新しいワイパーを差し込みます。

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

6 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

ステーション メンテナンス
シュウリョウ　　　　　　　　:ent

ENTER

7 ローカルモードに戻ります。

＊ ショキカ チュウ ＊
シバラク オマチクダサイ

→

L. ＊>
ハバ : ＊＊＊＊ mm

目次
1
2
3
4
5
6
索引

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。
切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0126) に交換してください。

■刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。

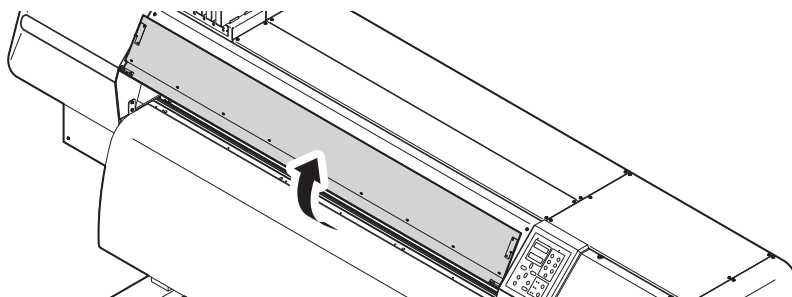
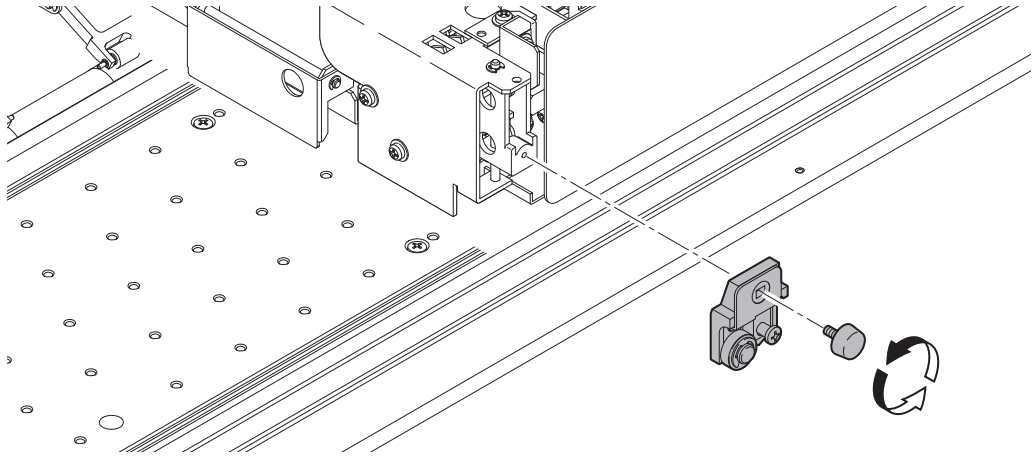
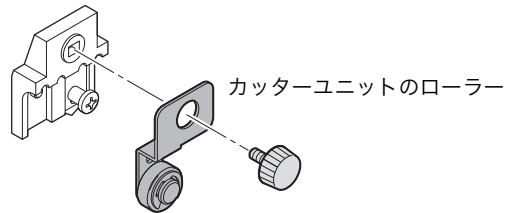
**■カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。
また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。**

■カッター刃の交換の際、下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

3 フロントカバーを開けます。

4 **カッターユニットのネジを緩め、カッターユニットを取り外します。**

5 **ローラーを取り外し、新しいカッター刃ホルダ Assy に取り付けます。**

6 **新しいカッターユニットを取り付けます。**

カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。

7 **フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。**

ローカルモードに戻ります。

L. ＊>
ハバ : ＊＊＊＊ mm

第５章
困ったときは

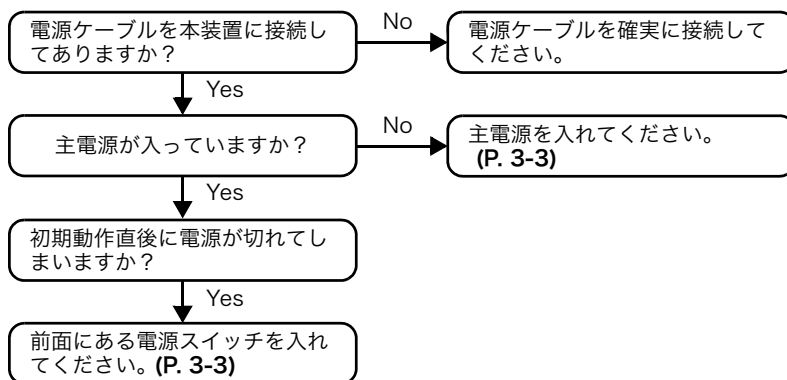
この章では ...

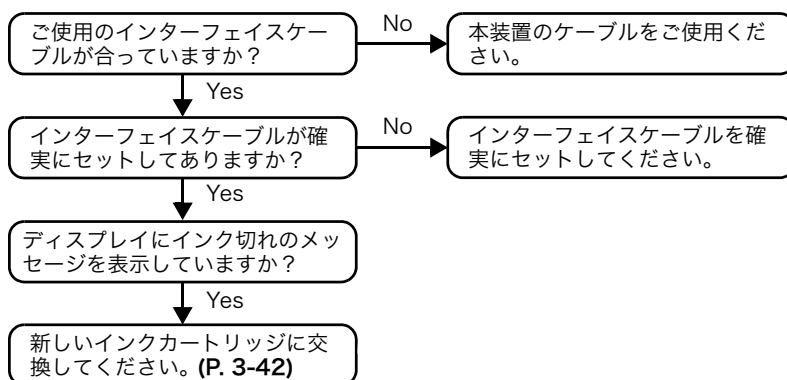
本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

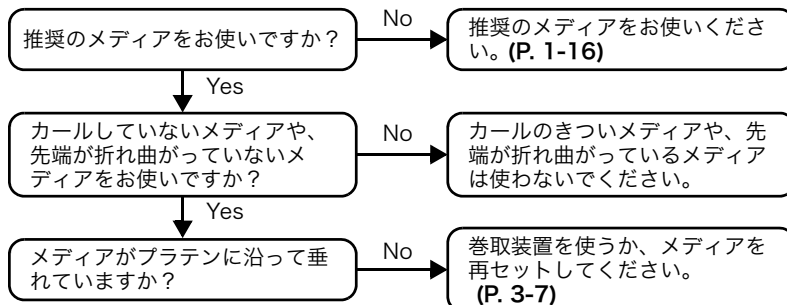
故障？と思う前に

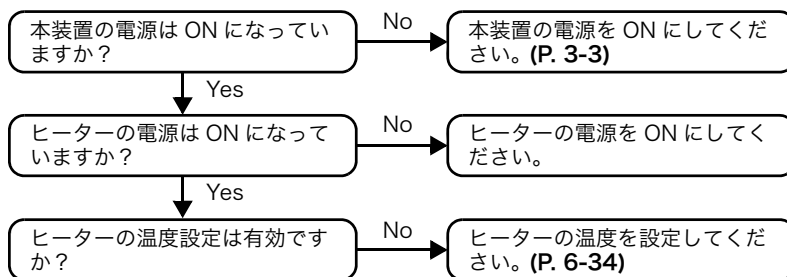
ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障？と思う前にもう一度確認してください。
対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正か、もう一度確認してください。

作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

[HEAT] ランプ , [CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

白スジ / カスレ (しぶき) / 色の濃いスジ　(ヘッド移動方向)

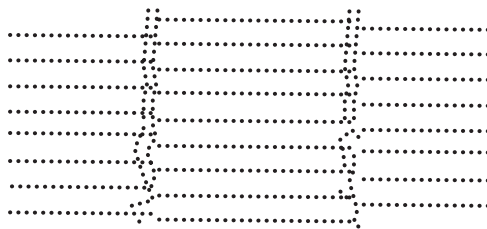
対処方法

1. ヘッドクリーニングをしてください。
   (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-23 ページ) 参照)
2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。
   (ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)
3. 「メディア補正」機能を実行してください。
   (メディア送り量の補正 [メディアホセイ] (3-27 ページ) 参照)
4. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
5. ヘッドギャップを下げて、作図を確認してください。
   (ヘッドギャップを調整する (3-5 ページ) 参照)

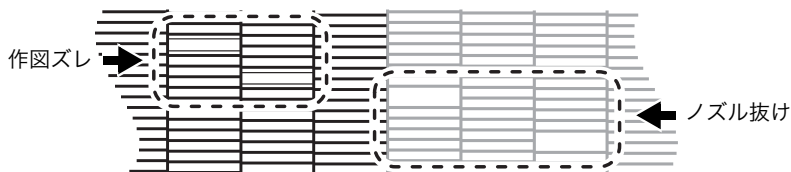
文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる

対処方法

「メディア補正」機能を実行してください。
(メディア送り量の補正 [メディアホセイ] (3-27 ページ) 参照)

往復作図でズレが発生する (飛行曲がり)

対処方法

「ドット位置補正」機能を実行してください。
(ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ] (3-29 ページ) 参照)

作図ズレやノズル抜けがある

対処方法

ヘッドクリーニングを実行してください。
(ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-23 ページ) 参照)

作図中にインク滴が落ちる (ボタ落ち)

対処方法

1. ワイパーをクリーニングしてください。
   (ワイパーセンジョウ (4-25 ページ) 参照)
2. インクキャップのクリーニングをしてください。
   (ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)
3. ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。
   (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-23 ページ) 参照)

ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング機能 **(ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-23 ページ) 参照)** 、ノズルセンジョウ機能 **(ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ] (4-10 ページ) 参照)** を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、以下の 2 機能を実行します。

[インクジュウテン]	インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します **(ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン] (3-25 ページ) 参照)**
[ハイシュツ & センジョウ]	専用の洗浄液 (別売) でヘッド、チューブ、ダンパーを洗浄します

[ハイシュツ & センジョウ]

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。

■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

操作手順

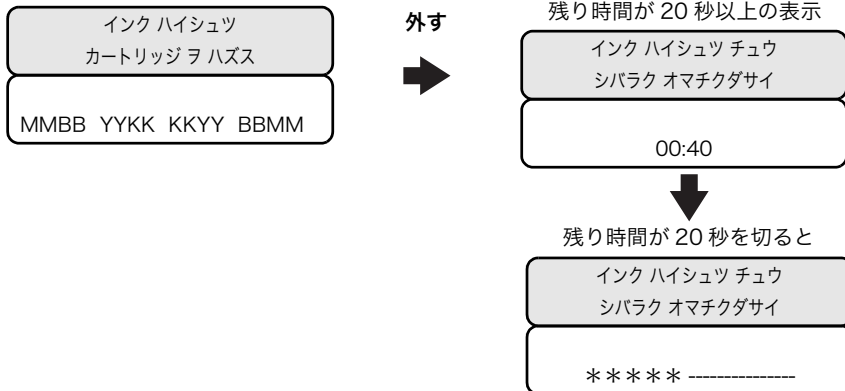
1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[ヘッド メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▼】キーで、[ハイシュツ & センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

4 インクカートリッジを外します。

インクが廃インクタンクに排出されます。

インク ハイシュツ
カートリッジ ヲ ハズス

MMBB YYKK KKYY BBMM

残り時間が 20 秒以上の表示

インク ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ

00:40

残り時間が 20 秒を切ると

インク ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ

＊＊＊＊＊ ---------------

5 以下の表示になったら、インクステーションに洗浄液カートリッジをセットします。

洗浄液を吸引します。

センジョウ エキ カートリッジ ヲ
セット スル

1234 5678 9ABC DEFG

残り時間が 20 秒以上の表示

センジョウ エキ キュウイン チュウ
シバラク オマチクダサイ

00:40

残り時間が 20 秒を切ると

センジョウ エキ キュウイン チュウ
シバラク オマチクダサイ

＊＊＊＊＊ ---------------

6 以下の表示になったら、インクステーションから洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を、廃インクタンクへ排出します。

センジョウ エキ カートリッジ ヲ
ハズス.

1234 5678 9ABC DEFG

外す

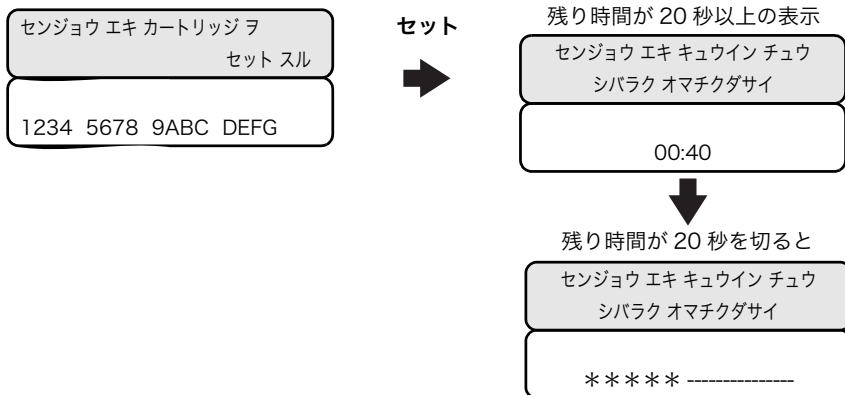
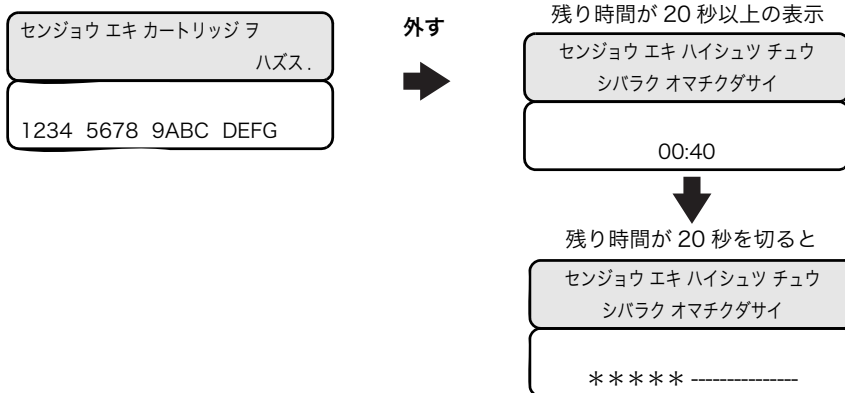
残り時間が 20 秒以上の表示

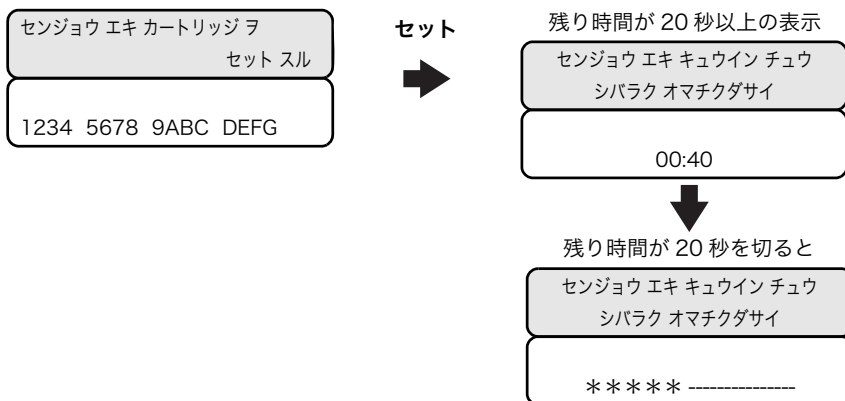
センジョウ エキ ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ

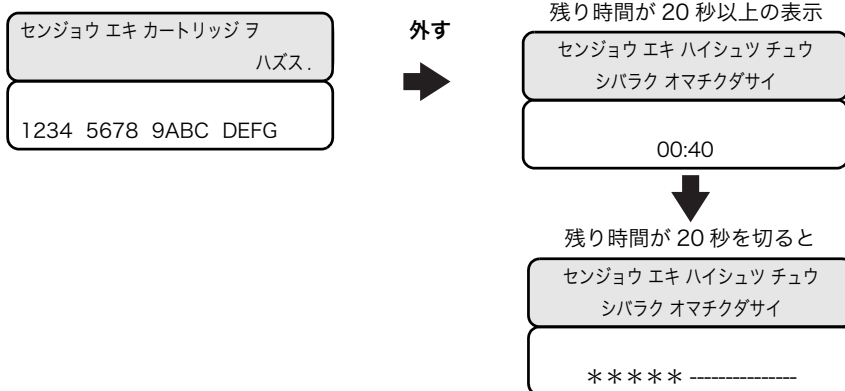
00:40

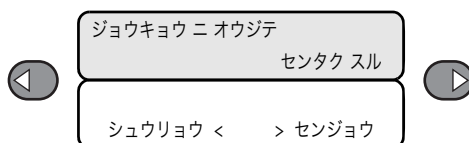
残り時間が 20 秒を切ると

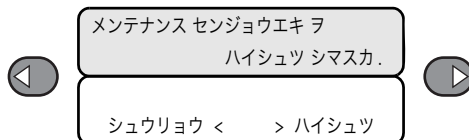
センジョウ エキ ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ

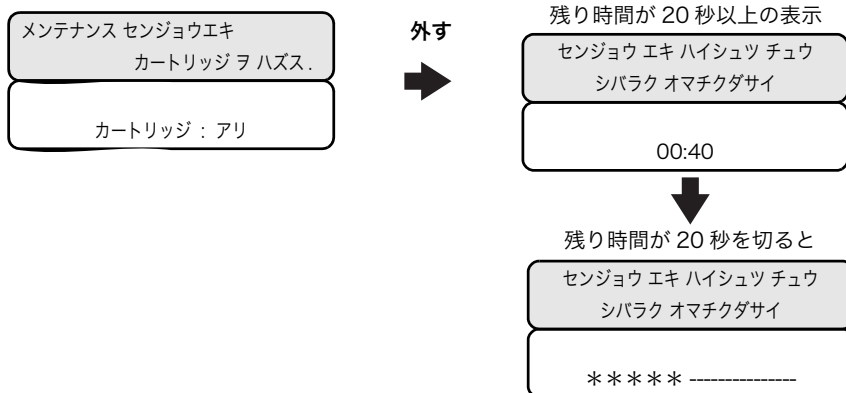
＊＊＊＊＊ ---------------

7 以下の表示になったら、インクステーションに洗浄液カートリッジをセットします。

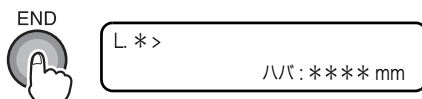
洗浄液を吸引します。

8 以下の表示になったら、インクステーションから洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を、廃インクタンクへ排出します。

9 1 回の洗浄行程が終了すると、以下の表示になります。

再度洗浄する場合は、【▶】キーを押し、手順 5 に戻ります。
終了する場合は、【◀】キーを押します。
全行程が終了すると、以下の表示になります。

10 メンテナンス洗浄液を排出せずに終了する場合は【◀】キーを押します。
メンテナンス洗浄液を排出して終了する場合は【▶】キーを押します。

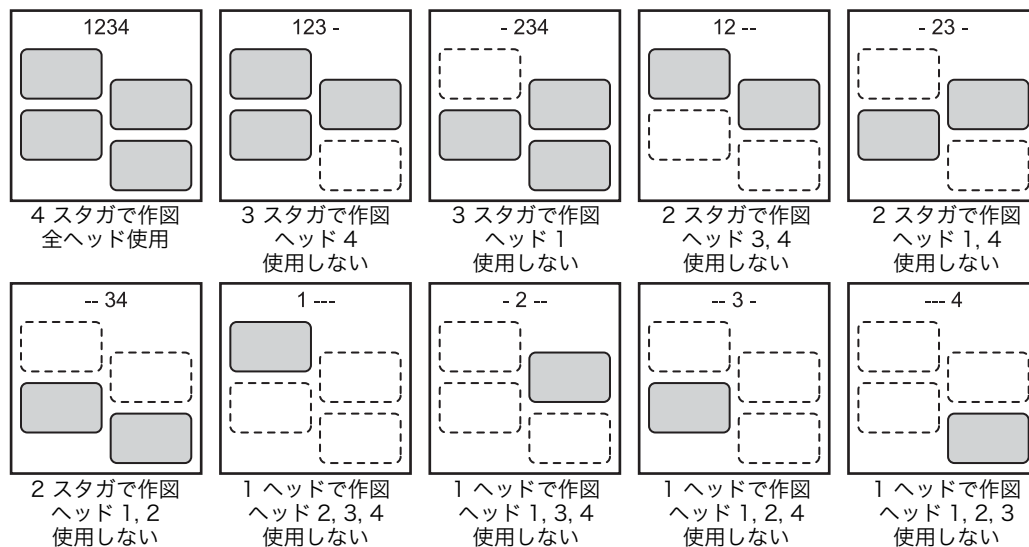
終了する場合は、【◀】キーを押し、手順 12 に進みます。

11 以下の表示になったら、インクステーションから洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を、廃インクタンクへ排出します。

12【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

重 要 ! **■インク充填の際にインクタイプを変更すると、サービスエンジニアの調整が必要になります。**

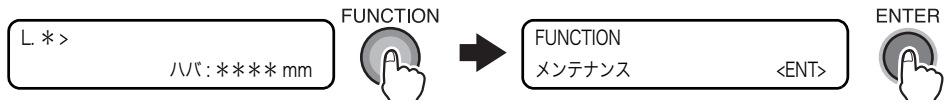
目次
1
2
3
4
5
6
索引

ノズル詰まりが解決しない場合 [ヘッドセンタク]

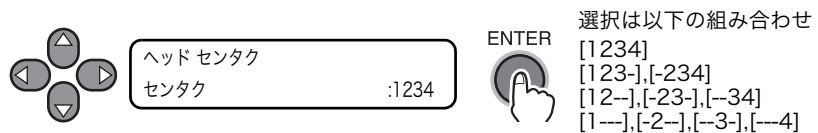
ノズル詰まりが復旧しない場合、詰まっているノズルのヘッドを使用しないように設定します。適用範囲は作図関係 (含テスト作図)、フラッシングまでで、充填等の機能は全ヘッドを対象とします。

初期値は、4 スタガで作図

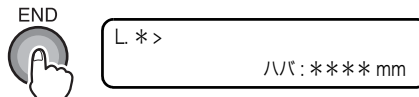
操作手順

1 **ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。**

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 **【▼】キーで、[ヘッド センタク] を選択し、【ENTER】キーを押します。**

3 **【▲】【▼】【◀】【▶】キーで、作図に使用するヘッドを選択します。**

【ENTER】キーで確定します。

4 **【END】キーを数回押します。**

ローカルモードに戻ります。

カートリッジ異常が発生したら

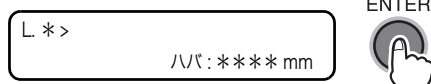
インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

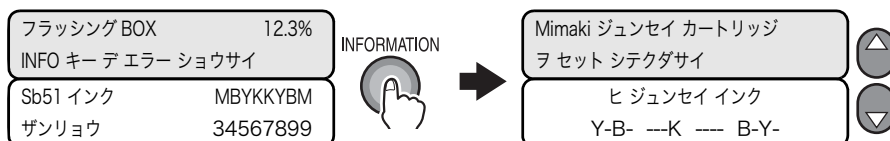
重要! **■カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。**
ノズルが詰まった場合、サービスエンジニアによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

カートリッジ異常の内容を確認できます。**(5-15 参照)**

操作手順

1 ローカルモード時に【ENTER】キーを押します。

2【INFORMATION】キーを押します。

複数のカートリッジ異常が発生している場合、【▲】【▼】キーを押すと、順番に表示します。
【INFORMATION】キーまたは【END】キーを押すと、インク残量表示に戻ります。

ERROR 202 ソウチコウセイを表示したら

本装置は、起動のたびに、装置の構成判定を行います。
構成判定では、本装置を使用するために必要な資源構成をチェックします。
装置に異常があった場合、異常箇所を切り離して起動することができます。

1	HDC チェック	本機に異常が発生しているかチェックします
2	Head 接続チェック	Head 1 〜 4 の接続に異常が発生しているかチェックします
3	Head メモリチェック	Head メモリに正常にアクセスできるかチェックします
4	SDRAM チェック	SDRAM に異常が発生しているかチェックします

1 〜 4 のチェックの結果、異常が発生している場合は、装置構成エラー (ERROR202) の表示となり、起動を中断します。
装置構成エラー表示中の【ENTER】キー操作で、チェック内容の確認、構成を限定しての装置起動ができます。

＊＊＊＊ ERROR 202 ＊＊＊＊
ソウチ コウセイ

ソウチ コウセイ ニ イジョウ ガ
ミツカリ マシタ .　:ent

チェック内容の確認

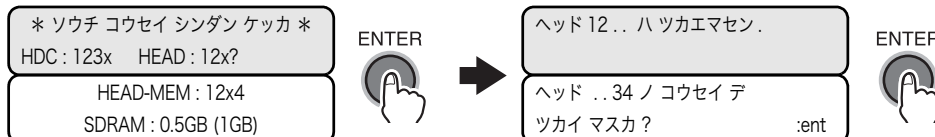
1 〜 3 のチェックでエラーが発生している場合は、異常箇所が "X"、不明箇所が "?" で表示され、4 については使用可能な SDRAM のサイズが表示されます。

＊ ソウチ コウセイ シンダン ケッカ ＊
HDC : 123x　HEAD : 12x?

HEAD-MEM : 12x4
SDRAM : 0.5GB (1GB)

ENTER

ヘッド 12 . . ハ ツカエマセン .

ヘッド . . 34 ノ コウセイ デ
ツカイ マスカ ?　:ent

ENTER

限定構成での起動確認

使用可能な装置構成が表示され、【ENTER】キーで装置の起動を再開します。
1 〜 3 で異常が発生している場合は、使用可能ヘッドが限定されます。
4 で異常が発生している場合は、ローカルモード→リモートモード移行時、作図開始時にエラー (ERROR203) を表示します。
尚、限定構成の設定内容は保存せず、起動時は常に構成判定を行います。
限定構成で装置を起動した場合は、チェック内容をガイダンス機能にて確認できます。

重 要!
■ディスプレイに、[ERROR203 SDRAM サイズ] のメッセージが表示された場合は、一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
再度、表示するときはサービスコールしてください。
(使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。)

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

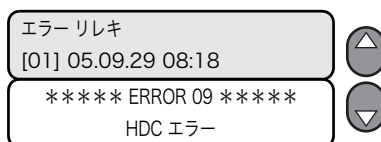
エラー履歴情報を確認するには [エラー リレキ]

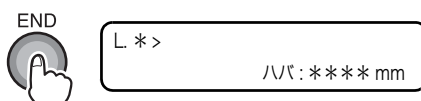
現在装置に発生しているエラー、ワーニング情報、または現在までに発生したエラー、ワーニングの履歴は、[エラーリレキ] で確認することができます。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【INFORMATION】キーを押します。

[エラー リレキ] を表示したら、【ENTER】キーを押します。

2 【▲】【▼】キーで、エラーの履歴を確認できます。

3 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

ワーニングエラー

主にヒーター、インク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
カバーヲ シメテクダサイ .	カバーオープンを検出しました。	フロントカバー、メンテカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合はサービスコールしてください。
メディア ガ アリマセン	メディア無しを検出しました。	メディアをセットしてください。**(3-7 参照)**
! バッテリー コウカン シテクダサイ	RTC の電池切れを検出しました。	サービスコールしてください。
L.1> ! ワイパーヲ コウカン シテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。 (ワイピング回数が規定値に達しました。)	ワイパーを交換してください。 ([ステーションメンテナンス]-[ワイパーコウカン] を実行してください。)**(4-48 参照)**
L.1> ! テストサクズ ヲ シテクダサイ	放置時間が長いため、ノズルの復旧が見込めません。	テストサクズを行い、ノズル抜けを確認してください。**(3-22 参照)** ノズル抜けがひどい場合は、[ステーションメンテナンス]-[ノズルセンジョウ] を実行してください。**(4-10 参照)**
ヒーター ノ デンゲン ガ ハイッテ イマセン	メディアヒーターの電源が入っていません。	メディアヒーターの電源を入れてください。**(3-15 参照)** メディアヒーターの電源をいれても、再度表示する場合はサービスコールしてください。
PRE　　PRT　　AFT ダンセン　＊＊゚C　＊＊゚C	メディアヒーターが断線しています。 (この例ではプリヒーターが断線しています。)	サービスコールしてください。
PRE　　PRT　　AFT サーミスタ　＊＊゚C　＊＊゚C	メディアヒーターのサーミスタ異常が発生しています。 (この例ではプリヒーターのサーミスタ異常が発生しています。)	サービスコールしてください。
＊＊メディア カット デキマセン＊＊	ヘッド位置が高すぎるためメディアカットができません。	手動カットしてください。 **(6-12 参照)**
L. ＊ > インクニアエンド　　MBYK----	1 供給経路あたりのインクが少なくなりました。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。**(3-42 参照)** そのままでも (インクエンドが発生するまで) 作図可能ですが、1 ファイル作図終了毎にローカルモードへ移行します。
R. ＊ > インクニアエンド　　MBYK----		
L. ＊ > インクエンド　　----KYBM	1 供給経路あたりのインクが終わりました。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。**(3-42 参照)**

エラーメッセージ	原 因	対処方法
L. ＊> カートリッジ ----KYBM	1 供給経路のインクカートリッジに問題があります。	ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認後、 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。**(3-42 参照)**
L. ＊> !CAR	装填したインクカートリッジに問題があります。 (他のワーニングと重複した場合は、[L. ＊ > !CAR/TNK/WSH/NC] となります。)	ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認してください。**(5-12 参照)**
R. ＊> !CAR		
L. ＊> !TNK	廃インクタンクに問題があります。 (他のワーニングと重複した場合は、[L. ＊ > !CAR/TNK/WSH/NC] となります。)	廃インクタンクが装着されているか、またはフル状態でないか確認してください。
R. ＊> !TNK		
L. ＊> !WSH	装填したメンテナンス洗浄液カートリッジに問題があります。(他のワーニングと重複した場合は、[L. ＊ > !CAR/TNK/WSH/NC] となります。)	メンテナンス洗浄液カートリッジが正しくセットされているか確認してください。
R. ＊> !WSH		
L. ＊> !NC	NCU に問題があります。 ([NCU]-[ノズルチェック] を OFF にしていても、電源 ON で異常を検出した場合には、表示されます。)	[NCU]-[ジョウタイヒョウジ] で、発生しているエラーを確認してください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
R. ＊> !NC		
R. ＊> !DEW	環境温度が低いため、ヘッドが結露する恐れがあります。	設置環境の温度を高くしてください。
インク ニア エンド MMBB ---- ---- ----	インクカートリッジのインクが少なくなりました。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インク エンド ---- YYKK ---- ----	インクカートリッジのインクがなくなりました。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ヒジュンセイ インク ---- ---- KKYY ----	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。
インク IC イジョウ ---- ---- ---- BBMM	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めません。	ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニング解消しない場合はサービスコールしてください。
インク シュルイ ---- ---- ---- ----	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なります。	ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー ---- ---- ---- ----	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なります。	ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。

エラーメッセージ	原 因	対処方法
カートリッジ イジョウ ---- ---- ---- ----	装填したインクカートリッジが異常です。	ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。
カートリッジ ナシ ---- ---- ---- ----	インクカートリッジがスロットに挿入されていません。	ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。
インク キゲン ギレ ---- ---- ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも (使用期限翌月までは) 使用可能です。
キゲン ギレ (1 カゲツ) ---- ---- ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています (期限切れから 1 ヶ月経過)。	赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも (使用期限翌々月までは) 使用可能です。
キゲン ギレ (2 カゲツ) ---- ---- ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています (期限切れから 2 ヶ月経過)。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ザンリョウ 0 ---- ---- ---- ----	インクカートリッジの残量が 0 です。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
! ハイ インクタンク FULL/NONE	廃インクタンクが装着されていないか、廃インクタンクがフル状態です。	廃インクタンク装着、または交換してください。**(4-43 参照)**
! ハイ インクタンク FULL マヂカ	廃インクタンクがフル間近です。	廃インクタンクを交換してください。**(4-43 参照)**
! センジョウ エキ エンド	洗浄カートリッジエンドを検出しました。	メンテナンス洗浄カートリッジを交換してください。
! センジョウ カートリッジ ナシ	洗浄カートリッジが挿入されていません。	メンテナンス洗浄カートリッジを挿入してください。
! センジョウ カートリッジイジョウ	洗浄カートリッジに異常があります。	メンテナンス洗浄カートリッジを確認してください。
! フラッシング BOX クリーニング	フラッシング BOX のクリーニング時期です。	フラッシング BOX クリーニングの操作をしてください。 **(4-45 参照)**
! フラッシング BOX コウカン マヂカ	フラッシング BOX の交換時期が近づいています。	継続使用は可能ですが、使い続けると交換時期となり、1 データ作図するごとにローカルモードになり動作が停止します。
! フラッシング BOX コウカン	フラッシング BOX の交換時期です。	フラッシング BOX の交換が必要です。サービスコールをしてください。
!Fbox フィルター　コウカン　マヂカ	昇華転写インク使用時、フラッシング BOX 上のフィルター交換時期が近づいています。	フィルターの交換をお勧めします。
! NCU キリハナシ チュウ	NCU に問題があります。 ([NCU]-[ノズルチェック] を OFF にしていても、電源 ON で異常を検出した場合には、表示されます。)	[NCU]-[ジョウタイヒョウジ] で、発生しているエラーを確認してください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＊＊センジョウエキ ミジュウテン＊＊	メンテナンス洗浄液が充填されていません。	メンテナンス洗浄液を充填してください。 [メンテナンス]-[ヘッドメンテナンス]-[メンテナンス センジョウエキ] を実行してください。**(4-20 参照)**

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原 因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 01 ＊＊＊＊＊ MAIN ROM	基板系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 02 ＊＊＊＊＊ MAIN RAM	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER +3.3V	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER +5V	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER +24V	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER +42V	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 04 ＊＊＊＊＊ フラッシュ ROM	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 06 ＊＊＊＊＊ SD-RAM	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ ヘッド (----)	ヘッドに異常を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ デンアツ (----)	ヘッドに異常を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ デンゲン 01 (----)	装置準備中にヘッド電源の異常を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ デンゲン 02 (----)	印刷中にヘッド電源の異常を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ リニアエンコーダー : センサー	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ リニアエンコーダー : ホウコウ	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ リニアエンコーダー : カウント	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ FPGA エラー	制御基板に異常が発生しました。(FPGA PDC)	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ HDC エラー (----)	制御基板に異常が発生しました。(FPGA HDC)	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ ヒートシンク (----)	制御基板で異常温度を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ ビシンドウ (----)	制御基板に異常が発生しました。(FPGA HDC)	

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 10 ＊＊＊＊＊ コマンド エラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 11 ＊＊＊＊＊ パラメーター エラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 16 ＊＊＊＊＊ MRL コマンド	本装置で対応していないコマンド体系のデータが送信されました。	本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 20 ＊＊＊＊＊ I/F ボード 01	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 20 ＊＊＊＊＊ I/F ボード 02	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 20 ＊＊＊＊＊ I/F ボード 03	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 20 ＊＊＊＊＊ I/F ボード 04	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 21 ＊＊＊＊＊ I/F ナシ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 23 ＊＊＊＊＊ ホスト I/F	IEEE-1394 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 24 ＊＊＊＊＊ I/F イニシャル	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ FULL-SPEED	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。 (Full-Speed モード接続)	ホスト PC が USB2.0 インターフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ パケットサイズ オーバー	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB プロトコル	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB カンキョウ	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB データー	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 30 ＊＊＊＊＊ オペレーション エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。ディスプレイ 1 に、エラーの原因が表示されます。	原因を解消して、正しいオペレーションをしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 34 ＊＊＊＊＊ ミサクズ データー アリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 40 ＊＊＊＊＊ モーターアラーム X	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 41 ＊＊＊＊＊ モーターアラーム Y	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 42 ＊＊＊＊＊ X オーバー カレント	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 43 ＊＊＊＊＊ Y オーバー カレント	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 45 ＊＊＊＊＊ キャッピング : センサー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 45 ＊＊＊＊＊ キャッピング : パラメーター	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 46 ＊＊＊＊＊ ワイパー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 47 ＊＊＊＊＊ ステーション	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 49 ＊＊＊＊＊ カッター ソレノイド	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊ メディア ケンシュツ	用紙検出ができませんでした。メディアのセット位置、使用メディアが不適当です。	メディアを正しくセットしても、エラーを表示する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊ メディア アツサ ケンシュツ	用紙厚さ検出ができませんでした。	メディア厚を入力するか、END キーを選択して再度メディア検出を実行してください。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 51 ＊＊＊＊＊ Y ゲンテン	Y 原点検出ができませんでした。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 53 ＊＊＊＊＊ ヘッド タカサ ゲンテン	ヘッド高さ原点検出ができませんでした。	
＊＊＊＊＊ ERROR 54 ＊＊＊＊＊ メディア ジャム	紙詰まりを検出しました。	フロントカバーを開け、クランプレバーを引き上げて、紙詰まりを解消してください。 紙詰まりを解消しても、エラー表示する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 58 ＊＊＊＊＊ ポジションエンコーダー : ホウコウ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 58 ＊＊＊＊＊ ポジションエンコーダー : カウント	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 59 ＊＊＊＊＊ カッターエンコーダー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 64 ＊＊＊＊＊ マキトリ デンアツ	AMF メディア巻取モータの異常電圧を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 64 ＊＊＊＊＊ クリダシ デンアツ	AMF メディア操出モータの異常電圧を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 64 ＊＊＊＊＊ マキトリ デンアツ (small)	小型巻取モータの異常電圧を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 65 ＊＊＊＊＊ マキトリ テンションバー	巻取エンコーダの検出でエラーが発生しました。 (エンコーダ / センサの異常またはメディア未装着)	AMF メディア巻取装置を使用しない場合は、設定を OFF にしてください。**(6-22 参照)** メディアのセット状態を確認しても再度表示するときは、サービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 66 ＊＊＊＊＊ クリダシ テンションバー	操出エンコーダの検出でエラーが発生しました。 (エンコーダ / センサの異常またはメディア未装着)	AMF メディア操出装置を使用しない場合は、設定を OFF にしてください。**(6-22 参照)** メディアのセット状態を確認しても再度表示するときは、サービスコールしてください。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ マキトリ ユニット 00	電源 ON 時に、AMF メディア巻取装置の異常を検出しました。 (ユニット未装着、またはセンサ状態が異常)	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ マキトリ ユニット 01	AMF メディア巻取装置の未接続状態を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ マキトリ ユニット 04	AMF メディア巻取装置のセンサ異常状態を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ クリダシ ユニット 00	電源 ON 時に、AMF メディア操出装置の異常を検出しました。 (ユニット未装着、またはセンサ状態が異常)	
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ クリダシ ユニット 01	AMF メディア操出装置の未接続状態を検出しました。	
＊＊＊＊＊ ERROR 67 ＊＊＊＊＊ クリダシ ユニット 04	AMF メディア操出装置のセンサ異常状態を検出しました。	
＊＊＊＊ ERROR 116 ＊＊＊＊ NCU I/F 00	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。 一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 116 ＊＊＊＊ NCU I/F 01	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 120 ＊＊＊＊ カンキョウオンド ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) です。	設置環境の温度を使用環境温度範囲内にしてください。
＊＊＊＊ ERROR 121 ＊＊＊＊ カンキョウオンド タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) です。	
＊＊＊＊ ERROR 122 ＊＊＊＊ カンキョウオンド ヒクイ（ケツロ）	環境温度が低いため、ヘッドが結露する恐れがあります。	設置環境の温度を高くしてください。 (そのまま使用する場合は ENTER キーを選択します。)
＊＊＊＊ ERROR 134 ＊＊＊＊ メディアエンコーダー : センサー	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (カウントできない)	[メディアオクリセッテイ]-[オクリホウシキ] でノーマルを選択するか、一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 134 ＊＊＊＊ メディアエンコーダー : ホウコウ	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (取り付け方向の異常)	
＊＊＊＊ ERROR 134 ＊＊＊＊ メディアエンコーダー : ゲンテン	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (原点検出ができない)	

エラーメッセージ	原 因	対処方法
＊＊＊＊ ERROR 135 ＊＊＊＊ メディア オクリ イジョウ	メディア送りで異常が発生しました。	メディアが正しくセットされているか、またはメディアの終わりではないかを確認してください。 [セッテイ]-[メディアオクリセッテイ]-[ドウサテスト] でダイレクト送り方式に適したメディアかテストしてください。 それでも解消しない場合は、[セッテイ]-[メディアオクリセッテイ]-[オクリホウシキ] で " ノーマル " を選択するか、一度、電源を OFF にしてしばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 142 ＊＊＊＊ インク モレ (--/--)	インク漏れを検出しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 143 ＊＊＊＊ カートリッジ ソレノイド	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 143 ＊＊＊＊ センジョウ ソレノイド	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 144 ＊＊＊＊ カートリッジ セット！	制御系に異常が発生しました。	カートリッジをセットしてください。
＊＊＊＊ ERROR 145 ＊＊＊＊ フラッシング BOX コウカン	フラッシング BOX の交換時期を過ぎています。	サービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 145 ＊＊＊＊ フラッシング BOX クリーニング	フラッシング BOX のクリーニング時期です。	フラッシング BOX を速やかにクリーニングしてください。 **(4-45 参照)**
＊＊＊＊ ERROR 145 ＊＊＊＊ F.BOX　フィルター　コウカン	昇華転写インク使用時、フラッシング BOX 上のフィルター交換時期になりました。	フィルターを速やかに交換してください。**(4-48 参照)**
＊＊＊＊ ERROR 146 ＊＊＊＊ クリーニング　デキマセン	1 供給経路あたりのインクが少ないか終わったため、自動クリーニングが行えません。	ローカルモードで供給経路を確認して、カートリッジを交換してください。**(3-42 参照)**
＊＊＊＊ ERROR 160 ＊＊＊＊ NCU ケンシュツ 00	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して作図継続します。次の作図ファイルからは、再度ノズル抜け検出機能を有効にします。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 160 ＊＊＊＊ NCU ケンシュツ 01	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 160 ＊＊＊＊ NCU ケンシュツ 02	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原 因	対処方法
＊＊＊＊ ERROR 160 ＊＊＊＊ NCU ケンシュツ 03	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して作図継続します。次の作図ファイルからは、再度ノズル抜け検出機能を有効にします。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 160 ＊＊＊＊ NCU ケンシュツ 04	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 161 ＊＊＊＊ NCU コウカン	制御系に異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 161 ＊＊＊＊ NCU ショウヒ デンリュウ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
＊＊＊＊ ERROR 162 ＊＊＊＊ NCU デンゲン デンアツ	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 163 ＊＊＊＊ NCU センサー	制御系に異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 163 ＊＊＊＊ NCU センサー ケンシュツ エラー	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
＊＊＊＊ ERROR 164 ＊＊＊＊ NCU FPGA エラー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 200 ＊＊＊＊ ヘッド メモリー (----)	ヘッドユニットメモリーに異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 201 ＊＊＊＊ バックアップ メモリー	基板系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 201 ＊＊＊＊ バックアップ データー	バックアップデーターに異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合は、サービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 202 ＊＊＊＊ ソウチ コウセイ	制御系に異常が発生しました。	サービスコールしてください。 【ENTER】キーを押してエラーの詳細を確認できます。 更に【ENTER】キーを押すと、動作可能な構成に変更して起動することができます。 **(5-13 参照)**
＊＊＊＊ ERROR203 ＊＊＊＊ SDRAM サイズ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。 (使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま継続使用できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。)

エラーメッセージ	原 因	対処方法
＊＊＊＊ ERROR 207 ＊＊＊＊ スルーレート (----)	印刷中の波形制御に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 207 ＊＊＊＊ オーバーフロー (----)		
＊＊＊＊ ERROR 207 ＊＊＊＊ アンダーフロー (----)		
＊＊＊＊ ERROR 207 ＊＊＊＊ ハケイ イジョウ (----)		
＊＊＊＊ ERROR 210 ＊＊＊＊ インターロック センサー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 211 ＊＊＊＊ ヒーター オンド (--/--/--)	メディアヒーターの温度異常を検出しました。	
＊＊＊＊ ERROR 211 ＊＊＊＊ カオン ヒーター オンド (----)	ヘッド加温ヒーターの温度異常を検出しました。	
＊＊＊＊ ERROR 211 ＊＊＊＊ カオン ヒーター ダンセン (----)	ヘッド加温ヒーターが断線しました。	
＊＊＊＊ ERROR 211 ＊＊＊＊ カオン ヒーター サーミスタ (----)	ヘッド加温ヒーターのサーミスタに異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 212 ＊＊＊＊ ハイ インクタンク センサー	制御系に異常が発生しました。	
＊＊＊＊ ERROR 250 ＊＊＊＊ Y ザヒョウ	スキャン動作時に異常を検出しました。	
＊＊＊＊ ERROR 251 ＊＊＊＊ システム エラー	システムエラーが発生しました。	

第 6 章
各機能の操作方法

この章では ...

プリンタの機能メニューでよく使われる機能について、目的別にその操作方法とディスプレイのメッセージ例を紹介しています。

FUNCTION 機能の導入

FUNCTION 機能には、以下の 5 つの機能があります。

機能名称	概　要	参照先
セッテイ機能	作図品質に関する、各種設定を行います	P. 6-3
メンテナンス機能	本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作です	P. 6-13
マシンセッテイ機能	本装置の各種情報を表示したり、時刻や単位を設定します	P. 6-18
NCU 機能	ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します	P. 6-29
DISPLAY 機能	装置で使用する言語を設定します	P. 6-32

セッテイ機能の導入

作図条件をまとめて登録する (タイプ登録)

ファンクションモードのセッテイ機能には 17 項目（昇華転写インクをお使いの場合は 18 項目）の機能があります。
セッテイリセット機能を除く 16 項目（昇華転写インクをお使いの場合は 17 項目）の機能は、それぞれ 4 タイプに登録できます。
メディアの種類別にタイプを登録しておくと、違う種類のメディアに交換した場合に容易に作図条件等を変更できます。

	昇華転写インクをご使用の場合	ソルベントインクをご使用の場合
タイプ 1	昇華転写紙 A	ターポリン 1 用
タイプ 2	昇華転写紙 B	ターポリン 2 用
タイプ 3	昇華転写紙 C	FF (Flexible Face) 用
タイプ 4	昇華転写紙 D	塩ビマット

タイプ登録の例

設定機能一覧

各セッテイ機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　要	参照先
メディアホセイ	メディアの送り量を補正します	P. 6-5
メディアオクリセッテイ	メディア送りに関係する項目を設定します	P. 6-5
ヒーター	ヒーターの状態を設定します	P. 6-5
サクズホウシキ	作図品質、作図方向を設定します	P. 6-6
カサネヌリ	インクの重ね塗りを行います	P. 6-8
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定します	P. 6-8
オートカット	作図後、自動でメディアをカットします	P. 6-9
プリフィード	作図前にメディアを前後搬送させます	P. 6-9
マージン	メディア左右の余白を設定します	P. 6-9
カラーパターン	メディア右端にカラーパターンを作図します	P. 6-10
リフレッシュ	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います	P. 6-10
キュウチャク	メディアの吸着する力を設定します	P. 6-10
ユウセンジュンイ	優先する設定 (パネル / ホスト) を決定します	P. 6-11

目次
1
2
3
4
5
6
索引

機能名称	概 要	参照先
オートクリーニング	作図ごと、ヘッドを自動的にクリーニングします	P. 6-11
サクズチュウメンテナンス*1	作図中、ヘッドを自動的に定期クリーニングまたはワイピングします	P. 6-11
ヘッド ギャップ	ヘッド ギャップ (メディアから、ヘッドノズル面までの高さ) を設定します	P. 6-12
メディアケンシュツ	メディアの検出方法を設定します	P. 6-12
セッテイリセット*2	設定条件を初期化します	P. 6-12

*1. 専用昇華転写インクをお使いの場合だけ、[サクズチュウメンテナンス] の設定ができます。
*2. タイプに登録できるのは、[セッテイリセット] を除く各項目です。

セッテイ機能の設定

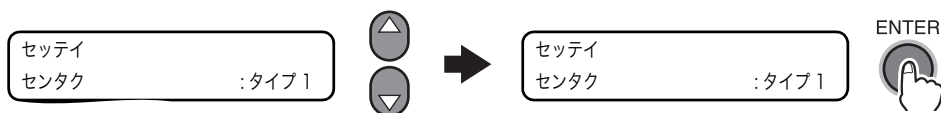
セッテイ機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▲】【▼】キーで、タイプ 1 から 4 を選び、【ENTER】キーを押します。

各作図条件を設定します。

3 各セッテイ機能を、選択・設定します。

セッテイ機能の概要

メディア補正 (3-27 参照)

メディアの種類を交換した場合、またはヒーターの温度を変更した場合は、必ずメディアの厚みによる送り量を補正します。(補正値 : -255 ～ 255)

メディア送り設定

メディア送りに関係する項目を設定します。
設定項目は、下表の通りです。

オクリホウシキ	メディアの送り量検出方式を切り替えます
ソクドキリカエ	メディアを送る速度を設定します
ドウサテスト	メディアエンコーダを使用したダイレクト検出方式に適したメディアかどうか、テストを行います

オクリホウシキ
メディアの送り量検出方式を選択します。
設定値 : [ダイレクト , ノーマル]

ダイレクト	モーターエンコーダーによる送り量制御 + メディアエンコーダーによる位置検出 (初期値)
ノーマル	モーターエンコーダーによる送り量制御

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

ソクドキリカエ
メディア送り速度を設定します。(標準速度 : 100%)
重いメディア・貼り付き易いメディア・ロール形状がたわんでいるメディアなど、送り精度に影響がある場合、送り速度を遅くすることができます。
設定値 : [200% ～ 10%]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

ドウサテスト
メディアエンコーダを使用した、ダイレクト検出方式に適したメディアかどうかのテストを実行します。
フィード誤差が 0.4 % 以上の場合は、フィードホウシキの推奨モードが表示されます。

ヒーター (6-34 参照)

プラテン内に内蔵されているプリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターについて設定します。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

作図方式

作図に関する各種設定を行います。

DRAFT 品質

DRAFT モード (Y 方向解像度 540dpi) の作図品質を設定します。
設定値 : [ヒョウジュン , キレイ , ハヤイ]
品質の項目選択中に、【FUNCTION】キーを押すことにより、解像度毎のパス数、高速作図 ON / OFF の設定が可能になります。
設定可能な要素の組み合わせは下表の通りです。

DRAFT モード解像度	4 色		6 色		DRAFT 品質
	Pass	高速作図	Pass	高速作図	
540x720 dpi	4	ON / OFF	8	ON / OFF	ハヤイ
	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ヒョウジュン
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	キレイ
540x900 dpi	10	ON / OFF	10	ON / OFF	ハヤイ
	20	ON / OFF	20	ON / OFF	ヒョウジュン
	40	ON / OFF	40	ON / OFF	キレイ
540x1080 dpi	6	ON / OFF	12	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	24	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	48	ON / OFF	キレイ

表 6-1：DRAFT 品質で設定可能な要素

FINE 品質
Fine モード (Y 方向解像度 720dpi) の作図品質を設定します。
設定値 : [ヒョウジュン , キレイ , ハヤイ]
品質の項目選択中に、【FUNCTION】キーを押すことにより、解像度毎のパス数、高速作図 ON / OFF の設定が可能になります。
設定可能な要素の組み合わせは下表の通りです。

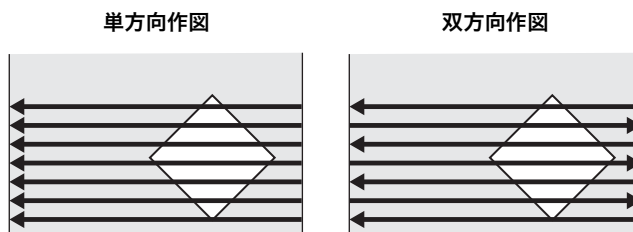
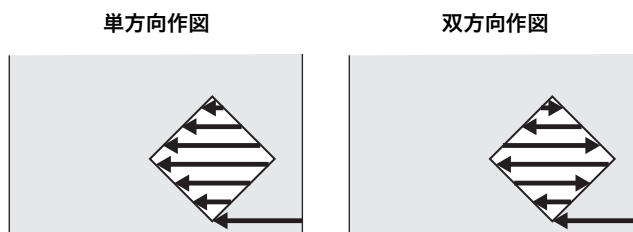
FINE モード解像度	4 色		6 色		FINE 品質
	Pass	高速作図	Pass	高速作図	
720x540 dpi	6	ON / OFF	6	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	12	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	24	ON / OFF	キレイ
720x720 dpi	4	ON / OFF	8	ON / OFF	ハヤイ
	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ヒョウジュン
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	キレイ
720x1080 dpi	6	ON / OFF	12	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	24	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	48	ON / OFF	キレイ
720x1440 dpi	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ハヤイ
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	ヒョウジュン
	32	ON / OFF	64	ON / OFF	キレイ

表 6-2 : FINE 品質で設定可能な要素

尚、Super fine モード (1440x1440) の作図品質は固定です。

スキャン方向
作図方向を設定します。
設定値 : [タンホウコウ , ソウホウコウ]

目次
1
2
3
4
5
6
索引

ロジカルシーク
ロジカルシーク ON / OFF を設定します。
設定値 : [ON, OFF]

ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き

ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き

重ね塗り

重ね塗り回数を設定します。
設定値 : [1 〜 9 回]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

乾燥時間

インクの乾燥時間の設定を行います。

スキャン
スキャン毎のインク乾燥時間を設定します。双方向作図の場合は、往路 / 復路のスキャン毎に一時停止します。
設定値 : [0.0 〜 19.9sec] (0.1sec 単位)

作図エンド
作図終了後のインク乾燥時間を設定します。
設定値 : [0 〜 999sec] (1sec 単位)
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

オートカット

作図終了後、メディアを自動でカットするか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
作図エンド時間が設定されている場合は、その時間が経過した後、メディアカットします。
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

プリフィード

メディアの張り付きを防止するため、作図前にメディアを一定量前後にフィードするか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

マージン

メディアの左右の余白を設定します。

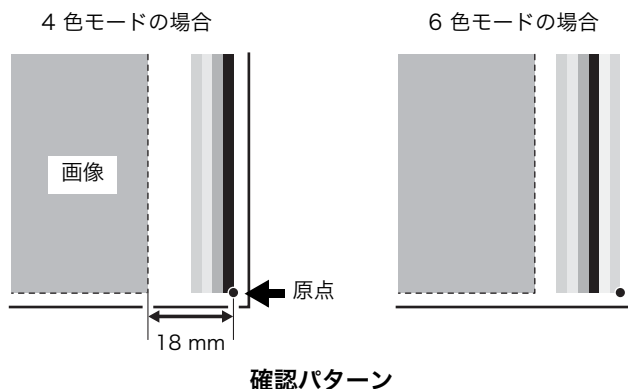
左マージン
メディアの左余白を設定します。
設定値 : [-10 ～ 85mm] (1 ㎜単位)

右マージン
メディアの右余白を設定します。
設定値 : [-10 ～ 85mm] (1 ㎜単位)
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

カラーパターン

メディアの右端に、ノズル抜けを確認するパターンを作図するか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
パターンを作図する場合は、画像データの作図位置が原点からスキャン方向に 18 ㎜ 移動します。
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

確認パターン

リフレッシュ

ヘッドのリフレッシュレベル (ランニングフラッシュ間隔) を設定します。
設定値 : [0 〜 3] (レベルを高くすると間隔が短くなります)
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

吸着

吸着ファンの強さを設定します。
メディア検出中、メディアカット、JOG 動作中は設定に関わらず [ヒョウジュン] となります。
設定値 : [ツヨイ , ヒョウジュン , ヤヤヨワイ , ヨワイ , OFF]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

OFF 以外の項目選択中に【FUNCTION】キーを押すことにより、オンライン作図終了後から吸着ファンを停止するまでの時間設定が可能になります。(ただし、リモートモード中のみ有効です)
設定値 : [0 〜 60min、レンゾク] (10min 単位)
0min に設定すると、作図が終了するときに吸着ファンも停止します。
レンゾクに設定すると、リモートモード中は作図に関わらず吸着ファンが回り続けます。
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

優先順位

セッテイ機能の以下の項目について、装置の設定内容を優先するかホストからの指定を優先するか選択します。
[メディアホセイ]、[ヒーター]、[サクズホウシキ]、[カサネヌリ]、[カンソウジカン]、[オートカット]、[プリフィード]、[マージン]、[カラーパターン]、[リフレッシュ]、[キュウチャク]、[オクリソクド]、[オクリホウシキ]
設定値 : [コベツセッテイ , スベテホスト , スベテパネル]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

コベツセッテイ	個々にパネル優先 / ホスト優先を設定します
スベテホスト	全項目をホスト優先に設定します
スベテパネル	全項目をパネル優先に設定します

ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目は、パネルの設定内容を有効にします。

オートクリーニング (3-37 参照)

作図前に、自動的にヘッドをクリーニングするか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で各作図前に行います。
オートクリーニング ON / OFF 選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。

クリーニング動作間隔
クリーニングを行う作図間隔を設定します。
設定値 : [10 〜 30000 ㎜] (初期値 : 1000 ㎜)

クリーニングタイプ
オートクリーニングタイプを設定します。
設定値 : [ソフト , ノーマル , ハード]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

作図中メンテナンス (3-39 参照)

作図中、自動的にヘッドをクリーニングまたはワイピングするか設定します。
設定値 : [クリーニング , ワイピング , OFF]
クリーニングは、各作図を開始してから動作間隔単位で行います。
クリーニング 選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。
ワイピングは各作図を開始してからのスキャン回数間隔単位で行います。
ワイピング選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

クリーニング動作間隔
クリーニングを行う作図間隔を設定します。
設定値 : [0.1 〜 100.0 m] (初期値 : 1.0 ㎜)

クリーニングタイプ

作図中クリーニングタイプを設定します。
設定値 : [ソフト , ノーマル , ハード]

ワイピング動作間隔

ワイピングを行う作図間隔を設定します。
設定値 : [10 〜 9990 回]（10 回単位 / 初期値 : 50 回）

ヘッドギャップ (3-5 参照)

ヘッドギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
設定値 : [1.5 ㎜〜 7.0 ㎜] (0.1 ㎜単位 / 初期値 : 1.5 ㎜)
尚、ヘッドギャップの上限はメディア厚により変化します。
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

メディア検出

検出方法

メディアの検出方法を設定します。
設定値 : [セレクト , ハバ] (初期値 : セレクト)

セレクト	メディア検出時、ロールメディア (幅のみ検出) か、リーフメディア (幅、長さ検出) かを選択します
ハバ	メディア検出時、キー入力なしで幅のみ検出します

カット時検出

メディアカット時の検出タイプを設定します。
設定値 : [リョウエッジ , ヒダリエッジ , ミギエッジ , ナシ] (初期値 : リョウエッジ)
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

セッテイリセット

選択されているユーザータイプ (1 〜 4) のセッテイ機能の内容を初期値にします。

メンテナンス機能の導入

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作です。
ファンクションメニューの [メンテナンス] を選択し、各詳細を設定してから実行します。
また、【ST.MAINT】キーを押すことにより、ステーション部のメンテナンスを個別に実行することができます。

目次
1
2
3
4
5
6
索引

設定機能一覧

各メンテナンス機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　要	参照先
ステーションメンテナンス	ステーション内部やインク排出路の清掃、ワイパー交換などを行います。 (キャリッジアウト、ワイパーコウカン、ノズルセンジョウ、ハイロセンジョウ、ホカンセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ワイパーセンジョウ)	P. 4-7
キャリッジメンテナンス	ヘッドを装置左端まで移動させ、ヘッド周辺のメンテナンスを行います。	P. 4-28
ヘッドメンテナンス	ヘッドの各種メンテナンスを行います。 (インクジュウテン、ハイシュツ & センジョウ、メンテナンス センジョウエキ)	P. 3-25 P. 4-20 P. 5-6
フラッシング BOX	フラッシング BOX のクリーニングを行った後、クリーニングの実施を装置に認識させるために行います。	P. 4-45
ドットイチホセイ	ヘッド高さやインク種別を変更した場合など、ドット位置を補正します。	P. 3-29
PG チャクダンチョウセイ	ヘッドの高さを変更した際、双方向作図のドットの着弾ズレを補正するための基準値を設定します。 インクの種類を変更した時、インクの初期充填を行った際に、実行する必要があります。	P. 3-20
スリープセッテイ	ノズル詰まりを防止するために、フラッシング動作とヘッドクリーニングを行います。 (リフレッシュ、チューブセンジョウ、クリーニング)	P. 4-31
テイキセッテイ	装置待機中、定期的に動作する機能の設定を行います。 (テイキワイピング、リフレッシュ、チューブセンジョウ、クリーニング、Sub-INK ワーニング)	P. 4-34
ワイパーレベル	使用環境により、ワイパー交換時期の警告を早めに促します。	P. 4-40
ヘッドセンタク	作図に使用するヘッドを選択します。	P. 5-10
メディアザンリョウ	メディア残量表示機能の設定を行います。	P. 6-15
マシンイドウジュンビ	本装置を輸送する際に、ステーションを固定する機能です。	P. 6-16

メンテナンス機能の設定

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

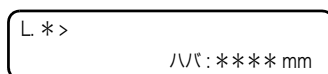
1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

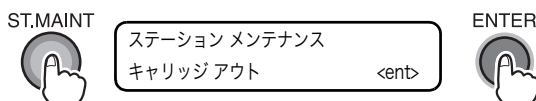
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 各メンテナンス機能を、選択・設定します。

【ST.MAINT】キーを使用した操作手順 (ステーションメンテナンス)

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 【ST.MAINT】キーを押します。

[ステーションメンテナンス] を表示しますので、各メンテナンスを実行します。

メディア残量表示機能の設定を行う [メディアザンリョウ]

メディア残量表示機能の ON/OFF を設定します。(通常は、OFF です。)
メディア残量表示機能を ON にすると、リモートモードでメディア残量が表示されます。(OFF でリーフメディアの場合は、作図長を表示します。)
作図、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。
メディア長が入力されていない場合は、作図長表示となります。

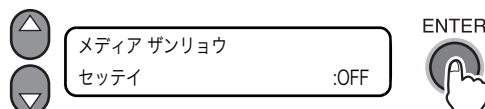
操作手順

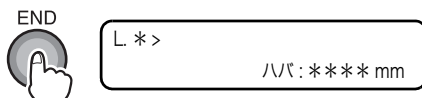
1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

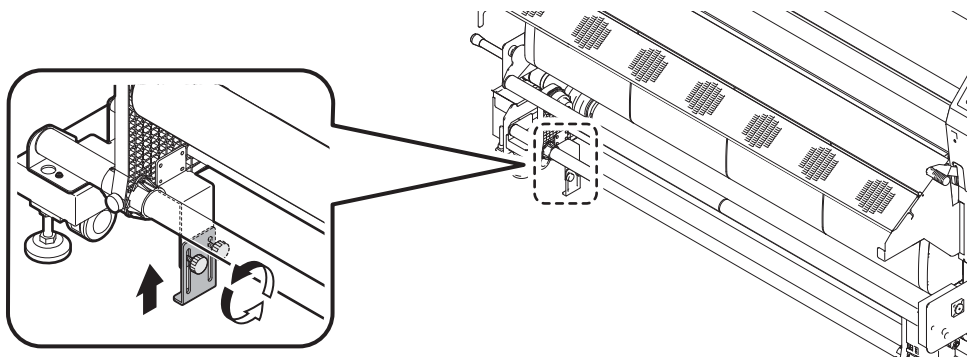
2【▼】キーで、[メディア ザンリョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

3【▲】【▼】キーで、残量設定の ON , OFF を選択します。

【ENTER】キーで確定します。

4【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

装置を安全に移動する [マシンイドウジュンビ]

本装置を移動する際に、ステーションを固定する機能です。
同一部屋内で、振動を伴う移動の時に設定します。
ただし、移動する場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

重 要! ■巻取装置のレベルアジャスタは、上げた状態で移動してください。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【▼】キーで、[マシンイドウジュンビ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

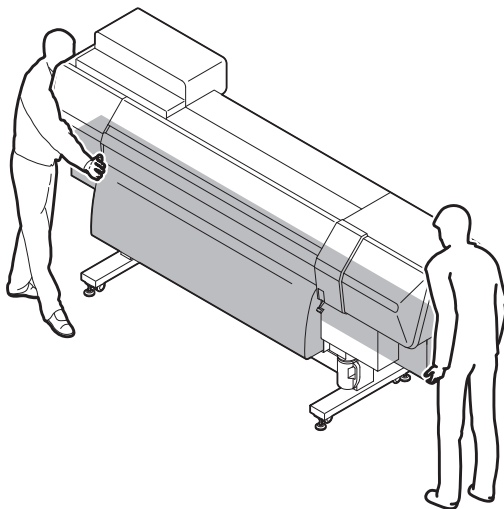
3 装置を移動させるための準備をします。

準備が整ったら、【ENTER】キーを押します。

4 前面にある電源を押します。

電源スイッチのランプが消灯します。

5 **主電源を OFF し、電源ケーブルを抜いて、本装置を移動させます。**

本装置を移動するときは、複数人で図のように運んでください。
カバーを押すと割れる可能性があります。

マシンセッテイ機能の導入

設定機能一覧

各マシンセッテイ機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　要	参照先
カンソウ & ハイキファン	乾燥ファン、外部・内蔵排気ファンの動作設定および連動・独立動作設定を行います	P. 6-21
クリダシ & マキトリ	AMF ユニットの使用 / 不使用の設定と、エラー表示の回避について設定します。	P. 6-22
カンソウフィード	作図後のフィード動作を切り替えます	P. 6-22
カクニンフィード	テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します	P. 6-22
プリフィードホウシキ*1	プリフィードの動作方式を切り替えます	P. 6-23
ヒーターセッテイ	アフターヒータの温度到達判定範囲を変更します	P. 6-23
カットセッテイ	【▶】キーをダイレクトカットキーに割り当てます	P. 6-23
ジコクセッテイ	装置の日付、時刻を設定します	P. 6-24
タンイセッテイ	装置で使用する、温度、長さ、面積についての表示単位を変更します	P. 6-24
スタンプセッテイ	作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する設定を行います	P. 6-25
インクキョウキュウユウセン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジの状態の設定を行います。	P. 3-49
テストサクズハイチ	テスト作図を繰り返し実行するときの、パターン配置方向の設定を行います。	P. 6-26
メディアケンシュツ	メディア厚さ検出の自動 / 手動を切り替えます	P. 6-26
マシンメイショウ	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時に、装置を認識させる為の名称を設定します	P. 6-26
カンキョウオンド	本機設置場所の温度が使用可能温度から外れている状態で作図を開始しようとしたときの動作の設定を行います。	P. 3-45
ジョウホウ	[ジョウホウ] では、各種情報の表示を行います 【INFORMATION】キーを押すことで、[ジョウホウ] 内の項目を個別に設定することができます	P. 6-27

*1. 専用昇華転写インクをお使いの場合だけ、[プリフィードホウシキ] の設定ができます。

[INFORMATION] キー機能一覧

各 [INFORMATION] 機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　要	参照先
エラーリレキ	エラーの履歴を表示します	P. 6-27
メンテナンスリレキ	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します	P. 6-27
サクズモードリレキ	現在までに行ったオンライン作図情報 (作図条件) の履歴を表示します	P. 6-27
リスト	装置の設定内容を確認するデータを作図します	P. 6-27
インクコウカンレポート	インクカートリッジ交換情報を作図します。	P. 6-27
バージョン	装置の各種バージョン情報を表示します	P. 6-28
シリアル & ディーラー No	装置のシリアル No. とディーラー No. を表示します	P. 6-28

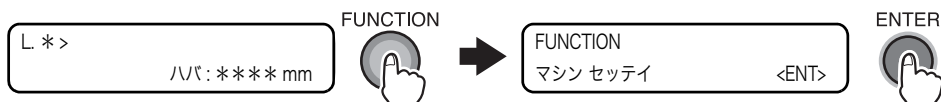
目次
1
2
3
4
5
6
索引

マシンセッテイ機能の設定

マシンセッテイ機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [マシン セッテイ] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 各マシン セッテイ機能を、選択・設定します。

マシンセッテイ機能の概要

乾燥 & 排気ファン

乾燥ファン
乾燥ファンの動作を設定します。

停止タイマー
作図終了後から、ファンが停止するまでの時間を設定します。
設定値 : [レンゾク , 0 ～ 240min] (初期値 : 120min [1min 単位])
[レンゾク] は常時動作です。

切り替え
ファン動作を切り替えます。(設定に従ってファンモーターを動作させる。)
設定値 : [ON , OFF]
設定内容は保存しません。
乾燥ファンは、作図中は動作し、作図終了からは停止タイマーの設定に従って動作します。

外部排気ファン
外部排気ファンを装着している場合に、動作の設定をします。
初期状態では、外部排気ファンは乾燥ファンの設定に連動して動作しますが、独立動作に切り替えれば乾燥ファンとは異なる設定が可能です。

停止タイマー
作図終了後から、ファンが停止するまでの時間を設定します。
設定値 : [レンゾク , 0 ～ 240min] (初期値 : 120min [1min 単位])
[レンゾク] は常時動作です。

切り替え
ファン動作を切り替えます。(設定に従ってファンモーターを動作させる。)
設定値 : [ON , OFF]
設定内容は保存しません。
外部排気ファンは、作図中は動作し、作図終了からは停止タイマーの設定に従って動作します。

連動設定
乾燥ファンの設定に連動した動作に切り替えます。

内蔵排気ファン
内蔵排気ファンを装着している場合に、動作の設定をします。
初期状態では、内蔵排気ファンは乾燥ファンの設定に連動して動作しますが、独立動作に切り替えれば乾燥ファンとは異なる設定が可能です。

停止タイマー

作図終了後から、ファンが停止するまでの時間を設定します。
設定値 : [レンゾク , 0 ～ 240min] (初期値 : 120min [1min 単位])
[レンゾク] は常時動作です。

切り替え

ファン動作を切り替えます。(設定に従ってファンモーターを動作させる。)
設定値 : [ON , OFF]
設定内容は保存しません。
内蔵排気ファンは、作図中は動作し、作図終了からは停止タイマーの設定に従って動作します。

連動設定

乾燥ファンの設定に連動した動作に切り替えます。

操出 & 巻取

AMF ユニットの使用／不使用の設定と、エラー表示の回避について設定します。

装置選択

AMF ユニットの繰出装置 / 巻取装置のそれぞれについて、使用／不使用を切り替えます。
設定値 : [ON , OFF]

送り電力レベル

AMF ユニットの繰出装置 / 巻取装置のどちらか一方でも使用し、エラー 42 が表示される場合に設定します。
設定値 : [0 ～ 100%]
エラーが表示されない程度に、徐々に値を大きくしてください。

乾燥フィード

メディア乾燥のためのフィードを行うか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
乾燥フィードが ON ならば、作図終了後、メディアをアフターヒーター位置まで
フィードしてメディア後端の乾燥を行います。
セッテイ機能 (乾燥時間 - 作図エンド) で指定された時間を待機後、次の作図 (またはメディアカット) を行います。尚、バックフィードはしません。(フィードした位置から作図します)

確認フィード

テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します。
設定値 : [ON , OFF]
確認フィードが ON ならば、作図終了後、作図結果をプラテン上から確認できる位置までフィードさせます。
また、確認フィード設定中 (ON 設定時) の 【FUNCTION】キーで、[メディア戻しフィード] を設定することができます。
[メディア戻しフィード] は、[確認フィード] でフィードしたメディアを元の位置まで戻します。
設定値 : [ON , OFF]

プリフィード方式

プリフィードの動作方式を切り替えます。
設定値：[FORE (***mm)，FORE&BACK]

プリフィード方式が FORE (***mm) ならば、プリフィードはヒータ熱で波打ったメディアを排除するため、メディアを指定量送り出す動作をします。
メディアを送り出す量は、FORE 選択中の【FUNCTION】キーで変更します。
設定値 : [10 ～ 1000mm]

プリフィード方式が FORE&BACK ならば、プリフィードはメディアの張り付きを防止するため、メディアを一定量前後にフィードするように動作します。

ヒーター設定

アフターヒータの温度が設定温度に到達したかの判定について設定します。
設定値 : [ヒョウジュン，セッテイ -5 ℃，セッテイ -10 ℃，セッテイ -15 ℃，セッテイ -20 ℃]

ヒーター設定がヒョウジュンならば、アフターヒータの温度が設定温度に達するまで、温度到達と見なしません。
セッテイ -5 ℃，セッテイ -10 ℃，セッテイ -15 ℃，セッテイ -20 ℃の場合、アフターヒータの設定温度より低い温度であっても、設定温度から選択温度を引いた温度以上であれば、温度到達と見なします。
アフターヒータは作図することで温度が下がりやすいヒータです。
複数の作図データを連続で作図したい場合、ヒョウジュンでは 1 つの作図が終わり次の作図を開始する際に、温度が到達範囲から外れていると、「温度制御中」が表示され到達温度範囲内にならないと作図を開始しません。
温度が多少低くても連続して作図を行いたい場合は、ヒョウジュン以外を設定します。

カット設定

メディアカットのキー割り当てと、カット後の動作について設定します。

カットキーワリアテ

【▸】キーをメディアカットのダイレクトキーに割り当てるかを設定します。
設定値 : [ON , OFF]
ダイレクトキーに割り当てた場合、ローカルモードの【▸】キーでメディアカット選択となり、実行すると作図した画像がカットラインを超えるまで自動的にフィードしてからカットします。

メディアオトシドウサ

メディアカット後にプラテン上に残っているメディアを押し出す動作について設定します。
設定値 : [ON , OFF]
OFF にすると、カット後にメディアを前後する動作は行われません。

目次 1 2 3 4 5 6 索引

時刻設定

装置の日付、時刻を設定します。
過去の日時入力は、8H まで可能です。
時刻を未来に設定してしまった場合は、【FUNCTION】キーを押すことで、前回の変更内容に戻すことができます。ただし、変更内容を戻せるのは一つ前の変更までです。
また、一つ前に戻した時間は、経過した時間分進んでいます。

単位設定

装置で使用する単位を設定します。

温度

温度の表示単位を設定します。
設定値 : [℃ (摂氏) , ℉ (華氏)]

長さ

長さ、面積の表示単位を設定します。
設定値： [mm , inch]

単位	表示		
ミリ	mm	m	m^2
インチ	inch , mil	ft	ft^2

スタンプ設定

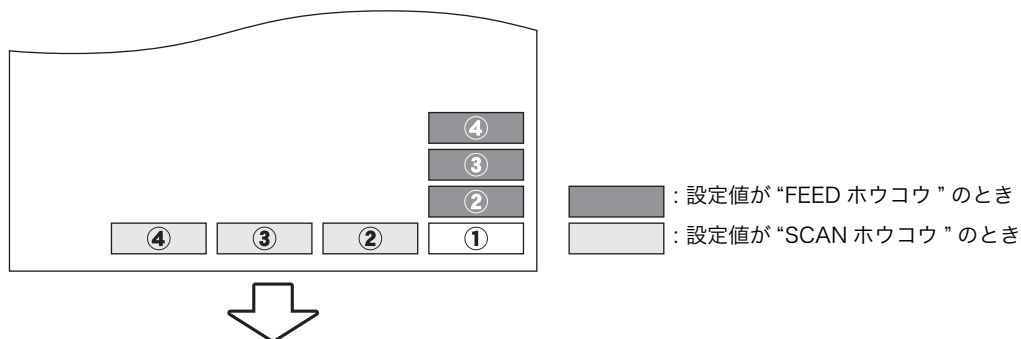
作図条件、作図日時の出力を行うか設定します。
スタンプセッテイ ON の場合、1 ファイル作図終了後に印刷します。
設定値： [ON , OFF]
設定 ON の場合、ページ作図毎に下記内容を出力します。

- マシン名称
- F / W Version
- 解像度
- 分割数
- 作図方向
- スキャンスピード
- 重ね塗り回数
- メディア送り補正値
- ヘッドギャップ
- インク種類 & 色数
- ヒーター設定温度 PRE / PRINT / AFTER
- 作図日時

```
                TS5-1600(*) Ver*.**
PRINT MODE   : 720x720 8PASS Uni-D Hi      1LAYER
MEDIA COMP.  : 0(0.0)
HEAD GAP     : 1.5mm
INK          : ****-*color
HEATER TEMP.: PRE :40°C PRT :40°C  AFT:50°C
DATE         : 08.11.18 19:00:22
```

テスト作図配置

テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を選択できます。

設定値： [FEED ホウコウ , SCAN ホウコウ]

メディア検出

厚さ検出

メディア幅の検出前に行う厚さ検出を、自動で行うかマニュアル入力するかを設定します。

同じメディアをご使用の場合でも、検出誤差から厚さが変わってしまう場合があります。このような場合 MANUAL にしておくと、常に同じ厚さを設定することができます。
設定値 : [AUTO , MANUAL]

FEED エラー検出

メディアの送り方式をノーマルに設定し、メディアが残っているときにエラー 135 が表示される場合は、OFF を設定してください。
設定値 : [ON , OFF]

マシン名称

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称を設定します。
マシン名称は [TS5 - ** (装置番号)] の構成で、装置番号のみ入力します。
設定値 : [01 ～ 99] (初期値 : 01)

ジョウホウ機能

ジョウホウはマシンセッテイ機能の一部で、装置情報を確認するメニューから構成されます。
[INFORMATION] キーで、ダイレクトに起動できます。

項 目	内 容
エラー履歴	エラー、ワーニングの履歴表示
メンテナンス履歴	メンテナンス機能の使用履歴
作図モード履歴	作図履歴の表示
リスト	装置設定情報の作図
インク交換レポート	インク交換履歴の作図
バージョン	装置バージョンの確認
シリアル & ディーラー No	シリアル No. / ディーラー No. の確認

エラー履歴

現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。
【▲】【▼】キーにより、発生順にエラー、ワーニング情報を切り替えることができます。
表示内容 : 発生日時 (年月日時分)、エラー、ワーニング内容

メンテナンス履歴

メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。
主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動 (定期、スリープ) での洗浄機能について表示します。
履歴は、1 つの LCD に 1 件表示されます。

作図モード履歴

電源 ON から現在までに行ったオンライン作図情報 (作図条件) を表示します。(Max50)
【▲】【▼】キーにより作図した順番で表示が切り替ります。
表示内容 : 日付、履歴番号、解像度、パス数、作図方向、データ形式 (Variable / Normal)、スキャンスピード、重ね塗り回数、(作図終了時点での) 作図長

リスト

装置の設定内容を作図します。
出力フォーマットを以下に示します。(但し、[DISPLAY]、[単位] の設定により変化します)

インク交換レポート

インクカートリッジの交換履歴を作図します。
ノズル詰まりのないインク色を選択できます。

バージョン

装置のバージョン情報を表示します。

項　目	表　示	備　考
機種名	TS5-xxxx(x)	
Main F / W Version	＊.＊＊	
NCU F / W Version	＊.＊＊	
I / F 種類	USB I / F	USB 2.0
I / F　F / W Version	＊.＊＊	
MRL-III コマンド Version	＊.＊＊	

シリアル & ディーラー No

シリアル No.、ディーラー No. を表示します。

NCU 機能の導入

設定機能一覧

各 NCU 機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　要	参照先
ノズルチェック	ノズル抜け検出を行うか設定します	P. 6-30
NG ドウサ	一定以上のノズル抜けを検出し、NG 判定された場合の、装置の動作を設定します	P. 6-30
NG ハンテイ	NG 判定とするノズル抜け数の設定をします	P. 6-31
ジョウタイ ヒョウジ	NCU の状態を表示します	P. 6-31

NCU 機能の設定

NCU 機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [NCU] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2 各 NCU 機能を、選択・設定します。

NCU 機能の概要

NCU 機能はノズル抜け検出機能に関するオペレーションで構成されます。

設定

ノズルチェックユニットを使用してノズル抜けを監視する機能の詳細設定を行います。

ノズルチェック

ノズル抜け検出を行うか設定します。
設定値 : [ON, OFF]

NG 動作

作図中 NG 動作
一定量以上のノズル抜けを検出して NG 判定した場合の [作図中] の動作を設定します。

ケイゾク	作図を継続します (初期値)
クリーニング & ケイゾク	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング成功 / 失敗に関わらず作図再開します
クリーニング & テイシ	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング失敗した場合は作図再開しません
テイシ	作図を停止します

[クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ] の項目選択中に
【FUNCTION】キーを選択することで、クリーニング動作の詳細設定となります。

■クリーニングタイプ [クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ]

クリーニングの種類を設定します。
設定値 : [ノーマル , ソフト , ハード] (初期値 : ノーマル)

■リトライ回数 [クリーニング & テイシ]

クリーニングのリトライ回数を設定します。
設定値 : [0 〜 3] (初期値 : 3)
リトライカイスウを 3 に設定した場合は、(ノズル復旧しなければ) 最初のクリーニングも含めて最大 4 回のクリーニングを行うことになります。

作図終了後 NG 動作
一定量以上のノズル抜けを検出して NG 判定した場合の [1 ファイル作図終了後] の動作を設定します。

ケイゾク	作図を継続します (初期値)
クリーニング & ケイゾク	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング成功 / 失敗に関わらず作図再開します
クリーニング & テイシ	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング失敗した場合は作図再開しません
テイシ	作図を停止します

[クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ] の項目選択中に
【FUNCTION】キーを選択することで、クリーニング動作の詳細設定となります。

■クリーニングタイプ [クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ]

クリーニングの種類を設定します。
設定値 : [ノーマル , ソフト , ハード] (初期値 : ノーマル)

■リトライ回数 [クリーニング & テイシ]

クリーニングリトライ回数を設定します。
設定値 : [0 〜 3] (初期値 : 3)
リトライカイスウを 3 に設定した場合は、(ノズル復旧しなければ) 最初のクリーニングも含めて最大 4 回のクリーニングを行うことになります。

*1 [作図中 NG 動作] , [作図終了後 NG 動作] でクリーニングを行う場合は、外部ヒーター OFF します。

NG 判定

ノズルチェック NG とするノズル抜け数を設定します。

■抜けノズル / ライン

ノズルチェック NG とする 1 列あたりのノズル抜け数の基準を設定します。
設定値 : [1 〜 180] (初期値 : 10)

■抜けノズル / 全て

ノズルチェック NG とする全体のノズル抜け数の基準を設定します。
設定値 : [1 〜 180] (初期値 : 10)

状態表示

NCU の状態を表示します。

ゲンザイ NCU ハ キノウ シテイマス .	NCU は使用可能です。
エラー / ワーニング ハッセイ ニヨリ NCU ヲ キリハナシテ イマス	NCU に問題があります。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。

【FUNCTION】キーにより、NCU で起きているエラーや、NCU ↔ メイン間で発生しているエラーを全て表示します。
【▲】【▼】キーにより、発生順にエラー情報を切り替えることができます。

DISPLAY 設定

装置で使用する言語を設定します。

表示言語

- Japanese
- English
- German
- French
- Spanish
- Italian
- Portuguese

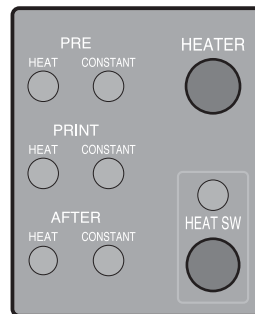
設定は、LCD 表示に反映します。

機能の応用設定

必要に応じて、イニシャル設定されている設定項目を変更することができます。

ヒーターの設定

ヒーターの設定項目

3ヵ所の各ヒーターに設定できる項目を、以下に示します。

オンド セッテイ

3ヵ所の各ヒーターに対して、温度設定を行います。

プリヒート	プリヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ～ 60 ℃ / 68 ～ 140 ˚F)
プリントヒート	プリントヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ～ 60 ℃ / 68 ～ 140 ˚F)
アフターヒート	アフターヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ～ 70 ℃ / 68 ～ 158 ˚F)

ジカン セッテイ

スタンバイ時間、OFF 時間の設定を行います。

スタンバイ	作図終了後からヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。 あらかじめ予熱温度は設定されているので、変更はできません。 温度が下がった状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってから作図します。 「ナシ」を設定すると予熱温度になりません。 (ナシ , 0 ～ 90 min / 10 min 単位)
OFF ジカン	以下の場合にヒーターをオフにします。 ■ スタンバイ時に、設定時間以上作図しない場合 ■ スタンバイ - [ナシ] の設定時、作図終了後に設定時間以上作図しない場合 ヒーターがオフ状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってからプリントを開始します。 「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。 (ナシ , 0 ～ 90 min / 10 min 単位)

ヒーターの詳細設定

プラテン内に内蔵されているプリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターについて設定します。
作図中にも温度を変更できるため、適切な温度に調整することができます。
ただし、周囲の温度により、設定した温度に到達するまでには数分から十数分かかります。

重 要！ **■本装置は、20 ～ 35 ℃の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。**

ここで調整した温度は、電源をオフにするまで継続するか、下記の条件で新たに温度を変更するまで継続します。

- FUNCTION モードのタイプを変更する
- FUNCTION モードのヒーターの温度を変更する
- コンピュータからヒーターの温度を指定する

■お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。
設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。

温度の設定値

°C の場合	OFF, 20 ～ 60 (70)°C (1°C 単位)
°F の場合	OFF, 68 ～ 140 (158)°F (1°F 単位) * まるめ誤差等により 1°F 単位に設定できない場合があります。

温度設定の目安（ソルベントインクをご使用の場合）

ヒーター	Eco-HS1 インク	SS21 インク
	全メディア	全メディア
Pre ヒーター	35	35
Print ヒーター	35	35
After ヒーター	50	50

重 要！ **■メディアの状態により、適温に調整してください。**

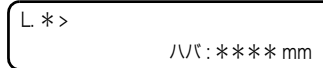
■昇華転写インクをご使用の場合、温度設定の目安は必要ありません。

ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定する

ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定するためには、以下の手順で設定します。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

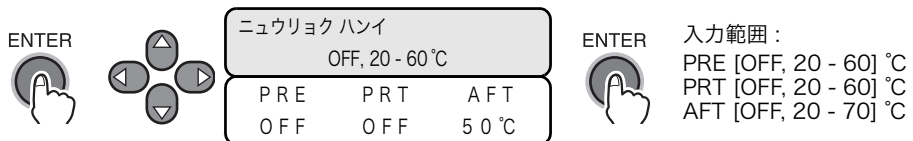
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

2【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。【▲】【▼】キーでタイプ 1 ～ 4 を選び、【ENTER】キーを押します。

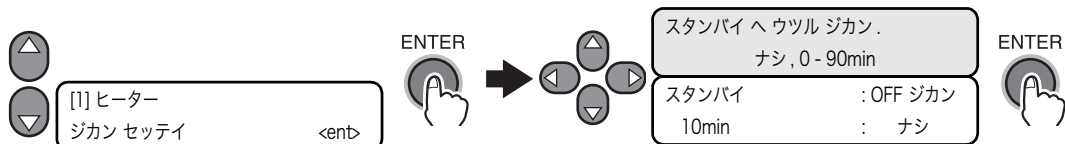
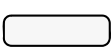
3【▼】キーで [ヒーター] を選択し、【ENTER】キーを押します。

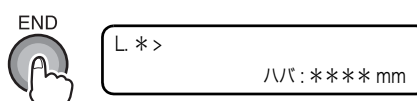
[オンドセッテイ] に進みます。

4【ENTER】キーで下の階層へ進み、【▲】【▼】【◀】【▶】キーで、温度設定を入力します。

【▲】【▼】キーで温度を変更、【◀】【▶】キーでカーソルを移動、【ENTER】キーで確定します。

入力範囲：
PRE [OFF, 20 - 60] ℃
PRT [OFF, 20 - 60] ℃
AFT [OFF, 20 - 70] ℃

5【▼】キーで [ジカンセッテイ] を選んで【ENTER】キーを押し、[ジカンセッテイ] を設定します。

【▲】【▼】キーで時間を変更、【◀】【▶】キーでカーソルを移動、【ENTER】キーで確定します。(0 ～ 90min (10min 刻み))

6【END】キーを数回押します。

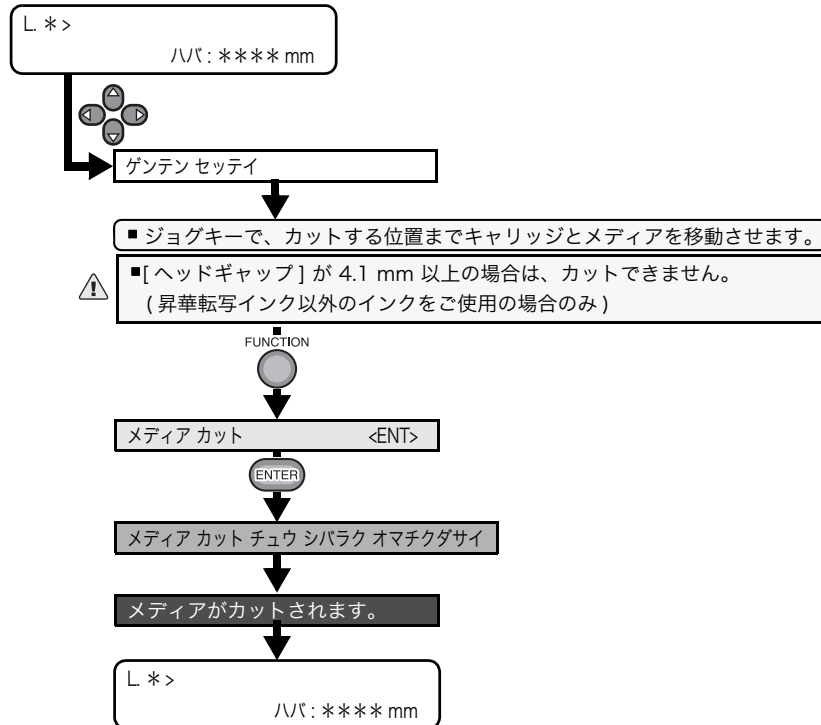
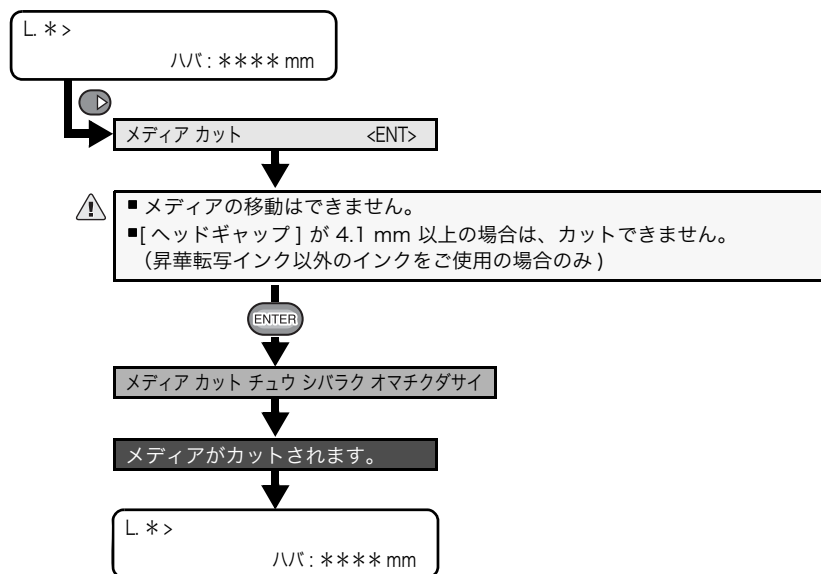
ローカルモードに戻ります。

機能メニューの操作方法について

必要な操作やディスプレイに表示されるメッセージを、以下の要領で説明しています。
操作手順の更に詳しい情報は、各参照先をご覧ください。

アイコン	アイコンの説明
FUNCTION	【FUNCTION】キーを 1 回押す操作を表しています。 [ファンクションモード] に入る際や、下階層への移動に使用します。
	【▲】【▼】【◀】【▶】キーの操作を表しています。
	【▲】【▼】キーを押すことで、交互表示されるサブ設定画面の切り換えや、設定値 / 項目を変更する操作を表しています。
	【◀】【▶】キーを押すことで、設定値 / 項目を切り替える操作を表しています。
ENTER	【ENTER】キーを 1 回押して、表示中の設定値 / 項目を実行する操作を表しています。
ST.MAINT	各キーを 1 回押す操作を表しています。 (この場合は【ST.MAINT】キーを押す操作を表しています。)
END	【END】キーを 1 回押して、実行をキャンセルする操作を表しています。
	ディスプレイの内容を表しています。
	キーを操作した結果、本装置が実行する動作を表しています。
	メニュー項目の設定値を表しています。
	操作した結果、ディスプレイに表示されるメッセージを表しています。
	操作パネルのメニュー操作以外で、お客様が本装置に対して行うべき作業を表しています。この、アイコンで示しています。

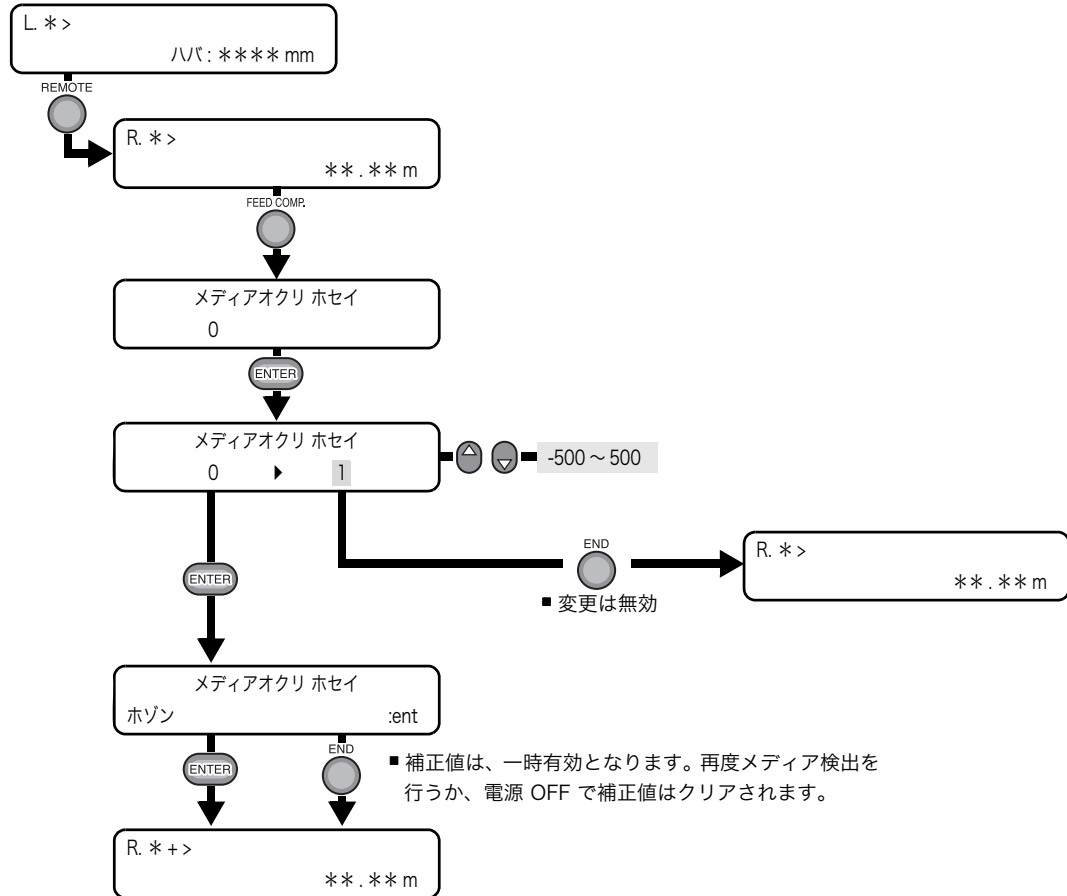
カッターに関する機能

用紙をカットしたいときは

[オートカット] 機能を使用せず、任意の位置でのメディアカットを実行します。
(作図終了後のメディアカット (3-35 ページ) 参照)

【▶】キーをダイレクトカットキーに割り当てている場合

作図品質に関する機能

プリンタの機能メニューでは、作図品質を確認したり、改善するための設定を変更したりすることができます。

作図中にメディア送りを補正したいときは [メディアオクリ ホセイ]

[メディアホセイ] では、ローカルモード中に作業を実行しましたが、ここではリモートモード、または画像データ作図中にメディア送り量を補正する方法を説明します。

インクに関する機能

インクセット (4 色 / 6 色) を変更したいときは

(次のページへ続きます)

インクセット (4 色 / 6 色) を変更したいときは (続き)

センジョウ エキ カートリッジ ヲ
ハズス
1234 5678 9ABC DEFG
状況確認

■ 洗浄液カートリッジを外します。

センジョウ エキ ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ
＊＊＊＊＊ -----------------------------------
処理終了

ジョウキョウ ニ オウジテ
センタク スル
シュウリョウ＜　　　＞センジョウ

メンテナンス センジョウエキ ヲ
ハイシュツ シマスカ．
シュウリョウ＜　　　＞ハイシュツ

センジョウ エキ カートリッジ ヲ
ハズス．
カートリッジ ： アリ
状況確認

■ 洗浄液カートリッジを外します。

センジョウ エキ ハイシュツ チュウ
シバラク オマチクダサイ
＊＊＊＊＊ -----------------------------------
処理終了

ヘッド メンテナンス
ハイシュツ & センジョウ　　<ent>

END

インクタイプ ヲ センタク スル
インクタイプ
Sb51

Sb51, Sb52 (昇華転写インク)
Eco-HS1 (ソルベントインク)

■ インク充填の際にインクタイプを変更すると、サービスエンジニアの調整が必要になります。

インクセット ヲ センタク スル
Sb51 インクセット
4-Color (MBYKKYBM)

4-Color (MBYKKYBM)
6-Color (MBbKYBMm)

Sb51 インク カートリッジ ヲ
セットシテ クダサイ
Sb51-4Color
MMBB YYKK KKYY BBMM

ジュウテン チュウ
シバラク オマチクダサイ
Sb51-4Color
＊＊＊＊＊ -----------------------------------

機能フローチャート [BOOT]

充填不完全
正常
Sb51 インク カートリッジ ヲ
セットシテ クダサイ
Sb51-4Color
--B- Y-KK K--Y BBM-
状態確認
ジュウテン チュウ
シバラク オマチクダサイ
Sb51-4Color
*****------------------
処理
終了
排出状況チェック
インク充填完了
END
ENTER
ショキジュウテン ハ
カンリョウ シテイマセン
チュウシ シマスカ ? :ent
インク充填不完全でインク充填に戻っている場合
ここでのENDキーは無効!
異常復旧
ハイ インクタンク ガ ナイカ
タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ハイ インクタンク ヲ
コクカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
メディア検出機能ON設定時
PRE PRT AFT
*** *** ***
** メディア **
Y=**** X=****
PRE PRT AFT
*** *** ***
メディア ナガサ ニュウリョク
メディア ナガサ = 50m
ENTER

機能フローチャート [ローカルモード]

続き
続き
HEATER
HEATER / END / 30秒 / Error
PRE PRT AFT
*** *** ***
*** *** ***
(*** *** ***)
< >キーでPre/Print/After選択
△▽キーで温度調整
範囲:OFF, 20〜60 (Pre,Print)
OFF, 20〜70 (After)
USER TYPE
END
PRE PRT AFT
*** *** ***
ユーザー タイプ ヘンコウ
タイプ(1) -> <2> :ent
( )内は現タイプ、< >内で変更
USER TYPEキーを押す毎に→2→3→4→2...
△▽キーでも変更可能
ENTERキーで決定 ENDキーでキャンセル
REMOTE
PRE PRT AFT
*** *** ***
オンド セイギョ チュウ
シバラク オマチクダサイ
設定温度
に到達
or
ENTER
REMOTE
PG着弾調整を
行っていない場合
PRE PRT AFT
*** *** ***
* 'PG チャクダンチ ョウセイ' *
* ヲ オコナッテ クダサイ.*
REMOTE
ST.MAINT
ST.MAINTENANCE
INFOR
INFORMATION
FUNCTION
FUNCTION

機能フローチャート [リモートモード]

REMOTE

PRE PRT AFT
*** *** ***
R. *> [TS5-01]
. m

受信

!ノズル ヌケ ケンシュツ
(1nozzle/ALL)

*** ノズル ヌケ ハッセイ ***
(1nozzle/ALL)

交互表示

PRE PRT AFT
*** *** ***
R. *+> 720x1080 .12
Bd Vd.x1.1L: **.** m

Cartridge
/End
/NearEnd

PRE PRT AFT
*** *** ***
R. *+> 720x1080 .12
Bd Vd.x1.1L: **.** m

交互表示

R. *+> [TS5-01]
. m

交互表示

R. *+> [TS5-01]
インクニアエンド MBYKKYBM

6色=MBbKYBMm

FEED COMP.

PRE PRT AFT
*** *** ***
メディアオクリ ホセイ
0

ENTER

PRE PRT AFT
*** *** ***
メディアオクリ ホセイ
0 ▸ 0

ENTER

END / Error

END / Error

ENTER
（保存する）

END
（保存しない：一時有効）

PRE PRT AFT
*** *** ***
メディアオクリ ホセイ
ホゾン :ent

機能フローチャート [FUNCTION キー]

パターン ヲ サクズシテ
ホセイチ ヲ ニュウリョク シマス
[1]メディア ホセイ
サクズ カイシ <ent>
ENTER
シバラク オマチクダサイ
サクズチュウ
作図終了 or END
6 デ ヤク 0.01mm ヘンカ シマス
[1]メディア ホセイ
ホセイチ = 0
-255～255
ENTER
END

PRE PRT AFT
*** *** ***
[1]メディア オクリ セッテイ
オクリ ホウシキ <ent>
[1]オクリ ホウシキ
セッテイ :ダイレクト
ノーマル

PRE PRT AFT
*** *** ***
[1]メディア オクリ セッテイ
ソクド キリカエ <ent>
ニュウリョク ハンイ
200 - 10%
[1]ソクド キリカエ
レベル :100%
200%～10%

PRE PRT AFT
*** *** ***
[1]メディア オクリ セッテイ
ドウサ テスト <ent>
ドウサ テスト
テスト カイシ :ent
ENTER
検出動作
* ドウサ テスト ケッカ *
オクリ ゴサ : 0.2%
[ダイレクトホウシキ] OK
100% オクリソクド OK :ent
* ドウサ テスト ケッカ *
オクリ ゴサ : 0.5%
スイショウ スル セッテイ ヲ
ヒョウジ シマス. :ent

PRE PRT AFT
*** *** ***
[1]ヒーター
オンド セッテイ <ent>
ENTER
ENTER or END
ニュウリョク ハンイ
OFF, 20 - 60°C
PRE PRT AFT
OFF OFF OFF
PRE [OFF, 20 - 60] °C
PRT [OFF, 20 - 60] °C
AFT [OFF, 20 - 70] °C

PRE PRT AFT
*** *** ***
[1]ヒーター
ジカン セッテイ <ent>
ENTER
ENTER or END
スタンバイ ヘ ウツル ジカン
ナシ, 0 - 90min
スタンバイ :OFF ジカン
10min : ナシ
0～90min (10min刻み)
OFFジカン ガイド表示
[ヒーター OFF マデノ ジカン]

540x*dpi ノ ヒンシツ ヲ
セッテイ シマス
[1]サクズ ホウシキ
DRAFT ヒンシツ <ent>
ENTER
ENTER or END
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
[1]サクズ ホウシキ
DRAFT ヒンシツ ヒョウジュン
DRAFTヒンシツ ハヤイ
DRAFTヒンシツ キレイ
FUNCTION
END
ディスプレイ1に、現在の設定内容を表示

ヒョウジュン
PASS=8:スキャン=コウソク
[1]DRAFT ヒンシツ
540x720 <ent>
ENTER
ENTER or END
ヒョウジュン / 540x720
PASS=8:スキャン=コウソク
[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=8:スキャン=コウソク

ヒョウジュン
PASS=20:スキャン=コウソク
[1]DRAFT ヒンシツ
540x900 <ent>
END
ENTER
ENTER or END
ヒョウジュン / 540x900
PASS=20:スキャン=コウソク
[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=20:スキャン=コウソク

ヒョウジュン
PASS=12:スキャン=コウソク
[1]DRAFT ヒンシツ
540x1080 <ent>
END
ENTER
ENTER or END
ヒョウジュン / 540x1080
PASS=12:スキャン=ヒョウジュン
[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=12:スキャン=ヒョウジュン

続く

続き
続き
END
FUNCTION or
END
END
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
カサネヌリ <ent>
ENTER or END
[1]カサネヌリ
セッテイ :1 カイ
(1~9)
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
ニュウリョク ハンイ
0.0 - 19.9s
[1]
カンソウ ジカン <ent>
ENTER or END
スキャン : サクズエンド
0.0s : 0s
(0.00~19.9s)
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
オート カット <ent>
ENTER or END
[1]オート カット
セッテイ :OFF
:ON
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
プリ フィード <ent>
ENTER or END
[1]プリ フィード
セッテイ :OFF
:ON
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
ニュウリョク ハンイ
-10 - 85mm
[1]
マージン <ent>
ENTER or END
ヒダリ : ミギ
0 mm : 0 mm
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
カラー パターン <ent>
ENTER or END
[1]カラー パターン
セッテイ :ON
:OFF
FUNCTION or
続く

続き
720x*dpi ノ ヒンシツ ヲ セッテイ シマス
[1]サクズ ホウシキ FINE ヒンシツ <ent>
ENTER
ENTER or END
ENTER デ ケッテイ FUNC. デ ショウサイ セッテイ
[1]サクズ ホウシキ FINE ヒンシツ キレイ
FINEヒンシツ ハヤイ
FINEヒンシツ ヒョウジュン
FUNCTION
END
ディスプレイ1に、現在の設定内容を表示
キレイ PASS=24:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ 720x540 <ent>
キレイ / 720x540 PASS=24:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ PASS=12:スキャン=コウソク
キレイ PASS=16:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ 720x720 <ent>
キレイ / 720x720 PASS=16:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ PASS=16:スキャン=ヒョウジュン
キレイ PASS=24:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ 720x1080 <ent>
キレイ / 720x1080 PASS=24:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ PASS=4:スキャン=コウソク
キレイ PASS=32:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ 720x1440 <ent>
キレイ / 720x1440 PASS=32:スキャン=コウソク
[1]FINE ヒンシツ PASS=32:スキャン=コウソク
[1]サクズ ホウシキ スキャン ホウコウ <ent>
[1]サクズ ホウシキ スキャン ホウコウ :ソウホウコウ
タンホウコウ
[1]サクズ ホウシキ ロジカルシーク <ent>
[1]サクズ ホウシキ ロジカルシーク :ON
:OFF

目次 1 2 3 4 5 6 索引

続き
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
リフレッシュ <ent>
ENTER or END
[1]リフレッシュ
セッテイ :レベル3
レベル 0~3
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ タイマー セッテイ
FUNCTION
[1]
キュウチャク <ent>
ENTER or END
[1]キュウチャク
セッテイ :ヒョウジュン
セッテイ :OFF
セッテイ :ヨワイ
セッテイ :ヤヤ ヨワイ
セッテイ :ツヨイ
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
FUNCTION
[1]
ユウセンジュンイ <ent>
ENTER or END
[1]ユウセンジュンイ
セッテイ :コベツ セッテイ
スベテ ホスト
スベテ パネル
FUNCTION or
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
FUNCTION
[1]
オート クリーニング <ent>
ENTER or END
[1]オート クリーニング
セッテイ :ON
:OFF
ENTER or END
FUNCTION or
昇華転写インクをお使いの場合
PRE PRT AFT
*** *** ***
ENTER
[1]
サクズチュウ メンテナンス <ent>
ENTER or END
[1]サクズチュウ メンテナンス
センタク :OFF
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
ENTER
END
サクズチュウ メンテナンス
センタク :クリーニング
ENTER or END
FUNCTION or
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
ENTER
END
サクズチュウ メンテナンス
センタク :ワイピング
ENTER or END
続く

ニュウリョク ハンイ
0 - 60min. レンゾク
[1] キュウチャク
テイシ タイマー :0 min
0～60min/レンゾク
ENTER
[1]ユウセンジュンイ
メディア ホセイ :ホスト
パネル
[1]ユウセンジュンイ
ヒーター :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
サクズ ホウシキ :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
カサネヌリ :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
カンソウ ジカン :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
オート カット :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
プリ フィード :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
マージン :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
カラー パターン :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
リフレッシュ :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
キュウチャク :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
オクリ ソクド :ホスト
[1]ユウセンジュンイ
オクリ ホウシキ :ホスト
クリーニング ドウサ カンカク
10 - 30000mm
カンカク :タイプ
1000mm :ノーマル
クリーニング タイプ
ソフト / ノーマル / ハード
カンカク :タイプ
1000mm :ノーマル
ソフト / ノーマル / ハード
クリーニング ドウサ カンカク
0.1 - 100.0m
カンカク :タイプ
0.1m :ノーマル
クリーニング タイプ
ソフト / ノーマル / ハード
カンカク :タイプ
100.0m :ノーマル
ソフト / ノーマル / ハード
ワイピング ドウサ カンカク
10 - 9990 カイ
ワイピング
スキャン カイスウ =50

目次 1 2 3 4 5 6 索引

[1]メディア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ :セレクト
ハバ
[1]メディア ケンシュツ
ケンシュツ :リョウ エッジ
ヒダリ エッジ
ミギ エッジ
ナシ
パラメータの初期化

MAINTENANCE
ENTER
END
メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent>
ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>
ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent
ワイパー ヲ コウカン スル
ステーション メンテナンス
ワイパー コウカン <ent>
ステーション メンテナンス
ノズル センジョウ <ent>
廃インクタンクは正常か?
正常
異常
異常復旧
ステーション メンテナンス
ハイロ センジョウ <ent>
ステーション メンテナンス
ホカン センジョウ <ent>
FUNCTION
or
続く

カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

ワイパー ト ブラケット ヲ クリーニング スル
ワイパー クリーニング
シュウリョウ (ツギヘ) :ent
ENTER
キャップ イッパイ ニ センジョウエキ ヲ ミタス
センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ (ツギヘ) :ent
ENTER
ホウ チスル ジカン ヲ ニュウリョク 1 – 99min
ステーション メンテナンス
ホウチ ジカン :1min
ENTER

FUNC.デ CLタイプ セット.
ステーションメンテナンス
パワーオフ :シナイ
スル
ENTER
カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

キュウイン テイシチュウ ニ キャップ ヲ センジョウエキ デ ミタス
ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent
ENTER
カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ワイパー ト ブラケット ヲ クリーニング スル
ワイパー クリーニング
シュウリョウ (ツギヘ) :ent
ENTER
キャップ イッパイ ニ センジョウエキ ヲ ミタス
センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ (ツギヘ) :ent
ENTER
ホウ チスル ジカン ヲ ニュウリョク 1 – 99min
ステーション メンテナンス
ホウチ ジカン :1min
ENTER

カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
タンク コウカン ゴ
<ENT> キー ヲ オシテ クダサイ

続き
続き
続き
ENTER
END
ステーション メンテナンス
PUMPチューブ センジョウ <ent>
洗浄液は充填済か?
充填済み
未充填
** センジョウエキ ミジュウテン **
FUNCTION
or
ENTER
END
ステーション メンテナンス
ワイパー センジョウ <ent>
洗浄液は充填済か?
充填済み
未充填
** センジョウエキ ミジュウテン **
昇華転写インクをお使いの場合
END
ステーション メンテナンス
Sub-INK メンテナンス <ent>
ENTER
Sub-INK メンテナンス
インク トレー クリーニング <ent>
ENTER
ENTER
Sub-INK メンテナンス
フィルター コウカン <ent>
メンテナンス
キャリッジ メンテナンス <ent>
ENTER
END
キャリッジ メンテナンス
キャリッジ アウト :ent
ENTER
キャリッジ メンテナンス
シュウリョウ :ent
ENTER
FUNCTION
or
メンテナンス
ヘッド メンテナンス <ent>
ENTER
END
ヘッド メンテナンス
インクジュウテン <ent>
ENTER
END
インク ジュウテン
ヘッド センタク :12.34
ENTER
FUNCTION
or
続く
続く
続く

カバーヲ シメテクダサイ
CLOSE
RESTART

続き
続き
続き
ENTER
インク ハイシュツ
カートリッジ ヲ ハズス
END
ヘッド メンテナンス
ハイシュツ & センジョウ <ent>
END
MMBB YYKK KKYY BBMM
FUNCTION
or
FUNCTION
or
続く
続く
続く

状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
インク ハイシュツ チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
処理終了
排出状況チェック
排出不完全
排出完了
センジョウ エキ カートリッジ ヲ セット スル
1234 5678 9ABC DEFG
状態確認

状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
センジョウ エキ キュウイン チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
処理終了
吸引状況チェック
吸引不完全
吸引完了
センジョウ エキ カートリッジ ヲ ハズス
1234 5678 9ABC DEFG
状態確認

状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
センジョウ エキ ハイシュツ チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
処理終了
排出状況チェック
排出不完全
排出完了
センジョウ エキ カートリッジ ヲ セット スル
1234 5678 9ABC DEFG
状態確認

状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
センジョウ エキ キュウイン チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
処理終了
吸引状況チェック
吸引不完全
吸引完了
センジョウ エキ カートリッジ ヲ ハズス
1234 5678 9ABC DEFG
状態確認

状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
センジョウ エキ ハイシュツ チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
処理終了
排出状況チェック
排出不完全
排出完了
ジョウキョウ ニ オウジテ センタク スル
シュウリョウ ＜　＞ センジョウ

メンテナンス センジョウエキ ヲ ハイシュツ シマスカ.
シュウリョウ ＜　＞ ハイシュツ

メンテナンス センジョウエキ カートリッジ ヲ ハズス
カートリッジ ： アリ
状態確認
廃インクタンクは正常か?
異常
ハイ インクタンク ガ ナイカ タンク FULL デス
ハイ インクタンク ヲ コウカン シテクダサイ
異常復旧
タンク セット マタハ コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
タンク コウカン ゴ <ENT> キー ヲ オシテ クダサイ
ENTER
正常
センジョウ エキ ハイシュツ チュウ シバラク オマチクダサイ
*****-----------------
排出終了

1
2
3
4
5
6
索引

続き
続き
続き
END
ヘッド メンテナンス
メンテナンス センジョウエキ<ent>
ENTER
メンテナンス センジョウエキ
ジュウテン <ent>
(初めての充填)
ENTER
(排出後の充填)
メンテナンス センジョウエキ
ハイシュツ <ent>
FUNCTION or
クリーニングワーニングまたはエラー発生時のみ
メンテナンス
フラッシングBOX <ent>
ENTER
END
フラッシングBOX
クリーニグ カンリョウ <ent>
ENTER
フラッシングBOX ヲ クリーニング
シテカラ オコナッテクダサイ
ENTER or END
フラッシングBOX
クリーニング OK ? :ent
END
フラッシングBOX
BOX コウカン レベル <ent>
ENTER
ステーション ノ ヨゴレ グアイ ヲ
ミテ ヘンコウスル.
ENTER or END
BOX コウカン レベル
レベル : 5/5
昇華転写インクをお使いの場合
END
フラッシングBOX
フィルター コウカン レベル <ent>
ENTER
フィルター ノ ヨゴレグアイ ヲ
ミテ ヘンコウスル.
ENTER or END
フィルター コウカン レベル
レベル 5/5
1/5~5/5
メンテナンス
ドット イチ ホセイ <ent>
ENTER
END
ドット イチ ホセイ
サクズカイシ :ent
ENTER
サクズ チュウ
シバラク オマチクダサイ
作図終了 or END
FUNCTION or
メンテナンス
PGチャクダン チョウセイ <ent>
ENTER
END
PGチャクダン チョウセイ
サクズカイシ :ent
ENTER
サクズ チュウ
シバラク オマチクダサイ
作図終了 or END
FUNCTION or
メンテナンス
スリープ セッテイ <ent>
ENTER
END
スリープ チュウ ノ リフレッシュ
カンカク ヲ セッテイ スル
スリープ セッテイ
リフレッシュ <ent>
ENTER
ENTER or END
スリープ セッテイ
リフレッシュ カンカク = 1h
OFF, 1~168
FUNCTION or
END
スリープ チュウ ノ センジョウ
カンカク ヲ セッテイ スル
スリープ セッテイ
チューブ センジョウ <ent>
ENTER
ENTER or END
チューブ センジョウ
センジョウ カンカク = 4h
OFF, 1~168
ON→OFFに
変更
続く
続く
続く

洗浄液充填の必要ありの場合

続き
続き
続き
クリーニング ハ センジョウ エキ
シュウリョウ ジニ ドウサ スル
スリープ セッテイ
クリーニング <ent>
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ タイプ センタク
スリープ セッテイ
クリーニング カンカク = OFF
OFF, 1〜168
ソルベントインク使用時のみ
メンテナンス
テイキ セッテイ <ent>
サクズチュウ ノ ワイピング ニ
ツイテ セッテイ スル
テイキ セッテイ
テイキ ワイピング <ent>
ワイピング ノ カンカク ヲ
セッテイ スル
テイキ ワイピング
スキャン カイスウ <ent>
プリント ヒーター ト シュウヘン
トノ オンドサ ヲ セッテイ スル
テイキ ワイピング
オンドサ <ent>
タイキ チュウ ノ リフレッシュ
カンカク ヲ セッテイ スル
テイキ セッテイ
リフレッシュ <ent>
テイキ セッテイ
リフレッシュ カンカク = 1h
OFF, 1〜168
タイキ チュウ ノ センジョウ
カンカク ヲ セッテイ スル
テイキ セッテイ
チューブ センジョウ <ent>
テイキ セッテイ
センジョウ カンカク = 4h
OFF, 1〜168
ON→OFFに
変更
クリーニング ハ センジョウ エキ
シュウリョウ ジニ ドウサ スル
テイキ セッテイ
クリーニング <ent>
ENTER デ ケッテイ
FUNC. デ タイプ センタク
テイキ セッテイ
クリーニング カンカク = OFF
OFF, 1〜168
昇華転写インクをお使いの場合
テイキ セッテイ
Sub-INK ワーニング <ent>
テイキ セッテイ
Sub-INK ワーニング :72h
OFF, 12〜120h
メンテナンス
ワイパー レベル <ent>
10/10 - 1/10
ワイパー レベル
レベル :10/10
10/10〜1/10
メンテナンス
ヘッド センタク <ent>
ヘッド センタク
センタク :1234
選択は以下の組み合わせ
[1234]
[123-], [-234]
[12--], [-23-], [--34]
[1---], [-2--], [--3-], [---4]
メンテナンス
メディア ザンリョウ <ent>
メディア ザンリョウ
セッテイ :OFF
:ON
メンテナンス
マシン イドウ ジュンビ <ent>
マシン ヲ イドウ スルタメノ
ジュンビ ヲ オコナウ.
マシン イドウ ジュンビ
カイシ :ent
デンゲン ヲ キッテ クダサイ.
マシン イドウ ジュンビ
*** カンリョウ ***
FUNCTION
ENTER
END
or

洗浄液充填の必要ありの場合

MACHINE SET
マシン セッテイ
カンソウ & ハイキ ファン <ent>
カンソウ & ハイキ ファン
カンソウ ファン <ent>
カンソウ ファン
テイシ タイマー <ent>
カンソウ ファン
テイシ タイマー :120Min
:0~240
:レンゾク, OFF
カンソウ ファン
キリカエ <ent>
カンソウ ファン
キリカエ :ON
:OFF
乾燥ファンに連動している場合
ガイブ ハイキ ファン
(FUNC. デ ヘンコウ)
カンソウ ファン ニ レンドウ
シテイマス OK ? :ent
ガイブ ハイキ ファン
ドクリツ ドウサ ニ
ヘンコウシマス OK ? :ent
カンソウ & ハイキ ファン
ガイブ ハイキ ファン <ent>
独立動作している場合
ガイブ ハイキ ファン
テイシ ライマー <ent>
ガイブ ハイキ ファン
テイシ ライマー :120Min
:0~240
:レンゾク, OFF
ガイブ ハイキ ファン
キリカエ <ent>
ガイブ ハイキ ファン
キリカエ :ON
:OFF
ガイブ ハイキ ファン
レンドウ セッテイ <ent>
ガイブ ハイキ ファン
カンソウ ファン ニ
レンドウ シマス. OK ? :ent
乾燥ファンに連動している場合
ナイゾウ ハイキ ファン
(FUNC. デ ヘンコウ)
カンソウ ファン ニ レンドウ
シテイマス OK ? :ent
ナイゾウ ハイキ ファン
ドクリツ ドウサ ニ
ヘンコウシマス OK ? :ent
カンソウ & ハイキ ファン
ナイゾウ ハイキ ファン <ent>
独立動作している場合
ナイゾウ ハイキ ファン
テイシ ライマー <ent>
ナイゾウ ハイキ ファン
テイシ ライマー :120Min
:0~240
:レンゾク, OFF
ナイゾウ ハイキ ファン
キリカエ <ent>
ナイゾウ ハイキ ファン
キリカエ :ON
:OFF
ナイゾウ ハイキ ファン
レンドウ セッテイ <ent>
ナイゾウ ハイキ ファン
カンソウ ファン ニ
レンドウ シマス. OK ? :ent
マシン セッテイ
クリダシ & マキトリ <ent>
ENTER
END
or
FUNCTION
続く

ENTER
ENTER
END
ｸﾘﾀﾞｼ & ﾏｷﾄﾘ
ｿｳﾁ ｾﾝﾀｸ <ent>
ENTER
or
END
ｸﾘﾀﾞｼ : ﾏｷﾄﾘ
ON : ON
ON, OFF
ENTER
ﾆｭｳﾘｮｸ ﾊﾝｲ
0 - 100%
END
ｸﾘﾀﾞｼ & ﾏｷﾄﾘ
ｵｸﾘ ﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾚﾍﾞﾙ<ent>
ENTER
or
END
ｸﾘﾀﾞｼ & ﾏｷﾄﾘ
ﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾚﾍﾞﾙ :0%
0~100

続き
マシン セッテイ
カンソウ フィード <ent>
カンソウ ノ タメノ フィード ヲ
オコナウカ ヲ セッテイ スル
カンソウ フィード
セッテイ :ON
:OFF
サクズ ケッカ カクニン フィード
ノ セッテイ.
マシン セッテイ
カクニン フィード <ent>
ENTER デ ケッテイ.
FUNC. デ BackFeedセッテイ
カクニン フィード
フィード :ON
カクニン フィード ゴ ノ
モドシ フィード ノ セッテイ.
カクニン フィード
メディア モドシ フィード :ON
:OFF
カクニン フィード
フィード :OFF
マシン セッテイ
プリフィード ホウシキ <ent>
Fore フィード ノミ.
(FUNC. デ ナガサ セッテイ)
プリフィード ホウシキ
センタク :FORE(150mm)
:FORE&BACK
ニュウリョク ハンイ
10 − 1000mm
プリフィード ホウシキ
ナガサ = 150mm
10〜1000
FORE-> BACK-> FORE
プリフィード ホウシキ
センタク :FORE&BACK
マシン セッテイ
ヒーター セッテイ <ent>
AFT ヒーター セッテイ オンド
トウタツ ハンテイ ハンイ ノ ヘンコウ
ヒーター セッテイ
AFT トウタツ ハンイ:ヒョウジュン
:セッテイ−5℃, セッテイ−10℃, セッテイ−15℃, セッテイ−20℃
マシン セッテイ
カット セッテイ <ent>
カット セッテイ
カット キー ワリアテ <ent>
">" ニ ワリアテル.
カット セッテイ
カット キー ワリアテ :OFF
:ON
カット セッテイ
メディア オトシ ドウサ <ent>
カットゴノ メディア ヲ オトス
ドウサ ニツイテ セッテイ スル.
カット セッテイ
メディア オトシ ドウサ :ON
:OFF
マシン セッテイ
ジコク セッテイ <ent>
ジコク セッテイ
2005.10.05 21:36:00
ジコク セッテイ
2005.10.05 21:36:00
マシン セッテイ
タンイ セッテイ <ent>
オンド : ナガサ
℃ : mm
温度の単位 :℃ or ℉
長さの単位 :mm or inch
マシン セッテイ
スタンプ セッテイ <ent>
スタンプ セッテイ
スタンプ :OFF
:ON
ENTER
END
FUNCTION
or
続く

```
2006.11.23  09:15
  -> 2005.12.13  11:50
```

```
ジコク セッテイ
   ヘンコウ シマスカ？  :ent
```

続き
マシン セッテイ
インク キョウキュウ ユウセン<ent>
ENTER
インク キョウキュウ ユウセン
センタク :ザンリョウ
:ユウコウキゲン
ENTER
or
END
FUNCTION or
マシン セッテイ
テスト サクズ ハイチ <ent>
テスト サクズ ハイチ
セッテイ :FEEDホウコウ
:SCANホウコウ
マシン セッテイ
メディア ケンシュツ <ent>
メディア ケンシュツ
アツサ ケンシュツ <ent>
メディア ノ アツサ ヲ
ジドウ デ ケンシュツ シマス.
アツサ ケンシュツ
セッテイ :AUTO
メディア ノ アツサ ヲ
マニュアル デ ニュウリョクシマス.
アツサ ケンシュツ
セッテイ :MANUAL
メディア ケンシュツ
FEED エラー ケンシュツ<ent>
FEED エラー ケンシュツ
セッテイ :ON
OFF
マシン セッテイ
マシン メイショウ <ent>
ニュウリョク ハンイ
01 - 99
マシン メイショウ
TS5-01
マシン セッテイ
カンキョウ オンド <ent>
カンキョウ オンド
センタク :トウタツ ヲ マツ
:トウタツ ヲ マタナイ
INFORMATION
マシン セッテイ
ジョウホウ <ent>
ジョウホウ
エラー リレキ <ent>
エラー リレキ
[01] 05.09.29 08:18
***** ERROR 09 *****
HDC エラー
エラー リレキ
[02] 05.09.29 09:57
***** ERROR 50 *****
メディア ケンシュツ
ジョウホウ
メンテナンス リレキ <ent>
[01] 05.08.25 11:22
>> キャリッジアウト
[02] 05.08.25 11:20
>> ノズルセンジョウ
[03] 05.08.25 11:02
>> ハイロセンジョウ
[04] 05.08.25 09:37
>> ワイパーセンジョウ
ジョウホウ
サクズ モード リレキ <ent>
サクズ モード リレキ
[01] 05.09.29 09:57
720x1080 . .12
Bd.Vd.x1.1L: 12.34m
サクズ モード リレキ
[02] 05.09.29 09:59
720x720 . .8
Ud.Nd.x2.2L: 75.31m
続く

*** リレキ ハ アリマセン ***

*** リレキ ハ アリマセン ***

*** リレキ ハ アリマセン ***

続き
ジョウホウ
リスト <ent>
ENTER
END
リスト
** リスト **
ジョウホウ
インク コウカン レポート <ent>
ENTER
END
インク コウカン レポート
カラー センタク :Black
ENTER
END
ジョウホウ
バージョン <ent>
ENTER
END
TS5-1600 V1.00
NCU V1.00
USB-I/F V1.00
MRL-III V1.00
ジョウホウ
シリアル & ディーラーNo <ent>
ENTER
END
シリアル No
S/N = ********
ディーラー No
D/N = ********

インク コウカン レポート
サクズ カイシ :ent

NCU
NCU
ノズル チェック <ent>
ENTER
ノズル チェック
センタク :ON
:OFF
ENTER
or
END
FUNCTION or
NCU
NG ドウサ <ent>
ENTER
END
ヌケ ヲ ケンシュツ シタ バアイ ノ
サクズ チュウ ドウサ ヲ セッテイ
NG ドウサ
サクズ チュウ <ent>
ENTER
ノズル ヌケ ヲ ムシシテ
サクズ ヲ ツヅケル
サクズ チュウ NG ドウサ
センタク:ケイゾク
クリーニング シ サクズ ケイゾク
FUNC. デ CLタイプ セット
サクズ チュウ NG ドウサ
センタク:クリーニング & ケイゾク
クリーニング NG デ テイシ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
サクズ チュウ NG ドウサ
センタク:クリーニング & テイシ
ノズル ヌケ ノ ケンシュツ デ
スグニ サクズ ヲ トメル
サクズ チュウ NG ドウサ
センタク:テイシ
NCU
NG ドウサ <ent>
ヌケ ヲ ケンシュツ シタ バアイ ノ
1 File サクズ ゴノ ドウサ
NG ドウサ
サクズ シュウリョウ ゴ <ent>
ノズル ヌケ ヲ ムシシテ
サクズ ヲ ツヅケル
サクズ シュウリョウ ゴ NG ドウサ
センタク:ケイゾク
クリーニング シ サクズ ケイゾク
FUNC. デ CLタイプ セット
サクズ シュウリョウ ゴ NG ドウサ
センタク:クリーニング & ケイゾク
クリーニング NG デ テイシ
FUNC. デ ショウサイ セッテイ
サクズ シュウリョウ ゴ NG ドウサ
センタク:クリーニング & テイシ
ノズル ヌケ ノ ケンシュツ デ
ツギ ノ サクズ ヲ カイシ シナイ
サクズ シュウリョウ ゴ NG ドウサ
センタク:テイシ
NCU
NG ハンテイ <ent>
1ノズル レツ チュウ ノ
ヌケ ノズル スウ ヲ セッテイ
NG ハンテイ
ヌケ ノズル/カラー <ent>
ニュウリョク ハンイ:1 - 180
NG ハンテイ
ヌケ ノズル/カラー = 10
1~180
スベテ ノ ノズル レツ チュウ ノ
ヌケ ノズル スウ ヲ セッテイ
NG ハンテイ
ヌケ ノズル/スベテ <ent>
ニュウリョク ハンイ:1 - 180
NG ハンテイ
ヌケ ノズル/スベテ = 10
1~180
続く

続き
FUNCTION
or
NCU
ジョウタイ ヒョウジ <ent>
ENTER
ENTER デ シュウリョウ.
ゲンザイ NCU ハ
キノウ シテイマス.
ENTER デ シュウリョウ.
FUNC デ ショウサイ.
ゲンザイ NCU ハ
キノウ シテイマス.
END
FUNCTION
I/F エラー
シーケンス エラー
**** ERROR 116 ****
NCU I/F 00
ENTER デ シュウリョウ.
FUNC デ ショウサイ.
エラー/ワーニング ハッセイ ニヨリ
NCU ヲ キリハナシテ イマス.
END
FUNCTION
FPGA ノ イジョウ ヲ
ケンシュツ シマシタ.
**** ERROR 160 ****
ケンシュツ NCU 02

索 引

Numerics

A

B

C

D

E

F

H

I

N

O

P

R

S

T

U

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

ゆ

よ

ら

り

れ

ろ

わ